

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
29	10-000058	女瓦	残存12.1×9.6 厚2.2	破片。表裏側面撫で調整	西堀出土	第58図	PL41
30	20-000016	石白(上白)	残存23.6×15.4 厚7.9	1/3。窪みは深さ1.9cmで縁丸みを持つ。芯棒受未貫通で角。挽き木は横打込み式で角孔。供給孔は上部は円、下部は角。白面は磨滅しているが、目なし白の可能性有り	粗粒輝石安山岩	第58図	PL41
31	20-000017	石白(上白)	残存21.7×10.3 厚9.8	1/4。窪みは深さ2.1cmで縁角張る。芯棒受未貫通で円孔。供給孔は二段で円孔、白面八分画	粗粒輝石安山岩	第58図	PL41
32	20-000018	石白(上白)	残存21.8×16.6 厚8.7	1/4。窪みは深さ2.3cmで縁角張る。芯棒受未貫通で円孔。供給孔は円孔。白面にもの配り見られ、六分画か。	粗粒輝石安山岩	第58図	PL42
33	20-000019	石白(上白)	残存14.6×14.1 厚9.6	破片。面荒れる。窪みは深さ2.1cmで縁角張る。芯棒受未貫通で円孔。供給孔は円孔。白面六分画。	粗粒輝石安山岩	第59図	PL42
34	20-000020	石白(上白)	残存12.7×10.2×7.8	破片。挽き木は横打込み式で角孔。白面磨滅し線刻見えず	粗粒輝石安山岩	—	PL42
35	20-000021	石白(上白)	残存10.3×15.1 厚11.6	破片。窪みは深さ1.1cmで縁角張る。挽き木は横打込み式で角孔。白面八分画。側面中位にはつり痕残り、上下研磨	粗粒輝石安山岩	第59図	PL42
36	20-000022	石白(上白)	残存9.0×3.7 厚11.8	破片。窪みは深さ0.6cmで側角張る。挽き木は横打込み式で角孔。白面分画数不明。	粗粒輝石安山岩 西堀出土	第59図	PL42
37	20-000023	石白(上白)	残存6.8×24.2×10.8	下部破片。挽き木は横打込み式で角孔。白面磨滅進み分画数不明	粗粒輝石安山岩	第59図	PL42
38	20-000024	石白(上白)	残存6.8×2.8×3.2	窪み縁破片。横断面角形	粗粒輝石安山岩	—	PL42
39	20-000025	石白(下白)	残存14.6×15.7×11.6	1/4で底部欠損。芯棒受は円孔。白面は六分画	粗粒輝石安山岩	第59図	PL42
40	20-000026	石白(下白)	残存14.7×8.5 厚7.4	1/8。下部外縁欠損。白面分画数不明。底面はつり調整	粗粒輝石安山岩	第59図	PL42
41	20-000027	石白(下白)	残存21.2×13.0 厚8.6	破片。芯棒受け円形で貫通。白面波打つ。六分画か	粗粒輝石安山岩	—	PL42
42	20-000028	石白(下白)	残存14.7×13.9 厚11.9	破片。芯棒受け円形。白面磨滅。分画数不明	粗粒輝石安山岩	—	PL42
43	20-000029	石白(下白)	残存12.0×11.3 厚12.1	破片。芯棒受け貫通。数度の削り痕有り。白面分画数不明。底面はつり調整	粗粒輝石安山岩	第59図	PL42
44	20-000030	石白(下白)	残存13.5×6.8 厚4.9	破片。白面磨滅し線刻み見えず。薄い。底面にはつり痕	粗粒輝石安山岩	—	PL43
45	20-000031	石白(下白)	残存10.4×8.7 厚4.8	破片。白面磨滅するが線刻残り、底面にはつり痕	粗粒輝石安山岩	—	PL43
46	20-000032	石白(下白)	残存6.4×12.9 厚8.7	破片。白面分画数不明。側・底面研磨	粗粒輝石安山岩	第59図	PL43
47	20-000033	茶白(下白)	残存11.0×19.7 高さ9.5	破片。受けは深さ2.2cmで側丸い。側・底面に一部はつり痕残り	粗粒輝石安山岩	第59図	PL43
48	20-000034	石鉢	径29.6 高さ18.0	2/3。木白形を呈し、上面に碗形の窪み掘るが、はつり痕残り。未製品か。側面粗い研磨施し縦に「イ」「十」の墨書。底面内区はつり痕のこり、外区は粗い研磨	粗粒輝石安山岩	第60図	PL43
49	20-000035	石鉢	残存15.6×19.0×11.9	河床礫使用。1/4程の欠損品。表面を碗形にはつり磨く	粗粒輝石安山岩	第59図	PL43
50	20-000036	石鉢	残存10.1×14.1×5.7	破片。表面に碗形の研磨面。裏面に径6.4×3.6cm、深さ1.9cm窪み	粗粒輝石安山岩 凹石の転用か	第59図	PL43
51	20-000037	石鉢	残存7.9×15.7 高さ9.2	破片。碗状を呈す。底部内面に刺突痕。口縁尖り、底面平坦	粗粒輝石安山岩	第60図	PL43
52	20-000038	石鉢	残存15.1×5.0×3.2	口縁破片。器面粗い撫で	粗粒輝石安山岩	—	PL43
53	20-000039	五輪塔(空風)	13.8×12.3×25.3	風化進み、背面崩れ。下端に山形削り込みの突起	馬見岡凝灰岩	第60図	PL43
54	20-000040	板碑	残存12.9×7.3 厚1.0	剝離した破片	緑石片岩	—	PL43
55	20-000041	板碑	残存10.8×13.8 厚1.0	剝離した破片	緑石片岩	—	PL44
56	20-000042	板碑	残存9.5×9.6 厚1.1	剝離した破片	緑石片岩	—	PL43
57	20-000043	板碑	残存9.5×6.6 厚2.0	基部破片	緑石片岩	—	PL44
58	20-000044	不明石製品	残存17.9×14.1×11.5	何らかの軸受けか。破片。被熱により表面剝落顕著。直方体で表面が階段状弱く突出する。整形後表面水磨き	粗粒輝石安山岩	第60図	PL44
59	20-000045	砥石	7.5×4.4×(13.1)	河床礫使用。表裏右面に研磨面。欠け部分にも面形成	二ッ岳石	第60図	PL44
60	20-000046	砥石	4.2×3.2×(8.3)	上下側欠損。左側面剝離。表裏左右面に研磨面	砥沢石	第60図	PL44
61	20-000047	砥石	3.4×3.6×7.5	一部剝離。短い。両端切断。表裏左右面に研磨面。裏面に斜めの貫通孔	砥沢石	第61図	PL44
62	20-000048	砥石	3.2×3.0×(8.9)	両端欠ける。切断後も使用。表左右面に研磨面形成	流紋岩	第60図	PL44
63	20-000049	砥石	2.3×2.5×(6.2)	下部欠損。表左右先端面と裏面の先端よりに研磨面形成	砥沢石	第61図	PL44
64	20-000050	砥石	12.2×15.4×4.7	河床礫使用。表面に敲打痕残り、7cm角の柱の当り痕	粗粒輝石安山岩	第61図	PL44
65	20-000051	砥石	(12.2)×13.8×3.2	河床礫使用。側縁3/4欠損。表面に6.5×5.4cmの柱の当り痕	粗粒輝石安山岩	第61図	PL44
66	20-000052	砥石か	13.2×12.2×4.7	河床礫使用。側面はつり調整。表面に7cm角の柱当り痕らしきもの見られ、裏面に削痕残り	粗粒輝石安山岩	—	PL44
67	20-000053	敲打石	11.2×15.6×6.6	河床礫使用。下端一部欠損。表裏右側面と上下端部に敲打痕、表面に削痕、左右側に研磨面残り。敲打により上面に窪みが作られ、上端は平に整形。	粗粒輝石安山岩	第61図	PL44
68	20-000054	敲打石	残存10.9×6.1 厚3.2	河床礫使用。表面と上端に敲打痕残り	粗粒輝石安山岩	第61図	PL44

遺物一覽

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
69	20-000056	敲石	5.5×10.3×2.7	河床礫使用。上端に敲打痕。中位に磨耗痕一周	粗粒輝石安山岩 こも編み石に転用	—	PL45
70	20-000057	敲石	6.9×4.9×16.6	河床礫使用。上下端に敲打痕。右側面に研磨面。中位に磨耗痕一周	粗粒輝石安山岩 こも編み石に転用	第61図	PL45
71	20-000058	敲石	5.6×5.1×9.8	河床礫使用。上部部に敲打痕、研磨面残る。中位に磨耗痕	粗粒輝石安山岩	第61図	PL44
72	20-000059	敲石	5.5×4.2×(9.5)	河床礫使用。下位欠損。上端に敲打痕。表裏左側面に研磨面	粗粒輝石安山岩	第61図	PL45
73	20-000060	敲石	5.2×3.3×(11.2)	河床礫使用。下位欠損。上端に敲打痕、裏面に研磨面。磨耗痕一周	粗粒輝石安山岩 こも編み石に転用	第61図	PL45
74	20-000061	敲石	4.7×4.1×(9.4)	河床礫使用。下半欠損。先端に敲打痕。こも編み石に転用	砂岩	第62図	PL45
75	20-000062	敲石	4.6×4.6×11.2	河床礫使用。上端に若干の敲打痕。横位に磨耗痕一周	溶結凝灰岩 こも編み石に転用	第62図	PL45
76	20-000063	敲石	4.4×2.8×11.6	河床礫使用。上端に敲打痕、中位に帯状の磨耗痕一周	ひん岩	第62図	PL45
77	20-000064	敲石	4.3×2.5×11.1	河床礫使用。上下端に敲打痕。裏面に研磨面。中位に磨耗痕一周	変質安山岩 こも編み石に転用	第62図	PL45
78	20-000065	敲石	3.8×4.1×10.8	河床礫使用。上端に敲打痕。裏面に研磨面形成。中位に磨耗痕一周	石英閃緑岩 こも編み石に転用	第62図	PL45
79	20-000066	敲石	4.1×11.4×2.2	河床礫使用。上端に敲打痕残り、表面に研磨面形成。中位帯状の磨耗痕一周	雲母石英片岩 こも編み石に転用	第62図	PL45
80	20-000067	磨石	11.0×12.9×5.3	河床礫使用。表面に研磨面と削痕。右側縁と下端に敲打痕見られる	粗粒輝石安山岩 南堀出土	第62図	PL45
81	20-000068	磨石	(8.0)×(6.6)×3.6	河床礫使用。下部欠損。上面に研磨面形成	粗粒輝石安山岩	第62図	PL45
82	20-000069	磨石	5.3×12.0×4.2	横断面三角形の河床礫使用。3面に研磨面、上端に敲打痕残る	石英閃緑岩	第62図	PL45
83	20-000070	磨石	5.5×5.9×7.0	卵形の河床礫使用。裏面に研磨痕、上端に敲打痕残る	粗粒輝石安山岩	第62図	PL45
84	20-000071	磨石	5.5×3.2×(11.2)	河床礫使用。下位欠損裏面に研磨面形成	粗粒輝石安山岩	第62図	PL45
85	20-000072	磨石	4.4×4.6×12.3	横断面三角形の河床礫使用。表面小剥落多し。左右裏面に研磨面。上端、表面縁部に敲打痕有り	石英閃緑岩	第62図	PL45
86	20-000073	削痕の残る礫	10.2×6.7×4.0	二折の河床礫使用。表面と上下端部に削痕残る	粗粒輝石安山岩	第62図	PL45
87	20-000074	加工痕のある石材	4.6×3.6×10.0	河床礫使用。表面一部剥落。裏面に鋭利な刃物による切痕残る。中位に帯状の磨耗痕一周	粗粒輝石安山岩 こも編み石	第62図	PL46
88	20-000075	こも編み石	4.5×4.4×(11.8)	河床礫使用。一端欠損。中位の挟れ中心に幅4cmの磨耗痕一周	溶結凝灰岩 こも編み石に転用	—	PL46
89	20-000076	こも編み石	4.7×3.2×(9.8)	河床礫使用。下位欠損。幅4.2cmの磨耗痕一周	片状ホルンフェンス	—	PL46
90	20-000077	こも編み石	4.1×3.2×11.4	河床礫使用。中位に4cm程の磨耗痕一周	変質安山岩	—	PL46
91	20-000078	こも編み石	4.1×2.6×9.9	縦長の河床礫使用。横位に3.7cm幅の磨耗痕一周	溶結凝灰岩	—	PL46
92	20-000079	こも編み石	3.8×2.6×8.9	横断面三角形の河床礫使用。中位に幅2.1cmの顕著な磨耗痕一周	流紋岩 こも編み石に転用	—	PL46
93	20-000080	こも編み石	3.7×2.1×10.3	河床礫使用。下端等一部剥離。中位に3.5cm程の磨耗痕一周	黒色片岩	—	PL46
95	20-000081	台石	16.6×(14.2)×12.0	横断面三角形の河床礫使用。表面に研磨面、両側と上部に削痕残る	粗粒輝石安山岩	第62図	PL46
96	20-000082	台石	14.3×(12.0)×(14.4)	両端・裏面欠損。上左面に研磨面、右面に研磨・敲打痕。縁辺に削痕残る	粗粒輝石安山岩	第63図	PL46
97	20-000083	台石	残存9.5×10.0×6.9	河床礫使用。破片。上面に研磨面形成。削痕残る	ニッ岳石	第63図	PL46
98	20-000084	台石	残存10.1×7.4×6.6	河床礫使用。破片。上面に研磨面形成	ニッ岳石	第63図	PL47
99	20-000085	建物基礎か	残存47.0×35.6×17.3	平面形台形の箱形大型石材使用。表面割られ、或いはツられ、漆喰らしいもの付着	粗粒輝石安山岩	—	PL47
100	30-000019	漆碗	口径(12.5) 残高2.6	口縁～体部破片。内外面黒漆塗布後、朱漆塗布。内外面朱漆かせる	トネリコ属、西堀	第63図	PL47
101	30-000020	漆碗	底径8.0 残高6.7	体～底部1/3。内外面黒漆塗布。外面に一部朱漆残る	クリ、北東	第63図	PL47
102	30-000021	漆碗	底径(6.6) 残高2.9	体～底部破片。内外面黒漆塗布後、朱漆塗布。内外面漆かせる	クリ、北西	第63図	PL47
103	30-000022	漆碗	底径6.5 残高3.3	体～底部。体部折れ上る。内外面黒漆塗布後、朱漆塗布。外面朱漆ほとんど剥ける	クリ	第63図	PL47
104	30-000023	漆碗	残存4.7×2.5 残高2.7	体～底部破片。低い削り出し高台。朱漆剥落	広葉樹	第63図	—
105	30-000024	下駄	径15.5×8.2 厚2.0	隅丸方形呈し面取り。削り出し高台で上げ底。鼻緒孔3箇所何れも欠け。足削り出しで、板1.2まで削り	クリ	第63図	PL47
106	30-000025	丸棒	径1.4×1.0 残長4.6	先端部片。小枝使用か。先端に削り	広葉樹	第63図	PL47
107	30-000026	薄板材	残長13.4 幅6.7 厚1.1	下部欠損。角欠けがあり、木釘2ヶ所に残存	ヒノキ	第63図	PL47
108	30-000027	篋	残長21.7 幅7.5 厚1.2	柄部欠損。板目材使用。裏面側寄りを削り角丸める	ヒノキ、堀底	第63図	PL47
109	30-000028	小木片	残長3.8 幅1.9 厚0.8	先端破片。棒板状の材の先端を表面から斜めに削り込み	コナラ節	第63図	PL47

B 1-1 井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	20-000086	火輪	27.2×27.0×13.6	上面中央に楔状工具による未貫通孔穿たれ、底面平ら		第76図	PL48

B 1-2 井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	40-000005	刀子	径1.0×0.3 残長3.3	切っ先破片。細身		—	PL48
2	40-000006	鎌	残存3.6×2.7 厚0.2	基部破片。差込鈍角		—	PL48

B 1-3 井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	20-000087	礎石	(12.7)×17.7×4.5	河床礫使用。右側欠損。上面に径7.3cm程の角柱の当り痕	粗粒輝石安山岩	第76図	PL48
2	30-000029	建築材	径15.5×14.0 残長119	角材。上部欠損、下位腐食により欠け。上端に幅4.3cmのホゾ穴の痕跡残る	ケヤキ	第76図	PL48
3	30-000030	建築材	径15.3×15.2 残長92.6	角柱。上部腐食により欠損。下端切断面残る	複雑管束亜属	第77図	PL48
4	30-000031	建築材	径12.5×(9.2) 残長計85以上	角柱。下位腐食により欠け。遺物取上げ時に崩れ、大破片3点、中破片点と小破片多数に分割。粗造化進行し整理時点では復元不能。上端より15.7cmから幅4.8cm高さ17cm以上の貫通するホゾ穴、これに直交して上端より15cmから幅4.2cm、高さ11cm以上の前述のホゾで止まるホゾ穴あり	複雑管束亜属	第77図	PL49
5	30-000032	杭	径6.6×5.0 長計113	先側欠損。屈曲する樹皮付丸木材使用。元側尖端外周より削り		第76図	PL48
6	30-000033	切断材	径4.5×4.4 残長70.9	先端腐食。元側割れ、一刀以上の切断痕	ウコギ属	—	PL48

B 1-4 井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	20-000088	石臼(上臼)	径28.5×28.5 厚12.3	縁過半欠損。窪みは深さ2.3cmで側は角張る。芯棒受未貫通で円孔。供給口円形。白面にものくぼり残る。白面八分画	粗粒輝石安山岩	第78図	PL49
2	20-000089	石臼(上臼)	残存23.6×10.2 厚8.5	1/4。窪みは深さ0.8cmで側は角張り漏斗状。白面にものくぼり残る。白面八分画	粗粒輝石安山岩	第78図	PL49
3	20-000090	石臼(上臼)	残存78.1×13.4 厚9.4	1/3。窪みは深さ1.1cmで側角張る。芯棒受未貫通で円孔。挽き木は横打込み式で角孔か。供給孔は円孔、白面磨滅するが八分画か。だれたものくぼり残る	粗粒輝石安山岩	第79図	PL49
4	20-000091	礎石	12.4×18.3×4.7	河床礫使用。上面に径5.6×6.0cmの角柱の当り痕	粗粒輝石安山岩	第79図	PL49
5	30-000034	漆碗	①残存3.6×3.6 厚1.0 ②残存4.2×3.3 厚1.0	小片2点。表面に赤漆少量残る	クリ	第79図	PL49
6	30-000035	籠			竹製と思われる	第97図	PL50
7	30-000036	切断材	径6.6×5.2 残長89.2	丸木材。先端腐食。元側も割れるが一刀の切断痕	センダン	—	PL50

B 1-5 井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	20-000092	礎石	17.8×17.4×3.8	河床礫使用。上面に径6.8cmの角柱の当り痕	粗粒輝石安山岩	第80図	PL50

B 1-6 A 井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	20-000093	板碑	残存20.7×33.4 厚2.2	基部。側縁の一部底辺残る。銘等なし	緑色片岩	第80図	PL50
2	20-000094	板碑	残存20.2×30.0 厚2.9	破片。表に彫り込みの痕跡の可能性。裏に側縁残る	緑色片岩	第80図	PL50
3	20-000095	板碑	残存25.0×17.8 厚2.8	基部片。表面に銘の一部と削痕、裏面に掘り込み残る	緑色片岩	第80図	PL50

B 1-6 B 井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	20-000096	不明石製品	残存10.5×10.8×8.8	五輪塔地輪破片か。表、右面平に整形	粗粒輝石安山岩	第47図	PL37

B 1-8 井戸

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000059	内耳鍋	口径(28) 残高10.5	口縁～体部破片。下位面煤付着。内外面横位の撫で。耳貼り付け後指撫で	在地。15世紀	第81図	PL51
2	20-000097	茶臼(下臼)	残存21.2×15.8 厚10.6	1/3で受部半ば欠損。芯棒受は円孔で貫通。白の高さは3.4cm、白面は八分画。底面はつり調整	溶結凝灰岩	第81図	PL51
3	20-000098	敲石	6.4×13.7×4.7	河床礫使用。上端に敲打痕、中位に磨耗痕一周	石英閃緑岩 こも編み石に転用	第81図	PL51
4	20-000099	敲石	7.0×(14.5)×3.3	河床礫使用。表面一部剝離。裏面に研磨面形成。左右両側に敲打痕残る。中位に帯状の磨耗痕一周	粗粒輝石安山岩 こも編み石に転用	第81図	PL51
5	20-000100	礎石	19.7×17.1×5.8	河床礫使用。表面に7.2cm程の角柱の当り痕残る	粗粒輝石安山岩	第81図	PL51

遺物一覧

B 1-10井戸

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	20-000101	五輪塔水輪か	15.6×16.7×12.2	表面荒れる。楕円球形を呈する	粗粒輝石安山岩	—	PL51

B 1-12井戸

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	20-000101	礎石	13.9×12.3×3.7	河床礫使用。表面に6.8×8.0cmの円柱の当り痕残る	石英閃緑岩	第47図	PL51
2	30-000037	杭				—	PL51

B 1-13井戸

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000059	かわらけ	口径11.7 底径6.2 器高3.3	1/2。器面荒れる。回転轆轤整形。底面回転糸切り後撫で調整	15世紀前半	第48図	PL51
2	10-000060	かわらけ	底径5.5 器高3.0	1/2。内面荒れる。左回転轆轤整形。底面回転糸切り	15世紀前半	第48図	PL51
3	10-000061	かわらけ	口径(11.7) 底径6.1 器高3.2	口径3/4欠損。口縁に一部煤付着。左回転轆轤整形。底面回転糸切り	15世紀前半	第48図	PL51
4	10-000062	須恵器坏	底径6.0 器高3.1	1/4。右回転轆轤整形。底面撫で調整		第48図	PL52
5	10-000063	焙烙鍋	底径(34) 器高6.1	破片。内外面横位の撫で。外面腰部～底部被熱	在地、江戸	第48図	PL52
6	20-000102	石鉢	残存10.3×7.7×3.4	破片。碗形。口縁端部と内面磨き、外面粗い磨き	粗粒輝石安山岩	第48図	PL52
7	20-000103	敲石	残存11.6×8.2 厚4.4	右側欠損。表面に敲打痕残る	粗粒輝石安山岩	第48図	PL52
8	20-000104	火打石	2.9×4.5×5.8	不定形砕石使用。縦方向の3辺に長さ4cm、2.8cm、2cmの範囲で敲打痕残る	雲母石英片岩	—	PL52
9	30-000038	角棒	径3.2×2.0 残長計23.7	上下、中間欠損。腐食進行。柁目材使用の角材	ツブラジイ	第48図	PL52
10	30-000039	竹	径2.0以下	9片。簾状のあみものか		—	PL52

B 1-15井戸

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000064	陶器合子	口径3.2 底径4.7 胴部径7.4 器高4.1	ほぼ完形。外面上半～内面施釉。右回転轆轤整形。底面回転糸切り。体部上半に右上～左下方向、次に左上～右下方向の線刻みによる格子条紋様一周		第82図	PL52
2	20-000105	礎石	18.3×19.6×3.9	河床礫使用。表面に6.6×6.9cm程の角柱の当り痕残る	石英閃緑岩	第82図	PL52
3	20-000106	礎石	18.8×18.6×3.8	河床礫使用。表面に7.7cm程の角柱の当り痕残る	石英閃緑岩	第82図	PL52
4	40-000007	鉄鍬か	4.8×5.6×0.6	鋳型製品破片。板状		第82図	PL59
5	40-000008	鉄鍬	7.4×4.5×1.8	鋳型による。基部破片。右側に折り返しあり。		第82図	PL59

B 1-17井戸

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000065	軟質陶器播鉢	残存14.5×11.1 厚1.3	口縁～体部破片。口端尖る。内外面撫で		第83図	PL52
2	30-000040	角棒	径2.2×1.2 残長5.3	小片。柁目。四側を丁寧面に取	モミ属	第83図	PL52
3	30-000041	加工材	径2.2×1.2 残長4.1	小片。棒状の板材でホゾが見られる	モミ属	第83図	PL52

B 1-18井戸

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000066	焼締陶器甕	残存15.2×14.1 厚1.2	口縁破片。土端突出し縁帯やや広い。外面自然釉。常滑	14世紀前～中葉	第83図	PL52
2	30-000042	杭	径7.8 残長112.5	上部欠損。丸木材使用。下端側面に一刀の削り	クリ	第83図	PL53
3	30-000043	杭	径9.3×8.6 残長103.0	丸木材使用。上部腐蝕。下端側面に方向からの削り	クリ	第83図	PL53
4	30-000044	杭	径10.0×7.21 残長94.4	先端腐蝕により欠。樹皮付丸木材使用。先端側面細かい削り	クリ	第84図	PL53
5	30-000045	杭	径13.5×13.2 残長61.0	丸木材。先折れる。元末下位の削り	ヤナギ属	第84図	PL53
6	30-000046	杭	径13.5×8.9 残長26.3	先端部片。半割材を用い、樹皮側を細かく削って先端を作る	ヤナギ属	第84図	PL53
7	30-000047	杭	径5.3×5.6 残長13.1	上下欠損。自然木の先端を片側より削り先端を作る	ヤナギ属	第84図	PL53
8	30-000048	杭	径6.0×5.2 残長9.0	先端部片。自然木の先端を片側より削り先端を作る	ヤナギ属	第84図	PL53
9	30-000049	杭か	径9.1×6.2 残長123.3	上部欠損。二分割材使用。下端側面に削り	クリ	第84図	PL53
10	30-000050	杭か	径4.5×4.5 残長53.6	上位著しい腐食で欠損。下位側面に削り痕	アカマツ	—	PL53
11	30-000051	切断材	径6.1×6.0 残長94.6	丸木材。元折れる。先端一刀の切断	ヤナギ属	—	PL53
12	30-000052	切断材		3点接合。先端腐食。本側一刀の設段痕	ヤナギ属	—	PL53

BW区 2井戸

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	20-000107	台石	22.9×(33.8)×15.5	全体風化。表面上部新しい削りで欠け。表面に研磨面残る	二ツ岳石	第50図	PL56

BW区6井戸

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	20-000108	砥石	5.7×4.1×(7.4)	上位のみ。一部剥離。表裏左右に研磨面	砥沢石	第50図	PL56
2	20-000109	磨石	3.3×2.4×8.8	河床礫使用。裏面に研磨面形成。中位に幅4.1cmの磨耗痕一周	ひん岩 こも編み石に転用	第50図	PL56

B1-1 墓墳

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	40-000009	熙寧元寶	2.38×2.38×0.11	銭文篆書だが熙字に「ㄣ」なし、裏面ほぼ平ら	模鑄銭か	第86図	PL53
2	40-000010	天禧通寶	2.515×2.50×0.115	縁不揃いで裏面やや平ら。孔円形に近く、銭文潰れる	模鑄銭	第86図	PL53
3	40-000011	皇宋通寶	2.465×2.49×0.13	銭文篆書で潰れる。裏面平ら	模鑄銭	第86図	PL53
4	40-000012	宣和通寶	2.395×2.395×0.125	銭文隸書で細かく丁寧。表裏郭、輪明瞭	本銭か	第86図	PL53
5	40-000013	熙寧元寶か	2.395×2.40×0.115	銭文潰れ判読困難。郭、輪にバリ跡見られる	模鑄銭	第86図	PL53
6	40-000014	元符通寶	2.40×2.42×0.135	銭文潰れ気味。裏面やや平	模鑄銭	第86図	PL53
7	40-000015	皇宗通寶	2.465×2.475×0.10	銭文隸書でやや太。裏面平	模鑄銭	第86図	PL53
8	40-000016	銅銭	2.32×2.30×0.098	銭文潰れ判読不能。裏面平で薄い	模鑄銭	第86図	PL53

B1-2 墓墳

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000067	かわらけ	口径7.9 底径4.6 器高1.9	完形。外反。左回転軸調整。底面回転糸切り	15世紀後半	第85図	PL53

B1-4 墓墳

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000017	大観通寶	2.42×2.42×1.65	銭文細い。表面に細孔2箇所	本銭か	第86図	PL53
2	10-000018	祥符通寶	2.49×2.485×0.12	銭文潰れる。孔円形に近く、裏面やや平ら	模鑄銭	第86図	PL53
3	10-000019	元豊通寶か	2.41×2.405×0.125	銭文は元通篆書で若干潰れる。裏面ほぼ平ら	模鑄銭	第86図	PL53
4	10-000020	永樂通寶	2.55×2.565×0.135	一部欠ける。銭文明瞭。面に細孔空く。裏面多少平ら	模鑄銭か	第86図	PL53
5	10-000021	熙寧元寶か	2.40×2.395×0.13	銭文潰れ判読難。裏面平ら	模鑄銭	第86図	PL53
6	10-000022	元豊通寶	2.37×2.39×0.12	銭文篆書。裏面やや平らで、孔裏面ですみ丸方形	模鑄銭	第86図	PL53
7	10-000023	祥符通寶	2.54×2.55×0.14	銭文やや太い。輪太く、バリ残る。裏面平坦に近い	模鑄銭	第86図	PL53
8	10-000024	天聖元寶	2.485×2.50×0.12	銭文潰れ、細孔3カ所に空く。裏面ほぼ平ら。粗悪品	模鑄銭	第86図	PL53
9	10-000025	皇宗通寶	2.485×2.48×0.12	銭文篆書でやや潰れる。銭文太く、裏面平ら	模鑄銭	第86図	PL53
10	10-000026	政和通寶	2.42×2.405×0.125	銭文篆書。面荒れ。裏面平ら	模鑄銭	第86図	PL53

B1-5 墓墳

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000027	銅銭	径2.5 厚0.135	4片に分かれ一部欠損。銭文判読不能。裏面平ら	模鑄銭	第86図	PL54
2	10-000028	永樂通寶	2.56×2.565×0.16	画一部欠け。銭文明瞭。郭・輪もしっかりする	本銭	第86図	PL54
3	10-000029	元祐通寶	2.50×2.475×0.11	銭文篆書。裏面やや平でバリ残る	模鑄銭	第86図	PL54
4	10-000030	太平通寶	2.40×2.46×0.125	銭文隸書。裏面平。やや小振り	模鑄銭	第86図	PL54
5	10-000031	紹聖元寶	2.40×2.41×0.145	銭文篆書でやや潰れる。バリ残り裏面平ら	模鑄銭	第86図	PL54
6	10-000032	元豊通寶	2.48×2.48×0.125	銭文隸書。裏面やや平ら。バリ残る	模鑄銭	第86図	PL54
7	10-000033	太平通寶	2.48×2.47×0.13	表面やや荒れる。銭文隸書。裏面やや平ら	模鑄銭	第86図	PL54
8	10-000034	永樂通寶	2.49×2.48×0.135	鑄付着。銭文明瞭。郭・輪もしっかりする	本銭	第86図	PL54
9	10-000035	至道元寶	2.41×2.455×0.145	銭文やや潰れる。裏面やや平ら。小孔空く	模鑄銭	第86図	PL54
10	10-000036	洪武通寶	2.335×2.31×0.135	銭文明瞭。やや丸孔。径小さい。郭、輪やや不揃い	模鑄銭か	第86図	PL54
11	10-000037	開元通寶	2.42×2.42×0.14	銭文若干潰れる。縁幅広。裏面に平織りの繊維残る	模鑄銭	第86図	PL54
12	10-000038	政和通寶	2.52×2.55×0.12	銭文やや潰れる。裏面平で面荒れる。側に繊維付着	模鑄銭	第86図	PL54

B1-6 墓墳

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000039	永樂通寶	2.47×2.48×0.155	粘土(か)付着。銭文明瞭だが、裏面やや平ら	模鑄銭か	第51図	PL54
2	10-000040	開元通寶	2.45×2.47×0.10	銭文やや潰れる。裏面平ら	模鑄銭か	第51図	PL54
3	10-000041	洪武通寶	2.305×2.315×0.15	銭文比較的明瞭。裏面郭の縁やや平ら	模鑄銭か	第51図	PL54
4	10-000042	皇宋通寶	2.265×2.255×0.105	銭文隸書。表面に繊維付着し、裏面やや平ら	模鑄銭	第51図	PL54
5	10-000043	元豊通寶か	2.405×2.385×0.115	銭文篆書で潰れる。表面に繊維付着。裏面やや平ら	模鑄銭	第51図	PL54
6	10-000044	天聖元寶か	2.44×2.48×0.11	銭文篆書。貫通する細孔見られ裏面ほぼ平ら	模鑄銭	第51図	PL54
7	10-000068	かわらけ	口径11.4 底径6.9 器高2.7	7/8。左回転軸調整。若干ゆがむ。底面回転糸切り後、外周回転調整。底面内部に指撫で	15世紀後半	第51図	PL59

B1-7 墓墳

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000045	聖宋元寶	2.385×2.38×0.13	銭文行書。縁やや太い。裏面多少平ら気味	模鑄銭か	第51図	PL54
2	10-000046	洪武通寶	2.265×2.265×0.16	縁やや太い。裏面郭の左寄り上にヒゲ状に陽刻	模鑄銭か	第51図	PL54

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
3	10-000047	元祐通寶	2.46×2.45×0.14	銭文篆書でやや潰れる。裏面平気味	模鑄銭	第51図	PL54
4	10-000048	元符通寶	2.385×2.38×0.13	銭文篆書でやや不明瞭。裏面平で縁辺にバリ残る	模鑄銭	第51図	PL54
5	10-000049	治平元寶か	2.46×2.46×0.11	銭文篆書で潰れる。縁辺にバリ残る	模鑄銭	第51図	PL54
6	10-000050	元豊通寶か	2.46×2.46×0.115	銭文篆書で潰れ、判読難。裏面平に近い	模鑄銭	第51図	PL54
7	10-000069	かわらけ	口径11.6 底径7.3 器高2.4	完形。器面荒れる。左回転轆轤整形。底面改定切り直し	16世紀	第51図	PL54
8	10-000070	かわらけ	口径11.4 底径7.3 器高2.6	完形。若干一方に押される。左回転轆轤整形。底面回転糸切り	15世紀末～16世紀	第51図	PL54

B区1面土坑

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
B1-1号土坑							
1	20-000110	敲石	5.9×14.2×4.7	河床礫使用。上端と表面に敲打痕、左側面に研磨痕残り、中に磨耗痕一周	粗粒輝石安山岩 こも編み石に転用	第87図	PL54
B1-32号土坑							
2	10-000071	土錘	径2.7×2.8 残長5.4	上下端欠損。縦長の橢形。中央に径5×6mmの貫通孔。表面指撫で		第88図	PL54
B1-49・86・87号土坑							
3	20-000111	礎石	15.7×17.0×5.1	扁平な河床礫使用。表面に6×6.4cmの柱の当り痕残る	粗粒輝石安山岩	第89図	PL55
B1-66号土坑							
4	10-000000	陶器平碗	残径3.8×3.7 厚み0.6	口縁破片。古瀬戸。内外面施釉	14世紀後期～15世紀前期	第90図	—
B1-94号土坑							
5	20-000112	茶臼(上臼)	残存21.7×10.3 厚9.8	1/4。窪みは深さ1.0cmで側角張る。芯棒受は貫通し円孔。白面八分画。外面に削り痕顕著	粗粒輝石安山岩	第91図	PL55
B1-137号土坑							
6	20-000113	石臼(上臼)	残存4.1×11.2×4.9	腰部～底部片。径26cm程の臼。外面研磨	粗粒輝石安山岩	—	PL54
B1-147号土坑							
7	10-000072	かわらけ	口径12.2 底径7.0 器高3.2	完形。酸化焙焼成。右回転轆轤整形。底面回転糸切り。板状痕残る		第52図	PL55
8	40-000053	永業通寶	2.48×2.485×0.12	地金見える。銭文明瞭。郭・輪もしっかりする	本銭	第52図	PL55
9	40-000054	永業通寶	2.495×2.50×0.14	銭文明瞭。郭・輪もしっかりする	本銭	第52図	PL55
10	40-000055	永業通寶	2.52×2.50×0.145	銭文明瞭。郭・輪もしっかりする	本銭	第52図	PL55
B区1面所在土坑							
11	40-000056	永業通寶	2.55×2.45×0.165	錆びる。銭文明瞭。郭・輪もしっかりする	本銭	第100図	PL55

B区屋敷

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	30-000054	漆碗	①残存5.8×2.9 厚0.9 ②残存3.9×2.4 厚0.8 ③残存3.5×4.5 厚1.0	3片。復元不能。③資料に高台付く	トネリコ属	第153図	PL55
2	30-000055	薄板材	径7.5×1.2 厚21.7	柾目材。ナスビ形を呈し上側欠損。	ヒノキ	—	—

B区1面近現代サク状遺構

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000072	施釉陶器碗	残存1.7×2.3 厚0.4	腰部破片。内外面灰釉施釉		第39図	PL55

B区1面

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000073	施釉陶器碗	残存3.9×3.6 厚0.5	口縁破片。内外面灰釉施釉		第100図	PL55
2	10-000074	焼締陶器甕	残存30.5×29.8 厚0.8	腰部破片。内外面擦撫で。内面自然釉		第100図	PL55
3	40-000057	聖宋元寶	2.43×2.42×0.11	銭文篆書で潰れる。裏面平で輪にバリ残る	模鑄銭	第100図	PL55
4	40-000058	角釘	径0.4×0.4 残長3.2	尖端欠損。1寸釘。		第100図	PL55
5	20-000114	敲石	径8.0×4.3 残長7.0	河床礫使用。下位欠損。上端に敲打痕、表面に磨耗痕残る	粗粒輝石安山岩	第100図	PL55
6	20-000115	磨石	8.1×10.4×2.9	河床礫使用。表面に磨耗痕残る	粗粒輝石安山岩	第100図	PL55
7	40-000059	銅銭	2.45×2.43×0.12	銭文潰れ判読不能。面荒れる	模鑄銭	第100図	PL55
8	40-000060	角釘か	径0.5×0.6 残長2.8	両側欠損		第100図	PL55

BW区1面

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000075	須恵器瓶	底径6.1 残高5.1	腰～底部。右回転轆轤整形。底面回転調整	8世紀前半	第98図	PL56
2	10-000076	焙烙鍋	残存14.7×6.2 器高2.8	破片。耳貼り付け。横位の撫で。底面被熱	在地。近・現代	第98図	PL56
3	10-000077	磁器皿	口径(13.5) 高台径(7.9)器高2.0	1/3。高台端部を除き施釉。表面に銅版転写による染付け	近・現代	第98図	PL56

B区表探

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00078	陶器擂鉢	残存8.9×5.8 厚0.8	口縁～体部破片。口縁厚手。内面に摺り面		第100図	PL55

(2面)

B2-1号住居

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00079	土師器甕	底径7.5 残高10.8	胴から底部。体部外面篋削り、内面篋撫で		第102図	PL68
2	20-000116	台石	14.7×18.2×8.1	河床礫使用。下位欠損。上面に敲打痕残る		第102図	PL68
3	20-000117	敲石	4.9×4.5×4.0	球状の河床礫使用。上面に敲打痕残る		第102図	PL68

B2-2号住居

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00080	須恵器高台付碗	口径12.8 底径6.0 残高5.1	高台欠損。右回転轆轤整形。回転糸切り後付け高台	10世紀前半	第103図	PL68
2	10-00081	須恵器碗	口径13.2 底径5.9 残高4.2	1/3。右回転轆轤整形。見込み部凸部作り粗い	10世紀前半	第103図	PL68
3	10-00082	土師器甕	口径13.6 底径4.9 器高16.3	1/2。口縁に補習用粘土添付。体部外面篋削り、内面篋撫で		第103図	PL68
4	10-00083	土師器台付甕	底径10.7 残高2.5	台部のみ。胎土良好。指頭痕顕著	10世紀前半	第103図	PL68
5	10-00084	須恵器甕	肩部径65.6 残高52.9	肩～腰部片。内外面横位の撫で		第103図	PL68

B2-4号住居

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00085	須恵器高台付碗	口径14.0 底径6.1 残高5.6	1/3。右回転轆轤整形。底面回転糸切り後、高台貼り付け。	10世紀前半	第104図	PL69

BW2-2溝

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00086	須恵器杯	口径12.5 底径7.3 器高3.3	ほぼ完形。器面荒れる。右回転轆轤整形。底面回転篋調整	8世紀末葉～9世紀前半	第112図	PL56

BW2-3溝

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00087	土師器杯	底径(11.1) 器高2.9	1/4。口縁～体部。内面横撫で。底面に墨書。底部内面篋撫で。体部外面～底面篋削り	9世紀後半	第112図	PL70
2	10-00088	須恵器杯	口径13.6 底径7.9 器高3.4	完形。右回転轆轤整形。底面回転篋調整。正面に人字状の篋描き	8世紀中～後葉	第112図	PL70
3	10-00089	須恵器杯	口径13.6 底径7.8 器高3.8	完形。右回転轆轤整形。底面回転篋調整	8世紀後半	第112図	PL
4	10-00090	須恵器杯	口径14.2 底径6.6 器高4.2	完形。右回転轆轤整形。底面回転糸切り切放し	8世紀後半～9世紀前半	第112図	PL70
5	10-00091	須恵器杯	口径13.9 底径6.2 器高4.2	1/2。右回転轆轤整形。底面回転糸切り切放し	9世紀後半	第112図	PL70
6	10-00092	施釉陶器壺	口径() 残高8.9	口縁～頸部1/3。口縁外反し端部開く。内外面施釉		第112図	PL70

B2-谷地

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-00093	土師器杯	口径13.9 底径9.8 器高4.3	口縁1/4欠損。口縁横撫で。体～底部内面篋撫で後放射状の線刻状の細かい暗紋。底部内面に「王」字の墨書。体部外面～底面篋削り	9世紀後半	第109図	PL71
2	10-00094	土師器杯	口径13.2 底径6.9 器高3.9	1/3。口縁横撫で。体～底部内面篋撫で。体部外面撫で。底面篋削り。底部内外面に墨書。字種不明	9世紀後半	第109図	PL71
3	10-00095	土師器杯	口径12.3 底径7.5 器高3.5	口縁1/4欠損。口縁横撫で。体～底部内面篋撫で。体部外面指撫で。底面篋削り。底部内外面に「内」の墨書	9世紀後半	第109図	PL71
4	10-00096	土師器杯	口径(13.5) 残高4.1	1/4。口縁横撫で。体～底部内面篋撫で。体部外面指撫で。底面篋削り	9世紀後半	第109図	PL71
5	10-00097	土師器杯	口径(12.6) 底径7.7 器高3.8	1/2。口縁横撫で。体～底部内面篋撫で。体部外面～底面篋削り	9世紀後半	第109図	PL71
6	10-00123	土師器杯	口径(12) 底径7.9 器高3.8	1/3。外面荒れ、全面に酸化鉄沈着。口縁横撫で。体～底部内面撫で。体部外面撫で。腰部外面～底面篋削り	9世紀後半	第109図	PL71
7	10-00098	土師器杯	口径(12) 底径6.9 器高3.9	1/3。口縁横撫で。体～底部内面篋撫で。体部外面撫で。底面篋削り。底部内面に墨書の可能性	9世紀後半	第109図	PL71
8	10-00099	土師器杯	残存4.9×2.6 厚0.3	底部破片。内面篋撫で、底面篋削り。表裏面に墨書。「王」か	9世紀後半	第109図	PL71
9	10-00100	須恵器杯	口径(11) 器高4.2	1/4。暗灰色。右回転轆轤整形。底面回転糸切り	9世紀後半	第109図	PL71
10	10-00101	須恵器高台付碗	口径14.9 高台径7.6 器高6.2	2/3。灰白色。焼成甘く粗造化進行。右回転轆轤整形。底面高台貼り付け後撫で	9世紀後半	第109図	PL71
11	10-00102	須恵器高台付碗	高台径7.5 残高4.1	体～底部。右回転轆轤整形。底面回転糸切りで高台貼り付け後撫で	9世紀後半	第109図	PL71

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
12	10-000103	須恵器高台付碗	高台径6.7 残高3.7	体部～高台。酸化焙焼成で甘い。内面荒れる。右回転軸整形。底面高台貼り付け後撫で	9世紀後半	第109図	PL71
14	20-000118	窪石	残存9.1×14.1×7.1	河床礫使用。破片。表面に窪み5ヶ所	石英閃緑岩	第109図	PL71
15	20-000119	敲石	5.7×14.1×4.7	河床礫使用。上下端に敲打痕。右側と底面に磨耗面。中位に磨耗痕一周	粗粒輝石安山岩	第109図	PL71
西端部附近							
16	30-000056	薄板材	径3.3×0.8 残長12.4	下方欠損。短冊形の柁目板材	ヒノキ	第110図	PL72
17	30-000057	杭	径5.6×5.5 残長53.7	上方欠損。樹皮付きの芯持ち材を削り先端作る	クスギ節	第110図	PL72
18	30-000058	杭	径8.9×6.9 残長53.4	上方腐食、先端欠損。一側面から削り先端作る	クリ	第110図	PL72
19	30-000059	杭	径4.1×3.7 残長50.2	上方欠損。樹皮付き芯持ち材使用。片側より削り込み、鑿状の先端作る	アカガシ亜属	第110図	PL72
20	30-000060	杭	径4.2×3.8 残長48.2	上方欠損。樹皮付き芯持ち材使用。片側より削り込み、鑿状の先端作る	クスギ節	第110図	PL72
21	30-000061	杭	径5.2×4.9 残長48.1	上方、先端欠損。樹皮付き芯持ち材使用。片側削り、鑿状の先端作る	クスギ節	第110図	PL72
22	30-000062	杭	径4.1×3.7 残長47.8	上方腐食。芯持ち材を削り先端作る	アカマツ	第110図	PL72
23	30-000063	杭	径9.1×7.8 残長44.8	上方欠損。みかん割材を削り先端作る	クリ	第110図	PL72
24	30-000064	杭	径4.2 残長44.0	上方欠損。樹皮付き芯持ち材使用。片側より削り先端作る	クスギ節	第110図	PL72
25	30-000065	杭	径6.0×5.1 残長42.7	上方欠損。樹皮付き芯持ち材使用。鋭角に両側から削り、先端作る	クスギ節	第110図	PL72
26	30-000066	杭	径5.8×3.5 残長38.6	上方欠損。2分割材使用。四囲から削り先端作る	クリ	—	PL72
27	30-000067	杭	径5.4×5.7 残長37.0	上方欠損。樹皮付きの芯持ち材使用。周囲から削り先端作る	クスギ節	第110図	PL72
28	30-000068	杭	径6.7×4.5 残長30.5	上位、先端欠損。みかん割材を用い表面から削って先端作る	クリ	第110図	PL72
29	30-000069	杭	径6.0×5.1 残長29.9	上位、先端欠損。全体に腐食。芯持ち材を用い片側から削って鑿状の先端作る	クスギ節	第110図	PL72
30	30-000070	杭	径5.3×5.0 残長29.5	上方と先端欠損。みかん割材を片側から削り先端作る	クスギ節	第110図	PL73
31	30-000071	杭	径4.6×4.3 残長28.2	上方と先端欠損。樹皮付きの芯持ち材使用。片側から細かく削り鑿状の先端作る	クスギ節	第110図	PL73
32	30-000072	杭	径3.7×3.1 残長25.1	上方欠損。先端腐食著しい。芯持ち材を削り先端作る	クリ	第110図	PL73
33	30-000073	杭	径3.1×2.8 残長22.8	先端附近破片。芯持ち材を周囲から削り込んで先端作る	クリ	第110図	PL73
34	30-000074	杭か	径3.2×3.0 残長21.4	上位欠損。樹皮付き芯持ち材使用。一刀の切断痕残る	クリ	第110図	PL73
35	30-000075	杭	径5.6×5.3 残長21.0	先端部片。樹皮坏の材を周囲から削って先端作る	クリ	第110図	PL73
36	30-000076	杭	径7.7×7.0 残長20.8	先端部破片。芯持ち材を周囲から削り込んで先端作る	クスギ節	第110図	PL73
37	30-000077	杭	径5.6×3.1 残長17.3	先端部片。先端欠損。みかん割材を片側から削り先端作る	クリ	第110図	PL73
38	30-000078	杭	径3.1×3.0 残長15.7	先端附近。先端欠損。四囲から削り込んで先端作る	クスギ節	第110図	PL73
39	30-000079	杭	径5.4×5.2 残長13.3	先端附近。四囲から削り込んで先端作る	クスギ節	第111図	PL73
40	30-000080	杭	径4.5×2.0 残長10.6	先端附近片。先端腐食。二分割材を使用。表面側から削り込んで先端作る	クリ	第110図	PL73
41	30-000081	杭	径2.7×2.6 残長10.6	先端附近破片。芯持ち材を周囲から削り込んで先端作る	クスギ節	第111図	PL73
42	30-000082	杭	径5.3×3.0 残長9.4	先端破片。周囲から削り込んで先端作る	クリ	第111図	PL73
43	30-000083	杭	径3.4×2.2 残長7.7	先端附近破片。樹皮付き二分割材使用。樹皮側から削り鑿状の先端作る	クスギ節	第111図	PL73
44	30-000084	杭	径2.9×1.4 残長4.3	先端附近。先端欠損。樹皮寄りの割材使用。樹皮側から削り	クスギ節	第111図	PL73
45	30-000085	杭	径13.4 残長43.4	上位欠存。下端から削り先端作る	クスギ節	—	PL73
46	30-000086	杭か	径2.7×2.5 残長15.4	丸木材破片。一端に両側からの切断痕	クリ	—	PL73
47	30-000087	杭か	径3.4×2.4 残長6.9	欠損品。一端に切断痕	クスギ節	—	PL73
48	30-000088	割材	径3.5×2.6 残長34.3	上下欠損。腐食進行。みかん割材	クスギ節	第111図	PL73
49	30-000089	割材	径4.4×2.9 残長20.8	上下欠損。みかん割材	クスギ節	第111図	PL73
50	30-000090	割材	径5.5×3.9 残長20.4	上下欠損。みかん割材	クスギ節	第111図	PL73
51	30-000091	割材	径5.5×3.9 残長20.4	上下欠損。みかん割材	クスギ節	第111図	PL73
52	30-000092	割材	径4.8×2.7 残長14.1	上下欠損。みかん割材	クスギ節	第111図	PL73
53	30-000093	割材	径4.6×2.8 残長13.9	みかん割材	クスギ節	—	PL73
54	30-000094	割材	径3.0×2.6 残長9.4	上下欠損。みかん割材	クリ	—	PL73
55	30-000095	割材	径2.7×1.7 残長9.4	上下欠損。みかん割材か	クリ	第111図	PL73
56	30-000096	割材	径4.6×1.9 残長9.3	上下欠損。みかん割材の材の樹皮近く	クリ	第111図	PL73
57	30-000097	割材	径2.6×1.7 残長7.7	上下欠損。みかん割材	クリ	第111図	PL73
58	30-000098	割材	2.9×2.4 残長7.3	一側面残り角材の可能性。一刀の切断痕	クリ	第111図	PL73
59	30-000099	割材	径2.7×1.2 残長6.5	上下欠損。幅狭のみかん割材	クスギ節	第111図	PL74
60	30-000100	割材	径2.9×1.4 残長5.6	破片。みかん割材	ヤナギ属	第111図	PL74
61	30-000101	切断材	径3.1×2.4 残長15.0	丸木材。一端折れ、一端一刀の切断	クリ	—	PL74
62	30-000102	切断材	径2.7×2.5 残長11.8	丸木材破片。一刀の切断痕跡	クリ	—	PL74

遺物一覽

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
63	30-000103	切断材	径1.8×2.0 残長9.9	樹皮付材。先端折れ。元側一刀の切断痕	クヌギ節	—	PL74
64	30-000104	切断材	径3.3×2.2 残長6.9	破片。丸木材。片面欠損。下端に一刀の切断痕	クリ	—	PL74
65	30-000105	切断材	径1.5×1.2 残長9.6	丸木材。先端折れ。元側一刀の切断痕	クヌギ節	—	PL74
66	30-000106	切断材	径5.2 残長19.8	丸木材・先端折れ。元側に切断痕	クヌギ節	—	PL74
67	30-000107	割材	径3.1×5.3 残長15.2	みかん割材。両端欠損	クリ	—	PL74
谷地部							
68	30-000110	割材	径7.4×3.9 残長126.8	二分割材	クリ	—	PL74
69	30-000111	杭	径5.2×4.7 残長103.5	丸木材。先端腐食。元側両側より削り	クリ	—	PL74
70	30-000112	杭	径5.5 残長92.1	屈曲する樹皮付材使用。枝払い。周囲からの削りで先端作る	クヌギ節	第111図	PL74
71	30-000113	杭	径11.5×7.3 残長81.0	上下端欠損。腐蝕進行。樹皮付材使用。下端の一面に削り	クヌギ節	第111図	PL74
72	30-000114	杭	径5.0×4.4 残長76.4	上位腐蝕により欠。下端一方より削り	クリ	第111図	PL74
73	30-000115	杭	径6.0×6.0 残長70.0	樹皮付丸木材。両端欠損。片側中心に削り先端作る	クヌギ節	第111図	PL74
74	30-000116	杭	径13.0×7.5 残長66.6	丸木材使用。先端に削りと一刀の切断痕	クヌギ節	第111図	PL74
75	30-000117	杭	径6.5×6.5 残長66.6	上部欠損。樹皮付丸木材使用。先端を周囲から削り先端作る	クヌギ節	第111図	PL74
76	30-000118	杭	径12.2×11.9 残長65.2	下端部付近。みかん割材使用。外周削り先端作る	クヌギ節	第111図	PL74
77	30-000119	杭	径6.5×5.9 残長63.7	四分割材使用。先端削り尖らす	クリ	第111図	PL75
78	30-000120	杭	径11.6×11.5 残長58.2	下位。樹皮付みかん割材使用。先端外周削り	クヌギ節	第111図	PL75
79	30-000121	杭	径5.5×3.1 残長50.9	みかん割材使用。少なくとも片側から削り先端造る	クリ	第111図	PL75
80	30-000122	杭	径3.9×3.5 残長38.2	上下欠損。四囲から削り込んで先端作る	クリ	第111図	PL75
81	30-000123	杭	径6.5×4.0 残長19.3	上部欠損。劣化顕著。みかん割材を削り先端作る	クヌギ節	第111図	PL75
82	30-000108	杭	径4.2×2.8 残長158.1	二分割材使用。先端腐蝕。元側尖る	クリ	第111図	PL75
83	30-000124	杭	径3.0 残長175.4	丸木材使用。先端折れ。元側削り先端作る	クヌギ節	—	PL75
84	30-000125	杭か	径6.6×5.3 残長91.0	屈曲する丸木材使用。割れ痕杭に使用か	クリ	—	PL75
85	30-000126	杭か	径6.9×6.5 残長86.0	上位欠け。樹皮付材使用。元側2回削り	クヌギ節	—	PL75
86	30-000127	杭か	径9.9×9.8 残長45.2	上下位欠損。下端外周に削り痕	クヌギ節	—	PL75
87	30-000128	杭か	径6.4×5.7 残長44.8	丸木材。元側一刀の切断か。折痕の可能性	クヌギ節	—	PL75
88	30-000129	杭か	径5.2×4.6 残長16.7	先側欠損。先端腐蝕。下端に何回もの切断痕	マキ属	—	—
89	30-000130	割材	径25.8×17.5 残長167.1	大型の二分割材。一端欠損。一端に複数の削り痕	クリ	—	PL75
90	30-000132	割材	径7.8×5.8 残長62.9	二分割割材	クリ	第111図	PL76
91	30-000133	割材	径18.7×10.3 残長33.0	二分割材の板目側	トチノキ	—	PL76
92	30-000134	割材	径15×4 残長140	両端欠損。やや不整形な割材	クヌギ節	—	PL76
93	30-000136	切断材	径3.3×3.2 残長123.7	丸木材。元折れる。先側一刀の切断	クリ	—	PL76
94	30-000137	切断材	径5.5×5.3 残長121.0	丸木材。元側一刀の切断。枝払いの痕跡もあり	クリ	—	PL76
95	30-000138	切断材	径5.2×4.5 残長111.5	丸木材。元側V字形に削り。枝払い	—	—	PL76
96	30-000139	切断材	径5.1×5.1 残長110.0	丸木材。元側一刀の切断	クリ	—	PL76
97	30-000140	切断材	径6.3×5.1 残長107.6	丸木材。先端一刀の切断。枝払い痕2ヵ所	クリ	—	PL76
98	30-000141	切断材	径7.0×6.0 残長98.6	丸木材。腐蝕で中位細る。元側一刀の切断。枝払い痕	クリ	—	PL76
99	30-000142	切断材	径14.8×9.3 残長77.2	上位欠損。樹皮付の二分割材使用。下端部何回もの切断痕	クヌギ節	第111図	PL77
100	30-000143	切断材	径4.4×4.4 残長63.8	丸木材。元側一刀の切断	クリ	—	PL76
101	30-000144	切断材	径6.1×5.8 残長58.9	樹皮付丸木材。上位腐食	クヌギ節	—	PL76
102	30-000145	切断材	径6.0 残長140	枝持ちの丸木材。上端・枝腐食。下端に一刀の切断痕	クリ	—	PL76
103	30-000146	切断材	径5.6×7.7 残長36.1	みかん割材か。元側折れ、先端一刀の切断	クヌギ節	—	PL76
104	30-000147		径11.1×9.7 残長33.6	一側面欠。先端腐食。下端数回の切断	クヌギ節	—	PL77
105	30-000135	切断材	径13.0×11.5 残長149.2	丸木材。上位欠損。元側に複数の削りによる切断痕	クリ	—	PL77
106	30-000131	割材	径7.5×5.0 残長114.8	みかん割材。両端欠損	クヌギ節	—	PL77
107	30-000109	杭	径11.3×5.2 残長137.5	丸木材。上位欠損。元端に四囲からの削りで先端造る	クリ	—	PL77
BW区谷地西							
108	20-000120	磨石	5.0×3.8×11.8	細長の河床石使用。裏面に研磨面。こも編み石に転用		—	—

BW区2面

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000104	土師器坏	口径(13) 残高3.8	1/4。口縁横撫で。口縁～体部内面横撫で。体部外面指撫で。底部内面寛撫で、底面寛削り		—	PL77

遺物一覧

(3面)

B区3面

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000105	土師器碗	口径(9.0) 残高5.7	1/3。口縁横撫で内面体～底部と外面体部指撫で。底面篋削り		—	PL81
2	10-000106	土師器甕	口径(14) 残高4.7	口縁～肩部1/4。口縁横撫で。肩部内面と頸部～肩部外面篋撫で		—	PL81
3	10-000107	土師器甕	残存11.2×4.8 厚0.7	口縁～肩部破片。口縁外面刷毛目後撫で、内面篋磨き。肩部外面篋撫で、内面剥落	4世紀	—	PL
4	20-000121	敲石	5.8×17.5×4.9	棒状の河床礫使用。上端に敲打痕、左側に研磨面残る	粗粒輝石安山岩	—	PL81

BW区3面

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000108	土師器台付甕	残存6.2×1.6 残高2.5	口縁片。S字状口縁。口縁横撫で。体部外面刷毛目、内面撫で	4世紀後半	—	PL81

(4面)

B区4面

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	10-000109	軟質陶器鉢	口径(30.4) 残高9.6	口縁破片。片口付く。内外面横位の撫で		—	PL83
2	10-000110	土師器壺	底径(6.2) 残高3.5	腰部下部底部1/2。腰部～底部内面篋撫で、外面篋磨き	古墳時代前期	—	PL83

(B区全体)

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	20-000122	甕天井石	幅11.4 残存12.3×8.2	破片。前後下面の一部残り、削り痕見られる。下面に煤吸炭	馬見岡凝灰岩	第121図	PL88
2	20-000123	磨石	13.1×13.8×5.1	河床礫使用。表面に研磨痕残る	石英閃緑岩	第121図	PL88
3	20-000124	磨石	10.9×13.2×8.7	卵形の河床礫使用。表面に敲打痕と研磨痕残る	粗粒輝石安山岩	—	PL88
4	20-000125	台石	22.7×9.1×(31.3)	大型の河床礫。表面を削って工作面形成。削痕・敲打・研磨痕残る。右側縁に研磨面形成	粗粒輝石安山岩	第121図	PL88
5	20-000126	礎石	15.4×(9.9)×3.6	河床礫使用。左側欠。表面に径6.2cmの角柱の当り痕残る	粗粒輝石安山岩	第121図	PL88
6	30-000148	付札か	径2.2×0.8 残長8.9	下位欠損。上部穿孔し細棒差し込む	エノキ属	第121図	PL88
6	30-000149	木製部品	径1.5×0.5 残長3.7	下位欠損。上部一面に横位の刻み入る	エノキ属	第121図	PL88
7	30-000150	薄板材	径3.4×0.4 残長7.5	破片。柁目板	モミ属	第121図	PL88
8	30-000151	薄板材	径1.8×0.5 残長4.8	側破片	クヌギ節	第121図	PL88
10	30-000152	角棒	径3.5×2.1 残長23.6	一部欠損、腐食。二分割材の外面を加工。面取り	スギ	—	PL88
11	30-000153	角棒	径2.2×1.6 残長13.9	両側欠損、腐食。柁目板を加工	クリ	第121図	PL88
12	30-000154	角棒	径2.8×1.7 残長7.2	一方欠損。二分割材の外面を削りにより加工。面取り	クヌギ節	—	PL88
13	30-000155	薄板材	径29.8×25.9 厚0.2	四隅欠損。正目材	針葉樹	第121図	PL88

2区

(1面)

2-5号溝

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	—	内耳鍋	残存12.7×13.6 厚0.6	口縁～体部片。口縁屈曲。外面に煤付。着内外面横位の撫で		第56図	PL56
2	—	内耳鍋	口径(15.0) 残高12.9	口縁～体部片。薄手で口縁屈曲。口端部平ら。内面に耳片	15世紀後半	第56図	PL56
3	—	礎石	残存10.5×18.5 厚5.5	河床礫使用。1/2。表面に6.5cmの角柱の当り痕残る	ひん岩	第56図	PL56
4	—	杭	径6.0×2.2 残長10.8	上位欠損。みかん割材使用。複数回の削りで先端形成		第56図	PL56
5	—	杭	径3.4×1.4 残長22.7	上位欠損。割材使用。左右両側からの削りで先端形成		第56図	PL57
6	—	割材	径3.1×1.6 残長20.5	上下端欠損。二分割材		第56図	PL57
7	—	割材	径3.3×1.6 残長18.8	上下端欠損。二分割材		第56図	PL57
8	—	割材	径2.2×0.8 残長5.6	上下端欠損。みかん割材		第56図	PL57

2-6号溝

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	—	緑釉陶器碗	径4.9×3.2 厚み0.4	口縁破片。古瀬戸	14世紀前～中葉	第68図	—
2	—	内耳鍋	口径(17.0) 残高11.1	口縁～体部片。薄手で口縁屈曲し内彎。口端部平ら	15世紀中葉	第67図	PL57

2-8号溝

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	—	かわらけ	口径11.1 底径5.2 器高2.9	口縁1/4欠損。左回転轆轤整形。底面回転糸切り	15世紀前半	第64図	PL57
2	—	かわらけ	口径11.1 底径5.2 器高2.9	1/4。左回転轆轤整形。底面回転糸切り	15世紀前半	第64図	PL57
3	—	かわらけ	底径4.7 器高2.6	1/3。底面はげる。右回転轆轤整形。底面回転糸切り	15世紀後半	第64図	PL57

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
4	—	内耳鍋	口径(27.8) 残高16.9	口縁～体部片。薄手で口縁屈曲。口端部平ら。内面に耳残る	15世紀中葉	第64図	PL57
5	—	焼締陶器甕	口径(13.0) 残高13.0	※ B1-14号溝-1と接合。14号溝に記載あり	15世紀前～中葉	第68図	PL58
6	—	皇宋通寶	2.485×2.495×0.13	銭文篆書でやや潰れる。裏面平ら	模鑄銭	第64図	PL59
7	—	板碑	残存15.5×12.8 厚2.0	破片。表面・左側縁の一部と裏面残る。表面にキリキリと連テの一部残る	緑泥片岩	—	PL57
8	—	石臼(上臼)	残存28.2×15.2 厚10.8	1/4。窪みは深さ2.6cmで側は角張る。芯棒受未貫通で円孔。挽き木は横打込み式で角孔。供給孔は円孔でだれたものくぼり残る。白面は六分画で磨滅激しい	粗粒輝石安山岩	第64図	PL57
9	—	茶臼(下臼)	残存14×27 厚10.2	受け部1/4。受けは幅8.1cm、窪みは深さ1.0cmで側は緩い	粗粒輝石安山岩	第64図	PL57
10	—	石鉢	残存15.6×5.5×10.4	口縁破片。径20数cm、口端尖るか。内外面研磨。外面に削痕	二ッ岳岩	第64図	PL57
11	—	こも編み石	5.7×12.2×2.2	片側に挟れ持つ河床礫使用。中位に幅6cm程の磨耗痕一周	—	—	PL57
12	—	緑釉陶器碗	残存4.8×3.1 厚0.3	口縁～体部片。口縁折れて彎曲。内外施釉	—	第64図	PL57
13	—	焼締陶器甕	残存8.8×2.0×3.2	口縁破片。口端引き出され上下に開く	13世紀中～後葉	第64図	PL57
14	—	板碑	残存5.5×12.5×1.0	破片。天地左右欠損。一面研磨	B1-8溝-3	第44図	—

2-1墓

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	—	かわらけ	口径11.7 底径6.9 器高2.3	ほぼ完形。器面やや荒れる。左回転軸整形。底面回転系切り	15世紀後半	第51図	PL59
2	—	かわらけ	口径10.6 底径6.6 器高2.3	ほぼ完形。器面やや荒れる。左回転軸整形。底面回転系切り	15世紀後半	第51図	PL59

2区

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	—	埴輪	残存6.0×7.8 厚1.5	上端横撫で。表面刷毛目。裏面篋撫で	円筒埴輪か	第121図	PL89
2	—	埴輪	残存7.1×9.2 厚1.6	たか部分破片。表面刷毛目。裏面指撫で	円筒埴輪か	第121図	PL89
3	—	焙烙鍋	口径(32.0) 器高5.9	破片。内外面横位の撫で。底面厚0.6cmで被熱痕	在地。17世紀か	第121図	PL89
4	—	青磁皿	残存3.1×1.8 厚0.5	口縁破片。内外面施釉	龍泉窯系	第121図	PL89
5	—	施釉陶器皿	残存3.0×3.2 厚0.5	口縁破片。内外面灰釉施釉	—	第121図	PL89
6	—	施釉陶器皿	残存3.0×2.9 残高1.4	腰～底部破片。内面施釉。外面に円錐ピン付着	19世紀中葉以降	第121図	PL89
7	—	施釉陶器高台付碗	高台径4.3 残高3.5	体部～高台。体部で稜持ち屈曲。底面～高台除き施釉	京・信楽系 18世紀中～後期	第121図	PL89
8	—	施釉片口鉢	残存3.7×2.9 厚0.45	口縁破片。口縁折り返し。内外面緑掛かった灰釉施釉	地方窯。近・現代	第121図	PL89
9	—	施釉陶器碗	残存4.9×3.7 厚0.7	体部破片。内外面天目釉	瀬戸・美濃	第121図	PL89
10	—	焼締陶器甕	残存6.9×4.3 厚1.0	口縁破片。外反	渥美。12世紀～13世紀初	第121図	PL89
11	—	瓦	残存6.6×7.4 厚1.6	破片。表裏右上面撫で	時期不明	第121図	PL89
12	—	磁器筒形碗	残存2.4×3.4 厚0.4	腰部破片。表裏施釉。表面に染め付け。肥前か	18世紀後半	第121図	PL89

3区

(1面)

3-12号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	—	土師器坏	口径(8.4) 器高2.9	1/4。内面荒れる。口縁～体部内面横撫で。体部外面撫で。底部内面篋撫でか。底面左回りの篋削り	9世紀前半	第40図	PL58
2	—	土師器坏	底径(3.1) 残高3.2	腰部下位～底部。腰部内外面横位の撫で。底部内面指撫で。底面篋調整	—	第40図	PL58
3	—	須恵器長頸壺	頸部径5.2 残高7.4	頸部～肩部上端。外面撫でで自然釉掛かる。頸部内面輪積み痕残り、頸部肩部に差込。方部の差込部分回転させて井の篋撫で。肩部内面指撫で	—	第40図	PL58
4	—	男瓦	残存31.5×14.0×2.7	一端欠損。内面布目痕。外面撫で。目釘穴残る。	—	—	PL58
5	—	焼締陶器甕	残存8.2×3.3 厚1.1	口縁破片。口縁突出し、口端上下両側に引かれる	—	—	—

3-16号溝

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	—	須恵器甕	残存23.2×38.9 厚1.3	胴部破片。内面同心円の叩き、外面縄叩き	—	—	PL59

(2面)

3-1号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	—	土師器坏	口径13.6 器高4.2	1/2。口縁横撫で。外面体部撫で、右面篋削。内面体～底部撫で	9世紀前半	第105図	PL69
2	—	土師器坏	口径13.0 器高3.0	4/5。内面荒れる。口縁横撫で。体～底部外面。内面撫で	9世紀前半	第105図	PL69

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
3	—	土師器坏 (黒色土器)	口径13.9 底径8.0 器高4.8	ほぼ完形。成形不明。胎土密で焼成軟質。内外面磨き後、吸炭による黒色処理	9世紀前半か	第105図	PL69
4	—	土師器甕	口径21.6 残高12.5	口縁～体部。口縁横撫で。体部外面磨削り、内面磨撫で		第105図	PL69
5	—	須恵器高台 坏	口径14.1 底径9.7 器高3.4	1/4。右回転轆轤整形。底面回転調整		第106図	—
6	—	須恵器高台 坏	口径14.7 底径8.3 器高3.5	1/4。右回転轆轤整形。底面回転糸切り後外周撫で		第106図	—
7	—	刀子	径0.5×1.2 残長12.1	両端欠損。両刃か		—	PL69

3-2号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	—	須恵器高台 付碗	口径13.6 高台径5.6 器高5.1	2/3。右回転轆轤整形。底面回転糸切り後高台貼付け	10世紀前半	第106図	PL69
2	—	土師器甕	口径19.4 残高7.2	口縁から肩部片。コ字状口縁。口縁横撫で。肩部外面磨削り、内面磨撫で	10世紀前半	第106図	PL69

(3区全体)

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	—	土師器坏	口径(14.4) 器高3.8	1/3。口縁から体部内面上位横撫で。体部下位～底部内面磨撫で、外面磨削り	8世紀前半	第122図	PL89
2	—	土師器坏	口径(18.5) 残高4.2	1/4。口縁横撫で。体～低部内面磨撫で。体部外面撫で。底面磨削り	8世紀前半以降	第122図	PL89
3	—	土師器甕	口径(27) 残高6.7	口縁～肩部1/4。口縁横撫で。肩部内面磨撫で、外面磨削り		第122図	PL89
4	—	須恵器坏	口径(11) 底径7.6 器高4.2	1/2。濃灰色。右回転轆轤整形。腰部～底部外面回転調整		第122図	PL89
5	—	土師器甕	残存11.2×4.6 厚0.8	口縁～肩部破片。口縁外面横撫で、内面磨磨き。肩部内面剥離、外面磨撫で		第122図	PL89

D区

(2面)

D-1号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	—	須恵器高台 付碗	口径13.8 底径6.7 器高4.9	1/2。右回転轆轤整形。灰白色。底面回転糸切り後貼付高台	10世紀後半	第106図	PL69
2	—	須恵器高台 付碗	口径6.4 残高4.7	口縁～腰部。右回転轆轤整形	10世紀後半	第106図	PL69
3	—	須恵器高台 付碗	高台径6.4 残高4.7	腰部～高台4/5。酸化焰焼成。右回転轆轤整形。底面回転糸切り後高台貼付け	10世紀後半	第106図	PL69
4	—	灰釉陶器高 台付碗	口径16.2 底径8.7 器高5.3	① 1/4。右回転轆轤整形。刷毛塗り施釉。見込部無釉薬 ② 底部破片。刷毛塗り施釉。見込部無釉薬	9世紀後半 光ヶ丘か	第106図	PL69
6	—	土師器甕	残存10.3×6.2 厚み2.3	破片。表面に連続した押圧線紋。裏面撫で		第106図	PL70
7	—	土師器甕	残存7.0×7.7 厚み0.7	口縁破片。内面撫で、外面磨き	古墳時代前期	第106図	PL70

D-2号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	—	須恵器高台 付碗	口径13.8 底径6.7 器高4.9	1/2。右回転轆轤整形。底面回転糸切り後高台貼り付け	10世紀前半	第106図	PL70
2	—	須恵器高台 付碗	口径12.6 底径6.4 器高5.3	1/3。右回転轆轤整形。底面回転糸切り後高台貼り付け	10世紀前半	第106図	PL70
3	—	須恵器高台 付碗	口径13.8 底径7.0 器高4.8	3/5。右回転轆轤整形。底面回転糸切り後高台貼り付け	10世紀前半	第106図	PL70
4	—	土師器甕	口径(19.3) 残高11.1	口縁～体部破片。口縁横撫で。体部内面磨撫で、外面磨削り		—	PL70
5	—	砥石	径3.2×4.5 残長7.5	下半分欠損。表裏・左右面に研磨面。表面に削痕残る	砥沢石	—	—

D-3号住居

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	—	須恵器碗	口径15.5 残高4.0	高台欠損。口縁～体部1/2。右回転轆轤整形。胎土密	9世紀後半	第106図	PL70

D区住居か

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	—	敲石	9.9×6.9×15.2	河床礫使用。上端と右側面に敲打痕残る		—	PL70

縄文時代（弥生時代）の遺物

No	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
1	1区	縄文土器深鉢	径5.7×2.5 厚0.7	口縁部破片。無文。口縁部は丸頭状を呈し、緩やかに外反する。外側へ折り返す箇所もあるが顕著ではない。口唇部に沿って指頭による押圧が連続する	早期前半 胎土粗砂粒・石英入る	第118図	PL85
2	1区	縄文土器深鉢	径3.0×2.5 厚0.5	口縁部破片。無文か。口縁部は丸頭状を呈し、口唇部に僅かな面を持つ。外側へ折り返し押圧が加わる。口唇部は撫で調整	早期前半 胎土粗砂粒・石英入る	第118図	PL85
3	1区	縄文土器深鉢	径3.3×3.5 厚0.7	口縁部破片。口縁部は丸頭状を呈し外反する。口唇部下より燃糸Rが縦位に施され、弱い撫でが加わる。撫で調整は口唇部内面にとどまる	早期前半 胎土粗砂粒・石英入る	第118図	PL85
4	1区	縄文土器深鉢	径2.1×2.8 厚0.6	口縁部破片。口縁部は丸頭状を呈し外反する。口唇部下より細かな燃糸Rが縦位に施される。内面は無調整か	早期前半 胎土粗砂粒・褐色粒入る	第118図	PL85
5	1区	縄文土器深鉢	径2.5×2.2 厚0.7	口縁部破片。口縁部は丸頭状を呈し強く外反する。口唇部下より燃糸Rが粗く縦位に施される	早期前半 胎土粗砂粒・石英入る	第118図	PL85
6	1区	縄文土器深鉢	径3.7×3.2 厚0.6	口縁部破片。口縁部は丸頭状を呈し強く外反する。口唇部下より燃糸Rが粗く縦位に施される。口唇部は丁寧に研磨される	早期前半 胎土粗砂粒入る	第118図	PL85
7	1区	縄文土器深鉢	径3.2×4.3 厚0.7	口縁部破片。口縁部は丸頭状を呈し緩やかに外反する。口唇部下より燃糸Rが比較的密接に縦位施文される。口唇部は丁寧に研磨。内面も撫でにより平滑である	早期前半 胎土粗砂粒・石英入る	第118図	PL85
8	1区	縄文土器深鉢	径4.0×4.5 厚0.8	口縁部破片。口縁部は丸頭状を呈し直立気味な形態。口唇部下より燃糸Rが粗く縦位に施される。口唇部研磨、内面弱い撫で	早期前半 胎土粗砂粒・石英入る	第118図	PL85
9	1区	縄文土器深鉢	径3.2×4.1 厚0.7	口縁部破片。無文か。口縁部は丸頭状を呈し僅かに外反する。外面は削り・撫で調整。口唇部は研磨。内面は無調整か	早期前半 胎土粗砂粒入る	第118図	PL85
10	1区	縄文土器深鉢	径2.9×3.2 厚0.5	口縁部破片。無文か。口縁部は棒状に近く薄手の器厚を呈す。口唇部・外面は撫で及び研磨により平滑	早期前半 胎土粗砂粒・石英入る	第118図	PL85
11	1区	縄文土器深鉢	径4.1×2.5 厚0.5	口縁部破片。無文か。口縁部は棒状に近く薄手の器厚を呈す。比較的小径で僅かに外反する。口唇部・外面は撫でと研磨。内面は無調整か。押圧痕が残る	早期前半 胎土粗砂粒入る	第118図	PL85
12	1区	縄文土器深鉢	径4.2×4.7 厚0.6	口縁部破片。薄手の体部。圧延が及び歪みが見られる。燃糸Rが縦位・斜位に密接に施される	早期前半 胎土粗砂粒入る	第118図	PL85
13	1区	縄文土器深鉢	径3.9×5.0 厚0.8	口縁部破片。器厚はやや厚手。比較的密接な燃糸R縦位施文。内面は無調整	早期前半 胎土粗砂粒・石英入る	第118図	PL85
14	1区	縄文土器深鉢	径4.3×4.4 厚0.7	口縁部破片。比較的粗い燃糸R縦位施文後弱い撫でが加わる。内面は無調整	早期前半 胎土粗砂粒入る	第118図	PL85
15	1区	縄文土器深鉢	径4.2×4.5 厚0.7	口縁部破片。緩やかな湾曲を呈す体部形態。密接な燃糸R縦位施文後弱い撫でが加わるが意図的なものではない。内面は弱い撫でか	早期前半 胎土粗砂粒入る	第118図	PL85
16	1区	縄文土器深鉢	径5.4×4.5 厚0.5	口縁部破片。薄手の器厚を呈す。外面削り調整後疎らな燃糸R縦位施文。内面は弱い撫でか	早期前半 胎土粗砂粒入る	第118図	PL85
17	1区	縄文土器深鉢	径6.5×5.9 厚0.7	口縁部破片。緩やかな湾曲を呈し器厚は薄手。密接な燃糸R縦位施文。内面弱い撫でか	早期前半 胎土粗砂粒・褐色粒入る	第118図	PL85
18	1区	縄文土器深鉢	径7.5×4.4 厚0.8	口縁部破片。内彎気味の体部形態。細かな燃糸を縦位施文するが擦痕状になる。絡糸幅は1～2cmか。内面は無調整	早期前半 胎土粗砂粒入る	第118図	PL85
19	1区	縄文土器深鉢	径5.7×5.2 厚0.8	口縁部破片。僅かに湾曲を示す体部形態。器厚は薄手。外面撫で調整後密接な燃糸L縦位施文。間隔状の施文か。内面は無調整圧延状の凹凸がある	早期前半 胎土粗砂粒入る	第118図	PL85
20	1区	縄文土器深鉢	径4.1×3.9 厚0.7	口縁部破片。内彎気味の体部形態。燃糸L縦位密接施文。内面は弱い撫で	早期前半 胎土粗砂粒入る	第118図	PL85
21	1区	縄文土器深鉢	径7.9×8.4 厚0.9	口縁部破片。おそらく尖底部上の底部破片。無文で外面は縦位削りが施される。底部近くは横位・斜位の撫でが加わる。内面は撫で調整	早期前半 胎土粗砂粒・石英入る	第118図	PL85
22	10-000111	縄文土器深鉢	径2.2×2.1 厚0.7	口縁部破片。破片形状は土製円盤に似るが、周縁に積極的な加工痕跡を見出せない。弧線状平行沈線と垂下沈線が看取される。地文は縦位燃糸Lが施される	加曾利E I式新胎土粗砂粒入る	第118図	PL85
23	10-000112	縄文土器深鉢	径2.3×2.7 厚0.8	口縁部破片。内彎する口縁部。口唇部下に刺突文が、以下内皮平行沈線が弧状に描かれ、地文として燃糸Lが縦位に施される	加曾利E I式新胎土粗砂粒・石英入る	第118図	PL85
24	10-000113	縄文土器深鉢	径4.9×4.6 厚0.7	口縁部破片。3条一組の沈線による弧状意匠と懸垂文。垂下沈線上端は蕨手状の小渦巻文とする。地文はRL縦位施文	加曾利E II式 胎土粗砂粒・石英入る	第118図	PL85
25	10-000114	縄文土器深鉢	径3.3×4.2 厚0.6	口縁部破片。2条一組の隆線による楕円状区画と頸部隆線。側線として凹線が沿う。地文はRL横位施文	加曾利E II式 胎土粗砂粒・雲母未入る	第118図	PL85
26	10-000115	縄文土器深鉢	径4.2×1.7 厚0.7	口縁部破片。1・2条の沈線による区画懸垂文の上端か。区画内はRL縦位充填施文	加曾利E II式 胎土粗砂粒入る	第118図	PL85
27	10-000116	縄文土器深鉢	径4.7×4.0 厚0.6	口縁部破片。凹線で画された磨消部と施文部の懸垂文構成。施文部縄文はRL縦位充填施文	加曾利E III式 胎土粗砂粒入る	第118図	PL85
28	1区か	縄文土器深鉢	径2.6×2.5 厚0.7	口縁部破片。小波状口縁を呈す。口縁下に1条の沈線が巡り、波頂部より沈線が分岐懸垂する。縄文は横位RL充填施文	加曾利E IV式 胎土粗砂粒入る	第118図	PL85

遺物一覧

No.	資料番号	資料名称	測定値 (cm)	形状・整形・調整等の特徴	備考	図版号	図版番号
29	1区	縄文土器深鉢	径3.2×1.4 厚0.5	口縁部破片。弧状沈線による施文部と無文部の交互構成。施文部縄文は縦位RL充填施文。28と同一個体	加曾利EIV式胎土粗砂粒入る	第118図	PL86
30	1区	縄文土器深鉢	径3.5×2.2 厚0.5	口縁部破片。弧状沈線による施文部と無文部の交互構成。沈線は2条だが重複施文による1条を意図したもののか。縄文はRL縦位充填施文。28と同一個体か	加曾利EIV式胎土粗砂粒入る	第118図	PL86
31	10-000117	縄文土器深鉢	径4.1×6.4 厚0.8	口縁部破片。直立気味の口縁部形態。口縁部下に浅い沈線が巡り、体部は櫛歯状の条線による一帯構成か	加曾利EIV式胎土粗砂粒入る	第118図	PL86
32	10-000118	縄文土器深鉢	径5.9×2.9 厚0.7	口縁部破片。直立気味の口縁部形態。口縁部下に浅い沈線が巡る。体部は無文か	加曾利EIV式胎土粗砂粒入る	第118図	PL86
33	10-000119	縄文土器深鉢	径5.4×5.3 厚0.9	口縁部破片。垂下沈線による施文部と無文部の交互懸垂構成。施文部には縦位刺突文が疎らに充てられる	称名寺式胎土粗砂粒・石英入る	第118図	PL86
34	10-000120	縄文土器深鉢	径6.3×7.1 厚0.7	口縁部破片。隆帯による対弧状意匠を配した捻転状突起である。突起下端より太い沈線と円形刺突文が口縁部に沿う。突起内面も円形の孔を開けるが貫孔にまでは至らない	称名寺式胎土粗砂粒入る	第118図	PL86
35	10-000121	縄文土器深鉢	径4.6×2.6 厚0.5	口縁部破片。波状口縁。鋭く深い沈線を側線とした隆線が口縁部に沿う。隆線にもRL縄文が施される。隆線下はRL縦位縄文が看取される。口唇部から口縁部にかけて丁寧な磨きを施し、焼成も極めて堅緻である	後期中葉以降胎土細砂粒入る	第118図	PL86
36	10-000122	弥生土器甕	径2.8×3.2 厚0.4	口縁部破片。僅かに内彎する口縁部。口唇部には刻みを有し、4~5条単位の櫛歯状条線による波状文が施される。内面も同一工具による条線が深く交互斜位に施文される特徴を有す。堅緻な焼成で器厚も極めて薄手	弥生中期前半か胎土細砂粒入る	第118図	PL86
37	20-000127	石鏃	1.9×3.9×0.4	細長いやや大型の無茎鏃。表裏面より剝離調整	珪化凝灰岩	第119図	PL86
38	20-000128	石鏃	2.1×(2.6)×0.35	有茎鏃。先端と基部欠損。両側逆刺部やや内彎	頁岩	—	PL86
39	20-000129	石鏃	1.4×2.3×0.4	小型の無茎鏃。両側逆刺部短い	—	—	PL86
40	20-000130	石鏃	1.7×(2.5)×0.45	有茎鏃。上半部と茎部下位欠損。逆刺部持たない菱形	—	—	PL86
41	20-000131	打製石斧	(4.5)×12.1×1.1	短冊形。薄手。刃部使用痕顕著。柄すれあり	黒色頁岩	第119図	PL86
42	2区	打製石斧	3.9×(8.9)×1.9	短冊形。頭部欠損。刃部欠損後再生使用。柄すれ痕あり	黒色頁岩	第119図	PL86
43	20-000132	打製石斧	4.2×(7.8)×10.7	短冊形。頭端・刃部欠損。左側縁研磨か。斑晶多し	細粒輝石安山岩	第119図	PL86
44	20-000133	打製石斧	4.3×(8.1)×1.8	短冊形だが先端丸い。頭部欠損。刃部磨滅	黒色頁岩	第119図	PL86
45	2区	打製石斧	4.7×(7.8)×1.4	短冊形。上半部欠損。表裏面剝離。裏面に自然面残る	—	—	PL86
46	20-000134	打製石斧	4.3×(8.7)×10.2	撥形。上端部欠損。表面に自然面残り、表裏より剝離調整	珪質頁岩	第119図	PL86
47	20-000135	打製石斧	5.0×11.2×1.7	撥形。表面突出。上下両刃。使用痕顕著	黒色頁岩	第119図	PL86
48	2区	打製石斧	残存6.0×10.0 厚1.5	撥形。上下端部欠損。表裏より剝離調整	珪質頁岩	第119図	PL86
49	20-000136	打製石斧	4.0×5.4×1.0	撥形。頭部欠損。裏面下半剝離	—	—	PL86
50	2区	打製石斧	4.7×(5.3)×1.2	撥形。下部のみ。使用痕跡顕著	—	—	PL86
51	20-000137	打製石斧	6.7×9.4×1.6	分銅形。風化顕著。着柄痕明瞭。上下両刃	ホルンフェンス	第120図	PL86
52	20-000138	打製石斧	5.2×9.3×1.6	分銅形。両刃。中程に装着痕あり	黒色頁岩	第120図	PL86
53	20-000139	打製石斧	6.7×9.4×1.7	分銅形。上端部欠損。中程に装着痕あり	珪質頁岩	—	PL86
54	20-000140	打製石斧	8.9×14.4×3.0	大型の分銅形。上下両端に刃部あるが、上部のものは欠損後再生。上下両端に使用による弱い磨滅	珪質頁岩	第120図	PL87
55	20-000141	スクレーパー	8.0×9.8×3.0	表面に自然面残す。左側線上半部は敲き潰されている	黒色頁岩	第120図	PL87
56	20-000142	敲石・磨石	5.1×4.8×7.8	卵形の河床礫使用。上下端部に敲打痕、表・右側面に磨痕	粗粒輝石安山岩	第120図	PL87
57	20-000143	敲石	径6.1×5.4 長さ13.3	河床礫使用。底面に敲打痕。裏面研磨か	溶結凝灰岩	第120図	PL87
58	20-000144	石皿	17.6×(13.4)×8.6	破片。サドルカーンに近い形態か。表面に研磨面。裏面に階段状の削り痕残る	粗粒輝石安山岩	第122図	PL87
59	20-000145	多孔石	残存21.4×19.8 厚15.9	河床礫使用。右側欠損。表面に49ヶ所、裏面に43ヶ所の窪み	—	—	PL87
60	20-000146	多孔石	残存12.9×10.4×2.9	河床礫使用。破片。表面に20ヶ所の窪み	粗粒石英安山岩	—	PL87
61	20-000147	多孔石	残存12.3×15.8×9.4	側をはつり方形に加工か。表と右側面に孔穿たれる	—	—	PL87
62	20-000148	多孔石	17.1×12.8×22.6	大型の河床礫。表面に径2~2.5cm、深さ1.5cm程の未貫通孔	粗粒輝石安山岩	—	PL87
63	20-000149	多孔石	17.1×12.8×22.6	大型の河床礫。欠損品。表面に径1.8~3.7cm、深さ0.6~1.7cm程の孔6ヶ所	粗粒輝石安山岩	—	PL87
64	20-000150	凹石	残存13.5×9.1×6.1	河床礫使用。一部欠損。表面に窪み2ヶ所	粗粒輝石安山岩 台石に転用か	—	PL87
65	20-000151	凹石	16.5×(20.8)×9.4	河床礫使用。下端欠損。表面に径5.1×5.7cm、深さ3.3cmの未貫通の円孔穿たれる	二ッ岳石	第122図	PL87
66	20-000152	凹石	15.3×12.2×7.5	河床礫使用。右側面欠損。表面に窪み2ヶ所	—	第122図	PL87
67	20-000153	凹石	6.0×7.9×4.7	河床礫使用。表面に窪み、上下両端に敲打痕残る	—	第122図	PL88
68	20-000154	凹石	14.3×21.2×11.8	河床礫使用。表面に窪み1ヶ所。右側に研磨面残り、上端部に敲打により平に整形	台石に転用か	第122図	PL87
69	20-000155	凹石	6.7×5.2×16.4	河床礫使用。裏面に窪み。上下端、表左右面に敲打痕	—	—	PL88

※ 上表以外にも整理の不備から図示等が間に合わなかったが、A区南トレンチから近代の石墨、B区1面周堀から古代の土錘、B区1-4号井戸から15世紀後半期のかわけ、遺構外から土錘、泥面子(おはじき)2個が出土しており、2区8号溝からは蓮弁文碗かと思われる龍泉窯系の青磁碗片、3区から9世紀後半期の土師質黒色処理の須恵器高台付碗の出土も見られた。その他、図示するものではなかったが、多数の遺物の出土が得られた。これらについては紙面の都合が示すことができなかったが、その概要については本文文末に記した。

発掘調査報告書抄録

書名ふりがな	はしえなかやしきにしいせき
書名	波志江中屋敷西遺跡
副書名	北関東自動車道(高崎～伊勢崎)地域埋蔵文化財発掘報告
巻次	32
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	352
編著者名	石守 晃
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	平成17年3月28日
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県勢多郡北橘村大字下箱田784-2
遺跡名ふりがな	はしえなかやしきにしいせき
遺跡名	波志江中屋敷西遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんいせさきしはしえまち
遺跡所在地	群馬県伊勢崎市波志江町
市町村コード	10204
遺跡番号	事業団：10005-00506・507 群馬県：伊勢崎市-0015
北緯(日本測地系)	362059
東経(日本測地系)	1391121
北緯(世界測地系)	362070.3
東経(世界測地系)	1387069.5
調査期間	19980201-20000331 (伊勢崎市教育委員会、(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団合わせ)
調査原因	北関東自動車道建設工事
種別	集落/水田/屋敷/その他
主な時代	古墳/奈良平安/中近世
遺跡概要	縄文時代-縄文土器(中・後期)・石器 縄文～弥生時代-土坑13+小ピット829+風倒木痕37 古墳時代(前・中期)-水田1 古墳時代～平安時代-溝39+土坑4+ピット22 奈良平安時代-竪穴住居12+溝6+谷1+水田1-土師器・須恵器 中世-屋敷1+堀8+溝9+掘立柱建物17+井戸28+土壇墓8+土坑167+柱穴576(含掘立柱建物柱穴)-陶磁器+軟質陶器+鉄製品+木製品 江戸時代以降-溝3+土坑1-陶磁器+鉄製品+木製品
特記事項	平安時代の水路とこれに伴う大型の竪穴状掘削痕。 中世屋敷堀に浅い障子堀。同屋敷内井戸出土の建築材3本。

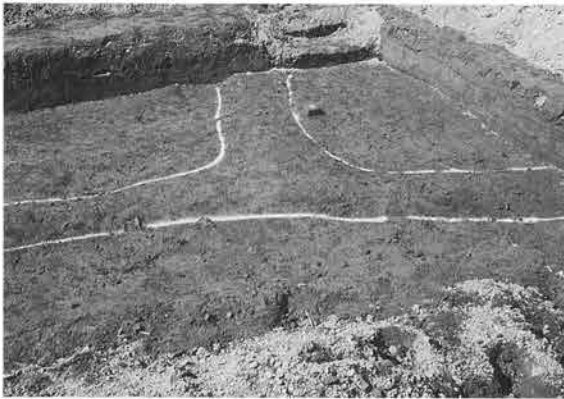
写真図版



試掘中央東トレンチ



試掘中央東トレンチ



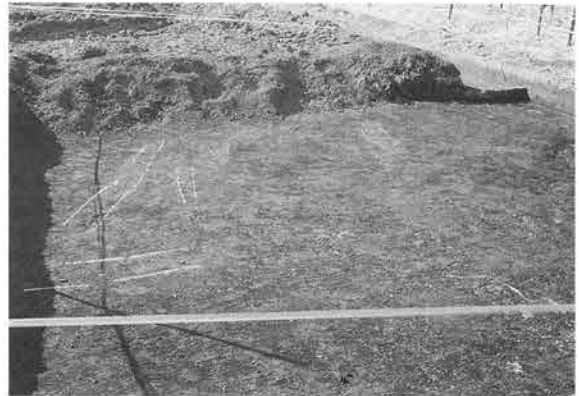
試掘中央東トレンチ



試掘中央東トレンチ



試掘北トレンチ全景



試掘北トレンチ東部分



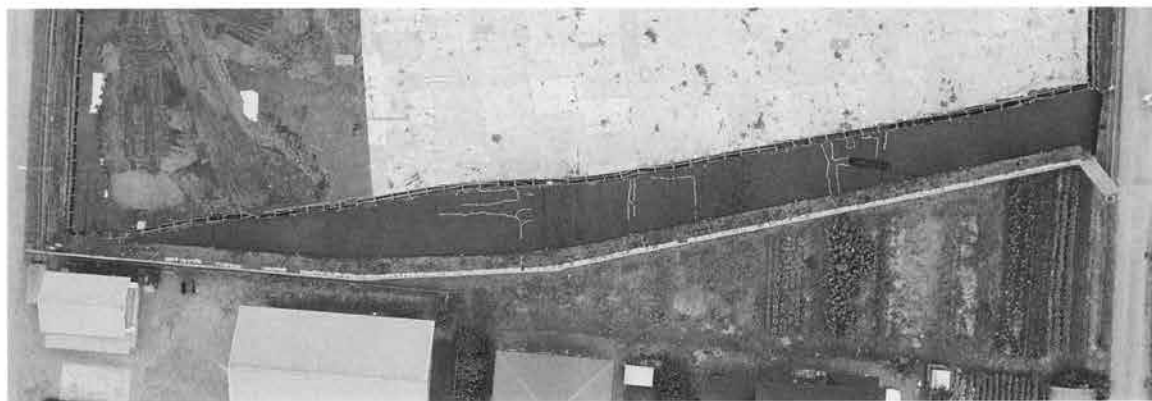
試掘 (A s - B 下面)



試掘 (A s - C 混土下)



A区1面（本線部）全景



AS区1面



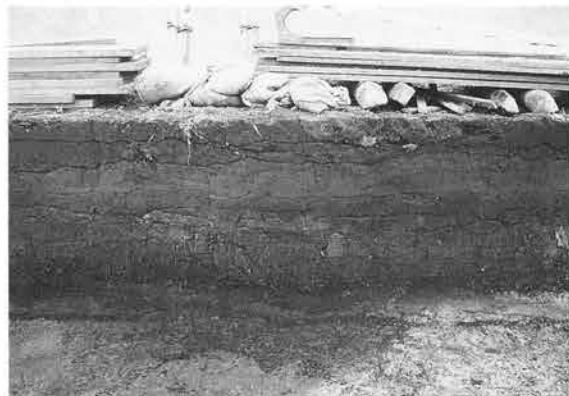
A区1面南部中央部（北より）



A区1面南部全景（北西より）



南壁セクション東端



南壁セクション西端



A1-1・2号溝北半部 (南より)



A1-1・3号溝全景 (西より)



A1-2号溝全景 (南より)



A1-2号溝杭列 (南より)



A1-1・2号溝 (AS区、北より)



A1-1・2号溝 (南より)



A1-1号井戸全景



A1-2号井戸全景



A1-1号土坑全景 (南より)



A1-2号土坑全景 (南より)



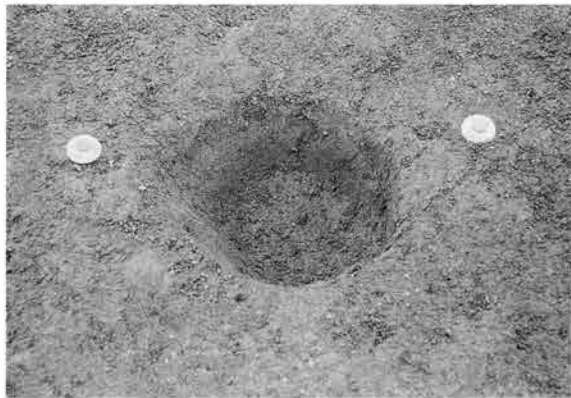
A1-3号土坑全景 (南より)



A1-4号土坑全景 (南より)



A区1面ピット群



A1-8号ピット



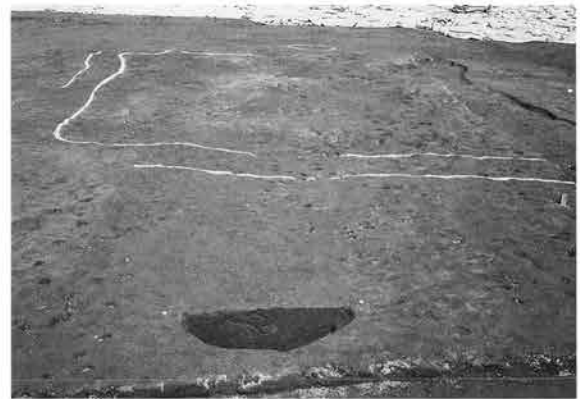
A1-11号ピット土層断面 (南東より)



A1-11号ピット (南より)



A区1面中世水田 (東より)



A区1面中世水田 (南より)



A区1面中世水田 (南より)



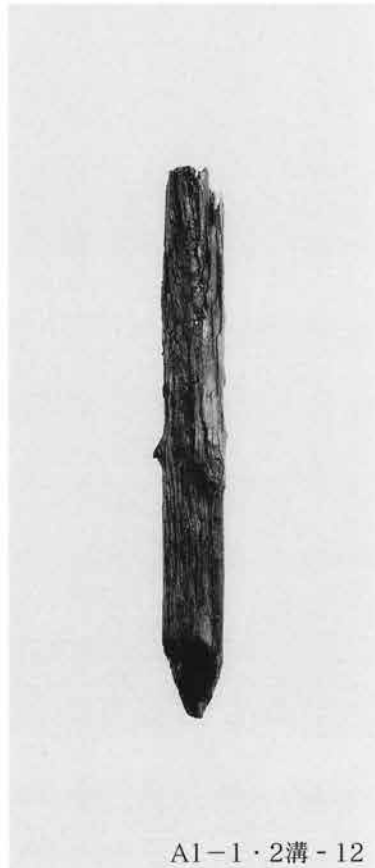
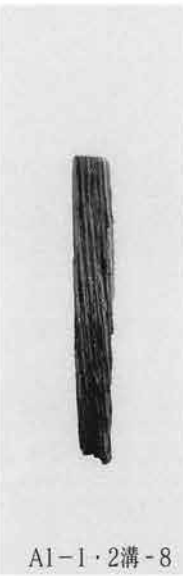
A区1面中世水田AS区 (西より)



A区1面近現代耕作痕 (南より)



A区1面近現代耕作溝 (南より)



A1-1・2溝-1

A1-1・2溝-2

A1-1・2溝-5

A1-1・2溝-6

A1-1・2溝-3

A1-1・2溝-4

A1-1・2溝-8

A1-1・2溝-8

A1-1・2溝-9

A1-1・2溝-11

AS1-1

AS1-3

A1-5坑-1

A1-1・2溝-12

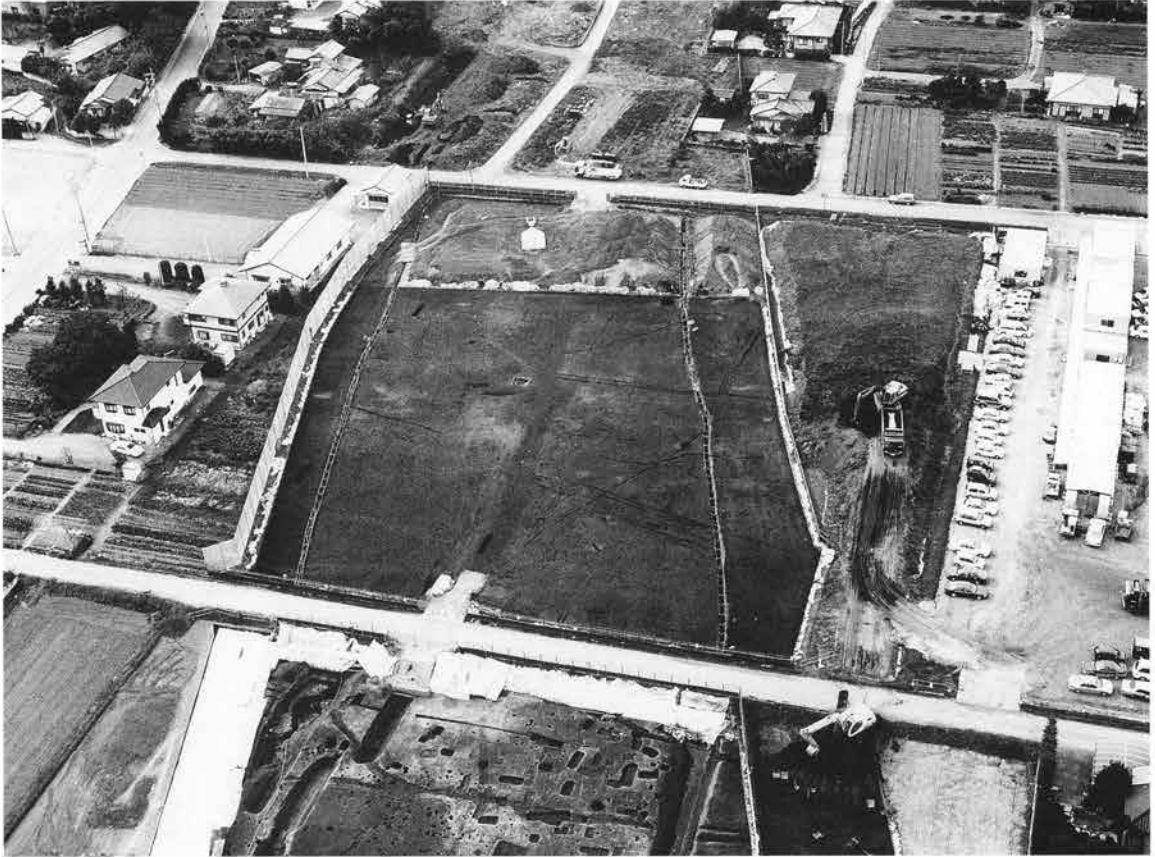
AS1-2

AS1-4

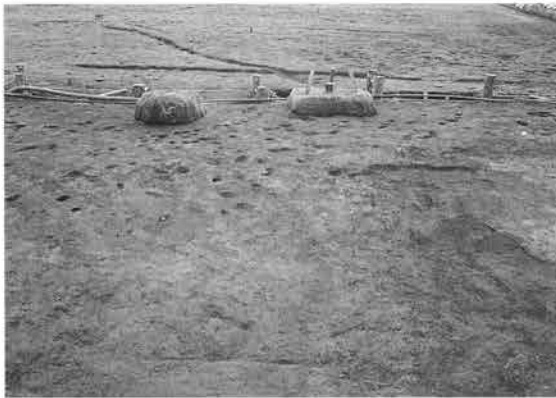
A区北トレンチ-1

A区北トレンチ-2

A区北トレンチ-3



A区2面 (東より)



A区2面西端部 (北より)



A区2面南西部 (西より)



A区2面東南部 (西より)



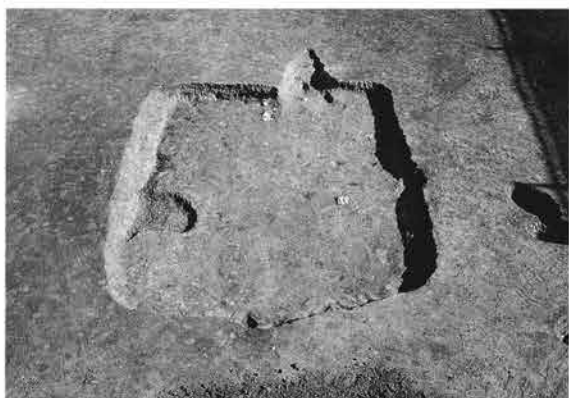
A区2面北東部 (南より)



AN区2面 (東より)



AN区2面 (西より)



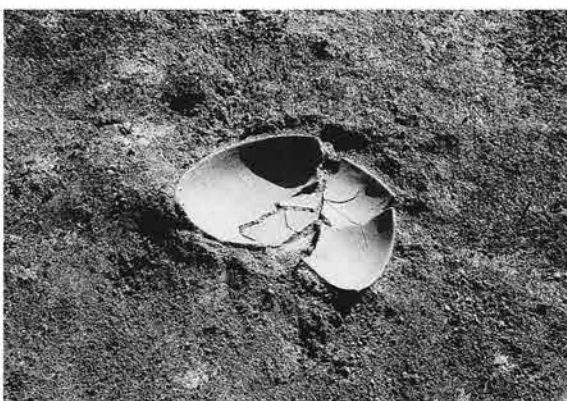
A2-1号住居全景 (西より)



A2-1号住居掘り方全景 (西より)



A2-1号住居竈全景 (西より)



A2-1号住居遺物出土状況



A2-2号住居全景 (西より)



A2-2号住居掘り方全景 (西より)



A2-2号住居竈全景 (西より)



A2-2号住居竈掘り方全景 (西より)



A2-1号溝 (東より)



A2-2・3・4号溝 (南より)



A2-5号溝 (西より)



A2-6号溝 (東より)



A2-10号溝 (東より)



A2-11号溝 (南より)



A2-12号溝 (西より)



A2-13号溝 (南より)



A2-14号溝 (南より)



A2-15号溝 (南より)



A2-16号溝 (南より)



A2-17号溝 (南より)



A2-20号溝 (西より)



A2-21号溝 (北より)



A 2-22号溝 (西より)



A 2-23号溝 (南より)



A 2-24・25号溝 (東より)



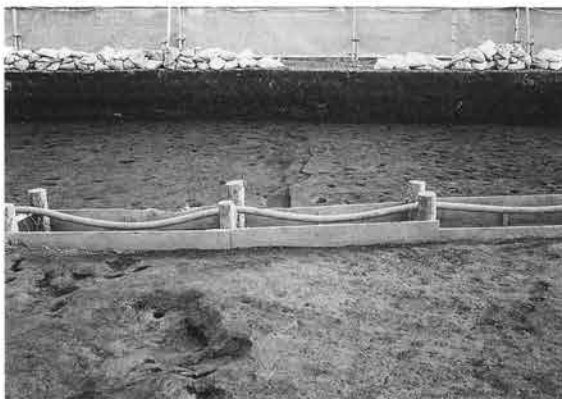
A 2-25号溝 (西より)



A 2-26号溝 (北より)



A 2-27号溝 (東より)



A 2-28号溝 (北より)



A 2-29号溝 (南より)



A2-1号土坑土層断面 (東より)



A2-2号土坑土層断面 (南より)



A2-3号土坑遺物出土状況 (東より)



A2-3号土坑土層断面 (南より)



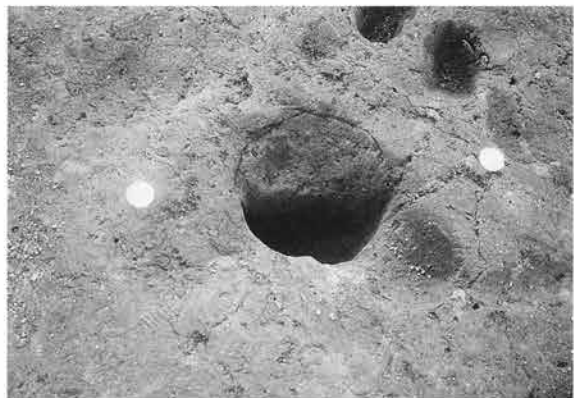
A2-4号土坑 (南より)



A2-1号ピット土層断面 (南より)



A2-8号ピット土層断面 (南より)



A2-10号ピット土層断面 (南より)



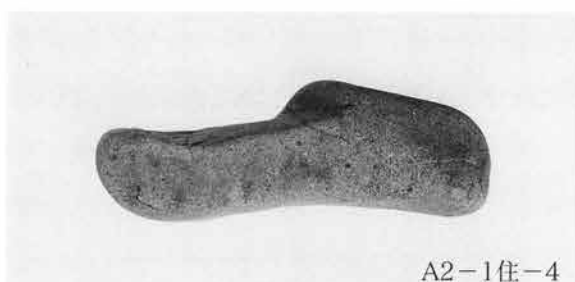
A2-1住-1



A2-1住-2



A2-1住-3



A2-1住-4



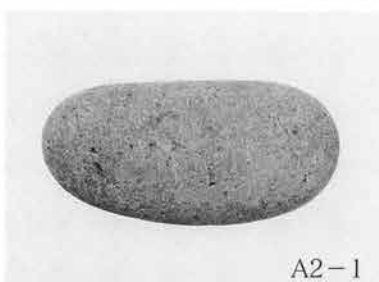
A2-2住-1



A2-3坑-1



A2-3坑-2



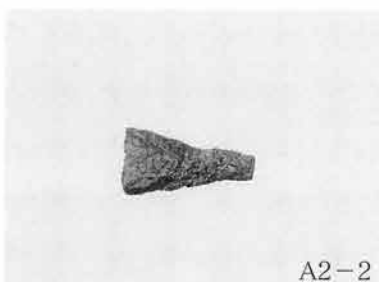
A2-1



A2-3坑-5



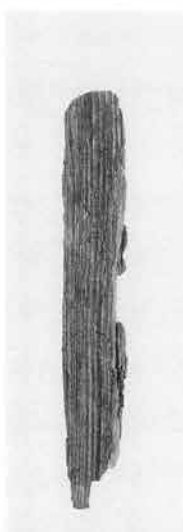
A2-3坑-3



A2-2



A2-3坑-4



A2-3坑-6



A2-3坑-7



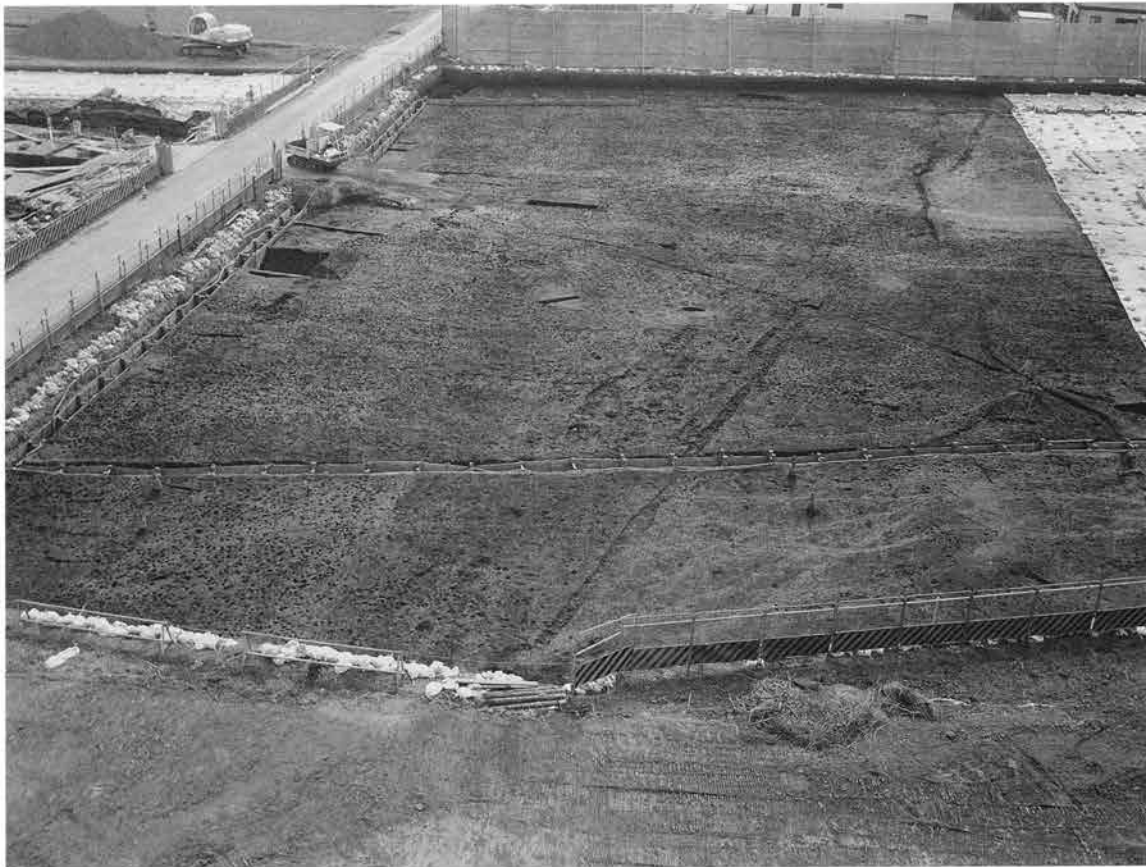
A区北トレンチ-4



A2-3坑-8



A区3面 (東部、南より)



A区3面 (東部、北より)



A区3面 (東部、南より)



A区3面 (東部、東より)



A区3面 (東部、北より)



A区3面 (東部、北西より)



A3-1号溝 (北より)



A3-2号溝 (西より)



A区3面遺物出土状況



A区3面遺物出土状況



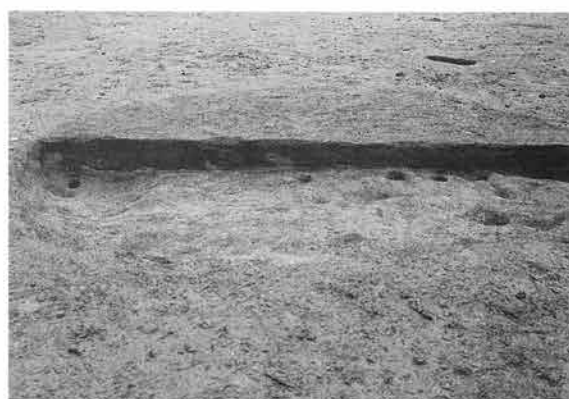
A区4面 (西部、北より)



A区4面 (西部、東より)



AN区4面 (東より)



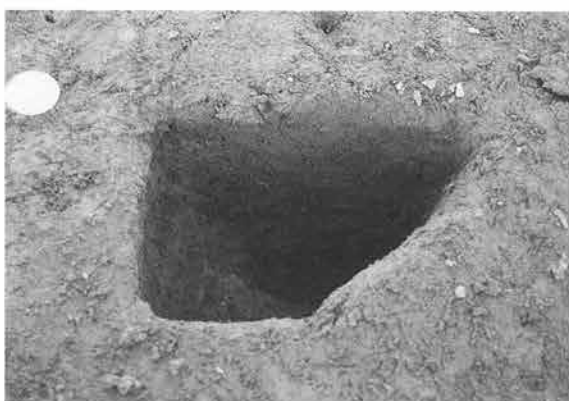
4-2号土坑土層断面 (南より)



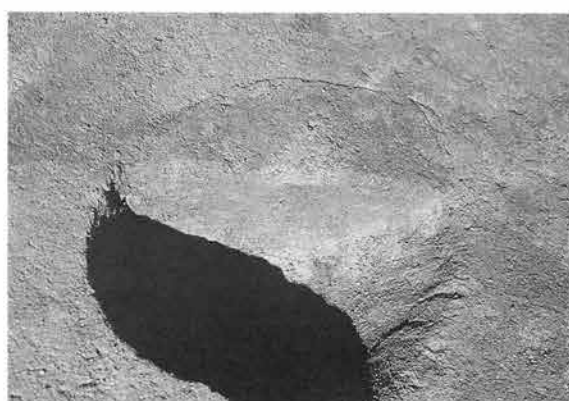
4-4号土坑 (南より)



4-6号土坑 (南より)



4-50号ピット土層断面 (南より)



4-72号ピット土層断面 (南より)



4-81号ピット



4-99号ピット (南より)



4-106号ピット



4-110号ピット



A区4面風倒木分布状況（東より）



4-14・15・16号風倒木確認状況（東より）



A3-4号風倒木土層断面（南より）



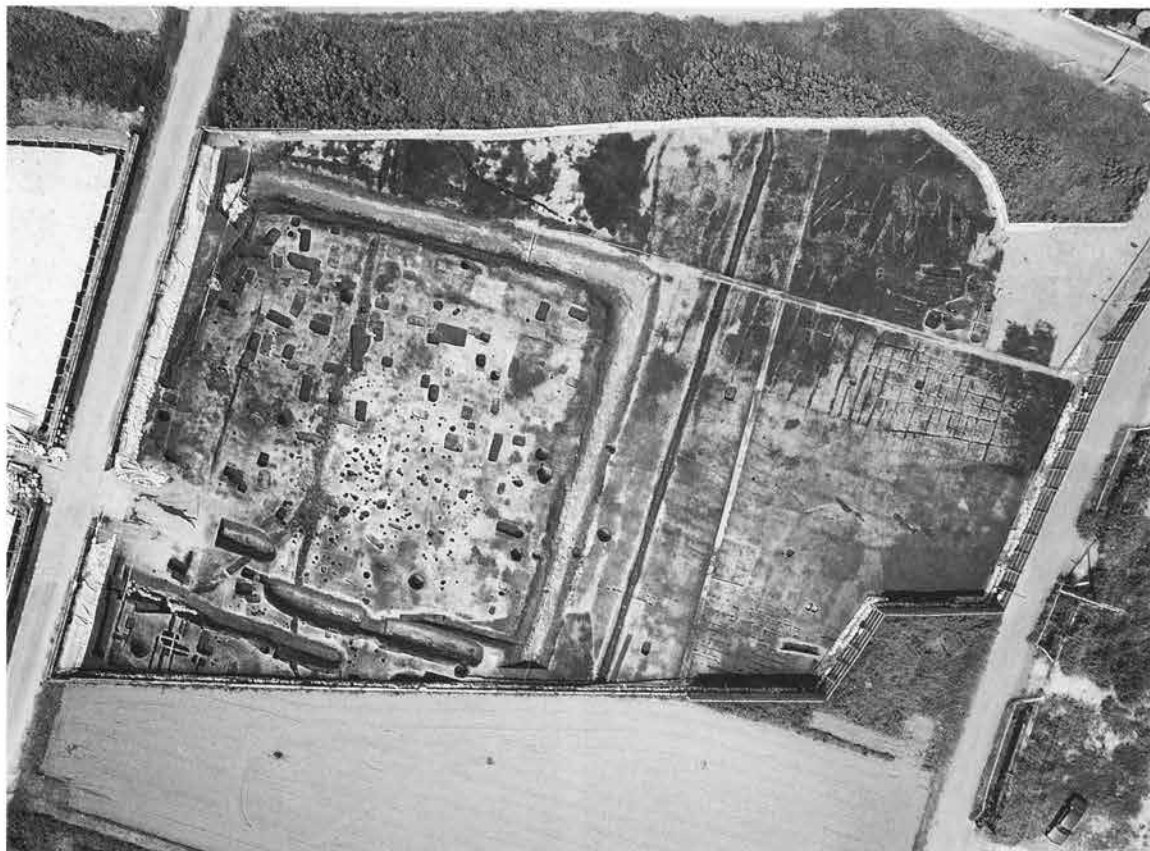
A3-17号風倒木土層断面（南より）



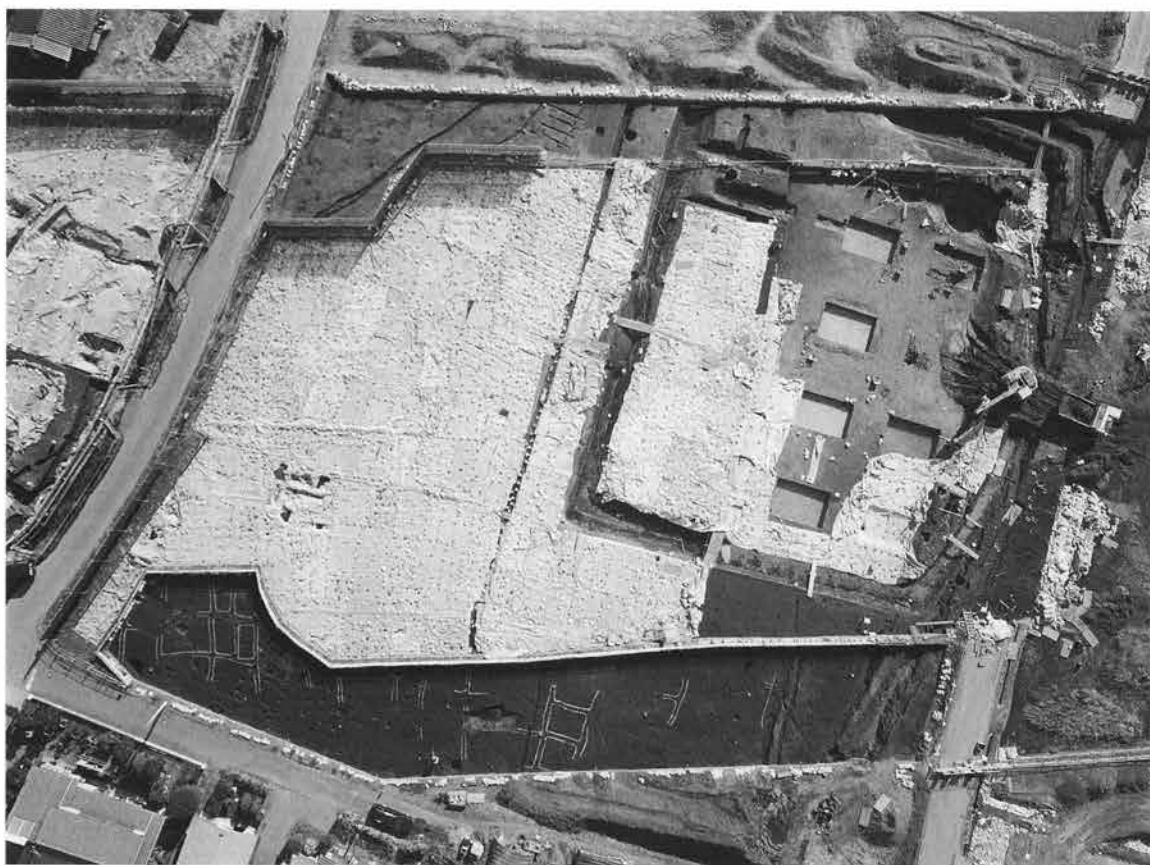
1号トレンチ附近深堀（西より）



A区4面トレンチ全景



B区1面 (本線部)



2区 (上) · 3区 (下)



B1-1号溝(南より)



3-7号溝(東より)



B1-2・10・11号溝(南より)



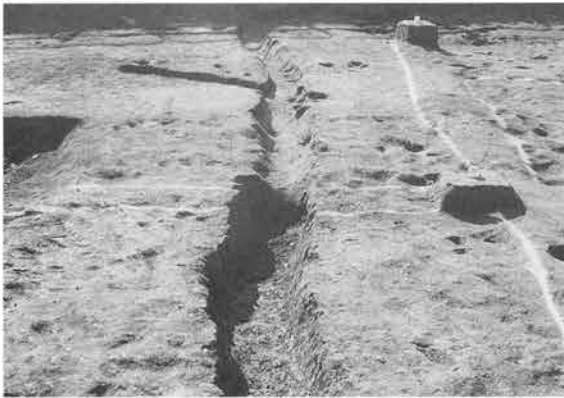
B1-2・10号溝(南より)



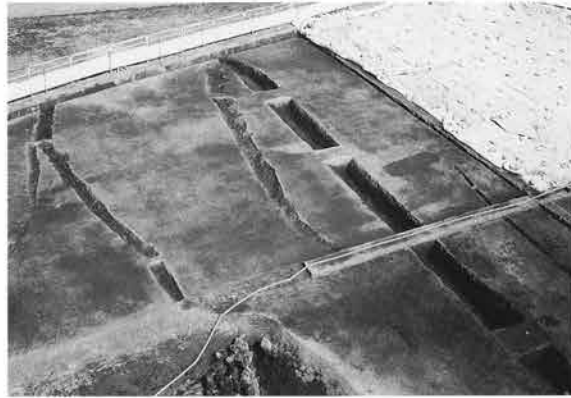
3-14・15号溝(南より)



B1-3・4・5・6号溝(南東より)



3-11号溝(南より)



B1-6~8号溝(南南西より)



B1-8号溝 (南より)



2-4号溝 (南より)



B1-9号溝セクション (南より)



B1-19・20号溝(東より)



BW1-1号溝 (北より)



BW1-1・BW2-2・3号溝 (北より)



BW2-2溝 (北より)



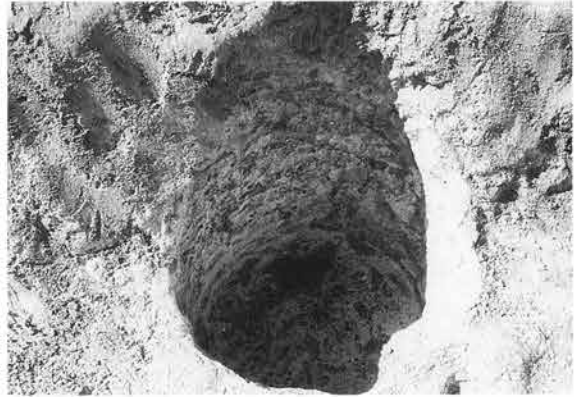
B 1 - 1号掘立柱建物 (西より)



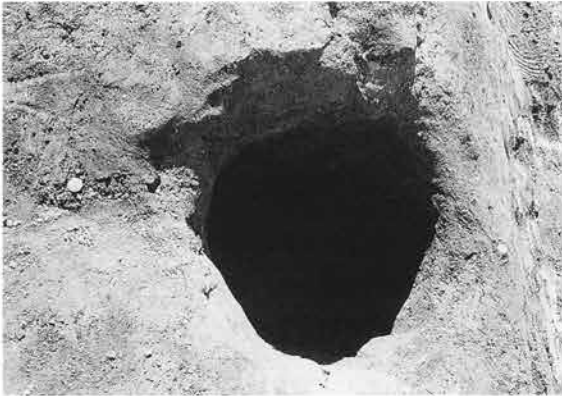
BW1 - 1号井戸 (南より)



BW1 - 2号井戸



BW1 - 3号井戸



BW1 - 4号井戸



BW1 - 5号井戸



BW1 - 6号井戸



2 - 1号井戸 (南より)



2-2号井戸 (北より)



2-4号井戸 (北より)



2-5号井戸 (北より)



2-1号土壙墓 (南より)



2-2号土坑 (南西より)



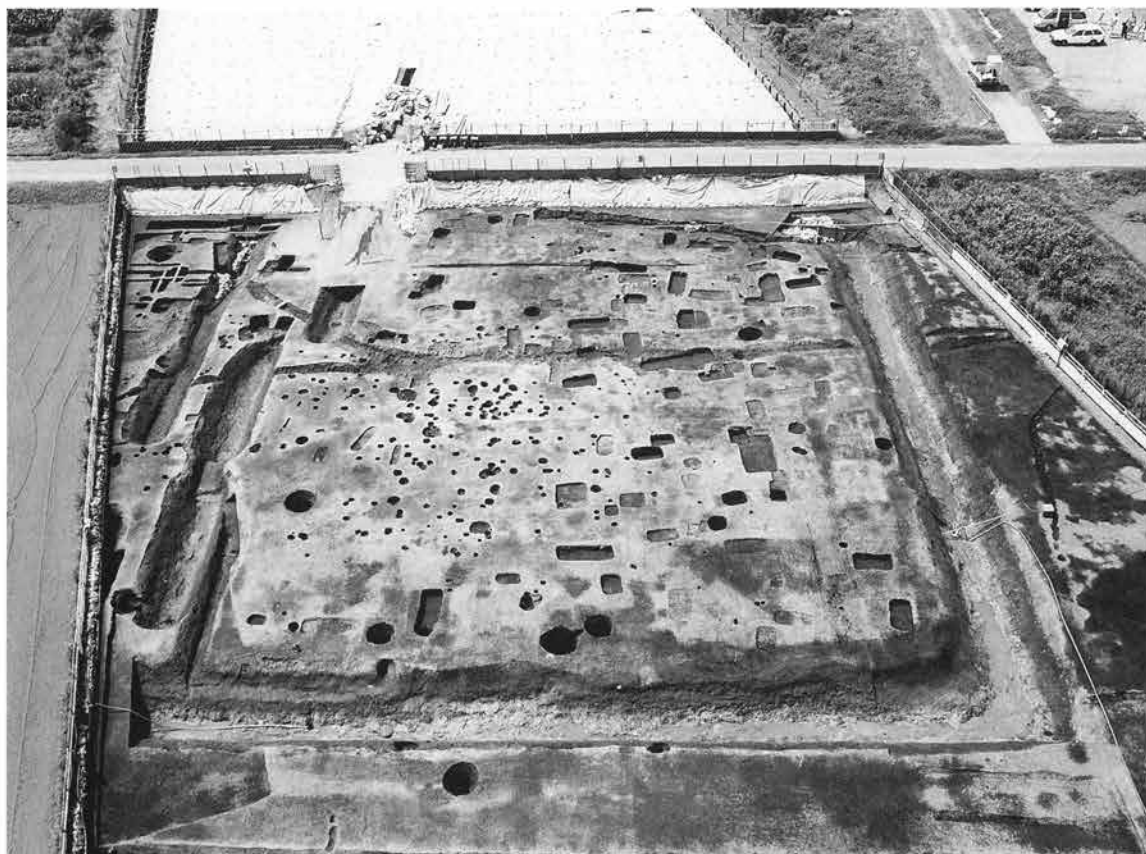
2-3号土坑 (南より)



2-5号土坑 (北より)



2-6号土坑 (北より)



B区1面屋敷 (東より)



B区1面屋敷 (北より)



B区1面屋敷周堀東側(南より)



B区1面屋敷周堀東側(北より)



"B区1面屋敷周堀東側遺物出土状況(南より)"



2-5号溝(南より)



2-5号溝遺物出土状況(南より)



東側周堀下駄出土状況



東側周堀遺物出土状況



B区1面屋敷周堀北東隅(南西より)



B区1面屋敷周堀北側(東より)



B区1面屋敷周堀西側(北より)



B区1面屋敷周堀西側(南より)



屋敷周堀南西部全景(航空写真)



2-7号溝 (南側周堀、東より)



2-8号溝 (南側周堀、西より)



2-8号溝障壁 (南より)



2-8号溝障壁 (南より)



B区1面屋敷北東部 (南より)



B区1面屋敷北西部 (南より)



B区1面屋敷南東部(南より)



B区1面屋敷南西部(北より)



B1-12号溝(東より)



B1-13号溝(西より)



B1-13号溝土橋部分断面(南より)



B1-13号溝盛土土橋(南より)



2-6号溝(西より)



B1-14号溝(西より)



B 1-15号溝 (東より)



B 1-18号溝 (東より)



B 1-1井戸 (西より)



B 1-2井戸 (西より)



B 1-3井戸建築材出土状況 (西より)



B 1-3井戸 (西より)



B 1-4井戸漆碗・籠出土状況 (西より)



B 1-4井戸 (西より)



B1-5A井戸 (東より)



B1-5B井戸 (東より)



B1-6A井戸 (東より)



B1-6B井戸 (東より)



B1-7井戸 (南より)



B1-8井戸遺物出土状況



B1-8井戸 (南より)



B1-9井戸 (西より)



B 1-10井戸 (南より)



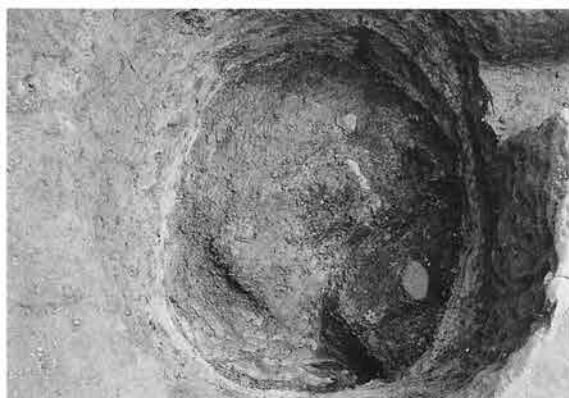
B 1-11井戸土層断面 (南より)



B 1-12井戸遺物出土状況 (西より)



B 1-13井戸遺物出土状況



B 1-13井戸 (西より)



B 1-14井戸土層断面 (南より)



B 1-15井戸土層断面 (東より)



B 1-16井戸 (西より)



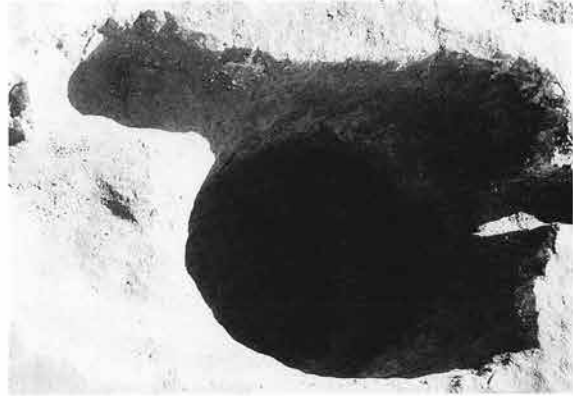
B 1-17井戸遺物出土状況 (西より)



B 1-18A井戸集石状況 (南より)



B 1-18井戸木杭打設状況 (南より)



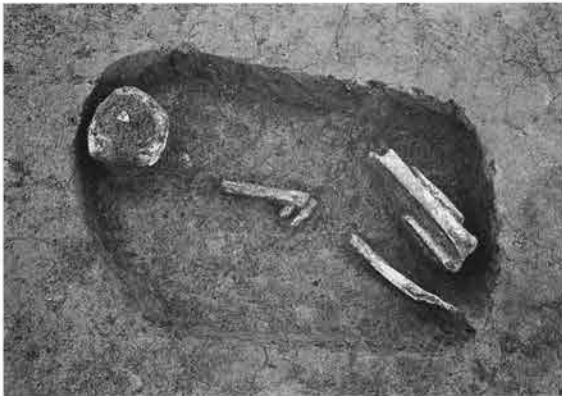
B 1-20井戸



B 1-1号墓壙 (東より)



B 1-2号墓壙 (南より)



B 1-3号墓壙 (西より)



B 1-4号墓壙 (南より)



B 1-5号墓壙 (直上より)



B 1-6号墓壙 (東より)



B 1-7号墓壙 (南より)



B 1-3号土坑 (東より)



B 1-9号土坑断面 (西より)



B 1-19号土坑 (南東より)



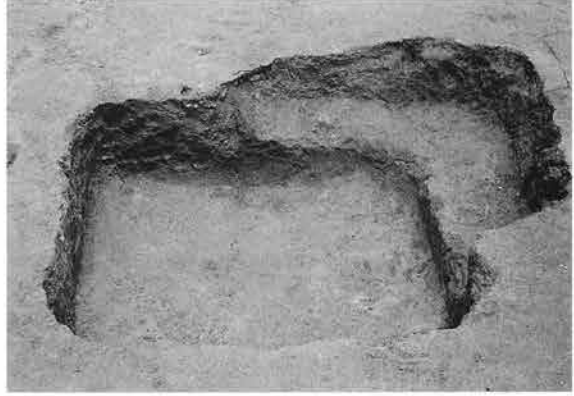
B 1-9号土坑 (北より)



B 1-29・30号土坑 (東より)



B 1 - 32号土坑 (東より)



B 1 - 42・43号土坑 (北より)



B 1 - 58号土坑 (南より)



B 1 - 73号土坑



B 1 - 77・53号土坑 (西より)



B 1 - 83号土坑 (南西より)



B 1 - 91号土坑断面 (南より)



B 1 - 113号土坑 (南より)



B 1-114号土坑 (南より)



B 1-118・119号土坑 (東より)



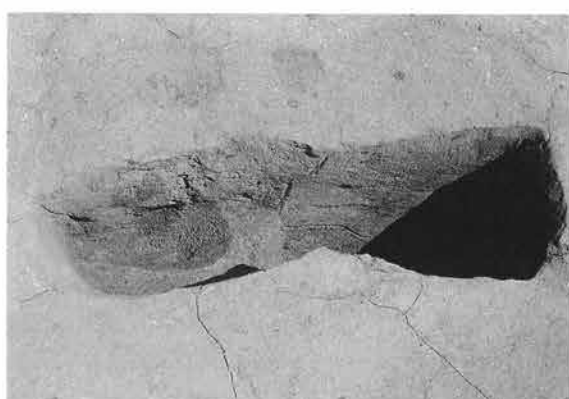
B 1-125号土坑 (南より)



B 1-139・140号土坑 (西より)



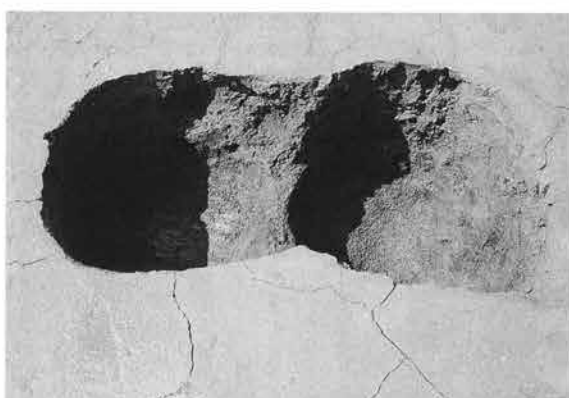
B 1-20号ピット断面 (南より)



B 1-60・61号ピット断面 (南より)



B 1-20号ピット (南より)



B 1-60・61号ピット (南より)



B 1-70号ピット (南より)



B 1-177・299~300号ピット (南より)



B 1-232号ピット (南より)



B 1-304~306号ピット (南より)



B 1-376号ピット (南より)



B 1-481号ピット (南より)



3区ピット群 (東より)



3区ピット群 (東より)



B1-1溝-1



B1-1溝-2



B1-1溝-3



B1-1溝-4



B1-1溝-6



B1-1溝-7



B1-1溝-5



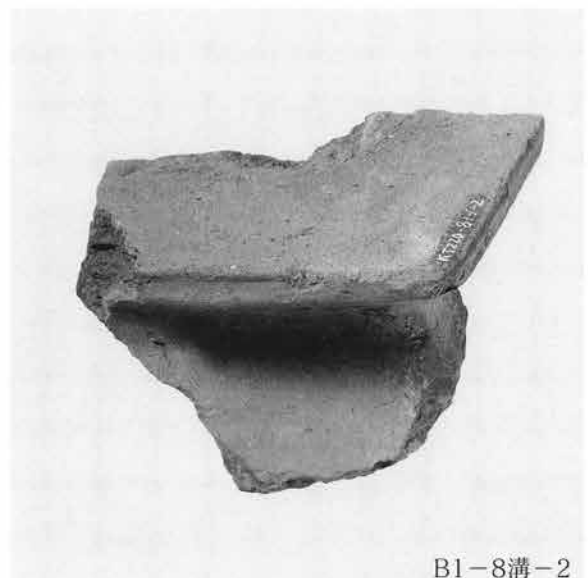
B1-3溝-1



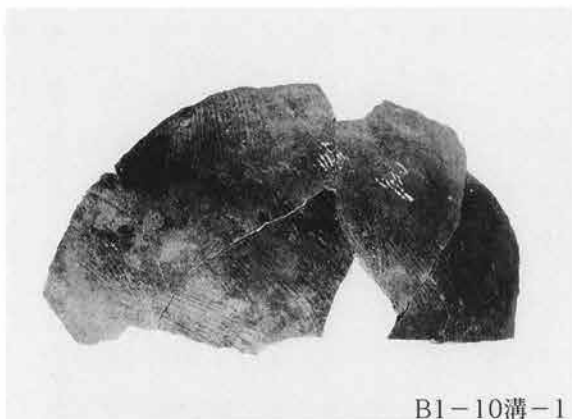
B1-1溝-8



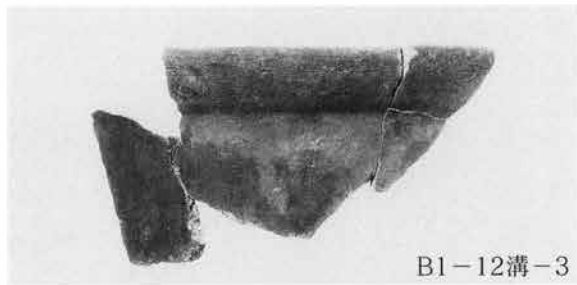
B1-8溝-1



B1-8溝-2



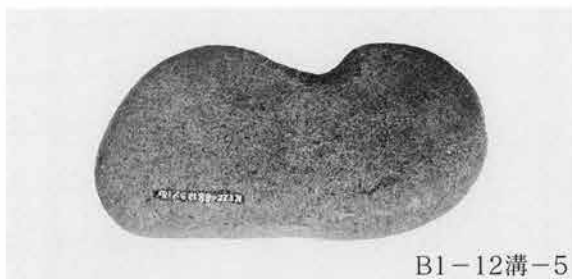
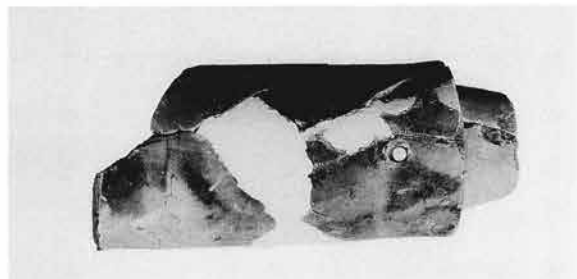
B1-10溝-1



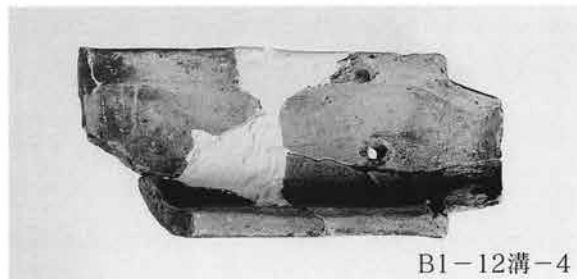
B1-12溝-3



B1-12溝-2



B1-12溝-5



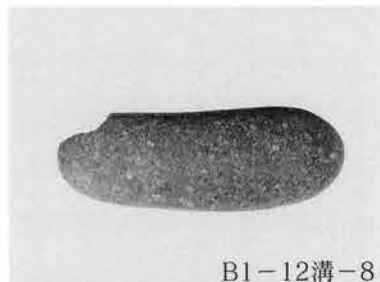
B1-12溝-4



B1-12溝-6



B1-12溝-7



B1-12溝-8



B1-13溝-1



B1-15溝-1



B1-14溝-1・2-8溝-5



B1-14溝-2



B1-18溝-1



B1-18溝-2



B1-18溝-3



B1-18溝-4



B1-堀-1



B1-堀-2



B1-堀-3



B1-堀-4



B1-堀-5



B1-堀-6



B1-堀-7



B1-堀-8



B1-堀-9



B1-堀-10



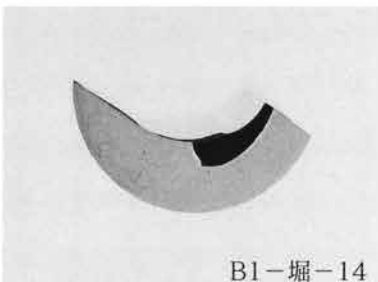
B1-堀-11



B1-堀-12



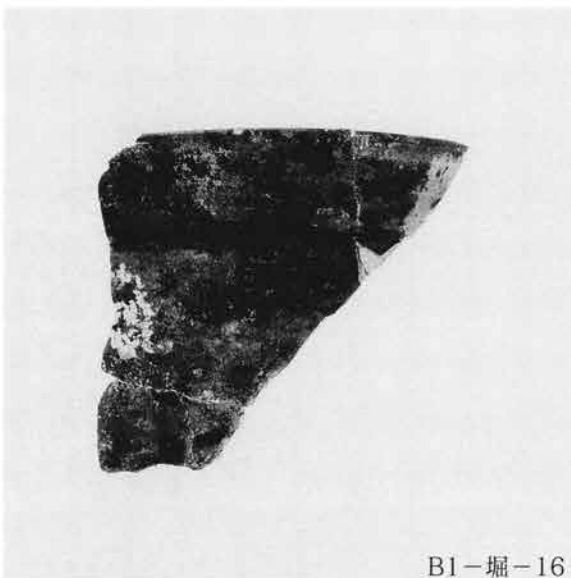
B1-堀-13



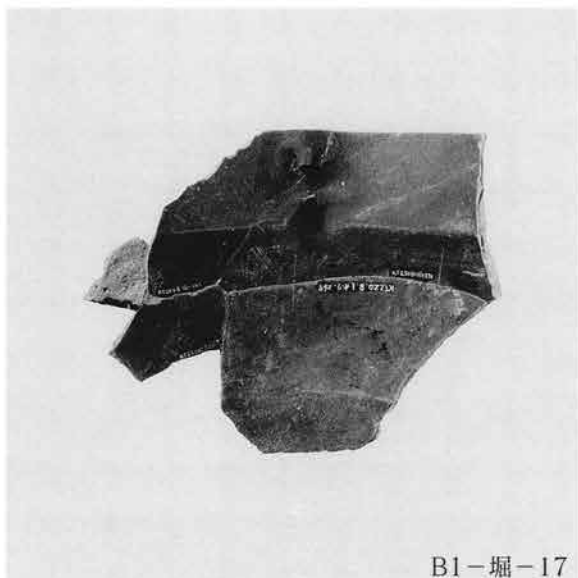
B1-堀-14



B1-堀-15



B1-堀-16



B1-堀-17



B1-堀-18



B1-堀-19



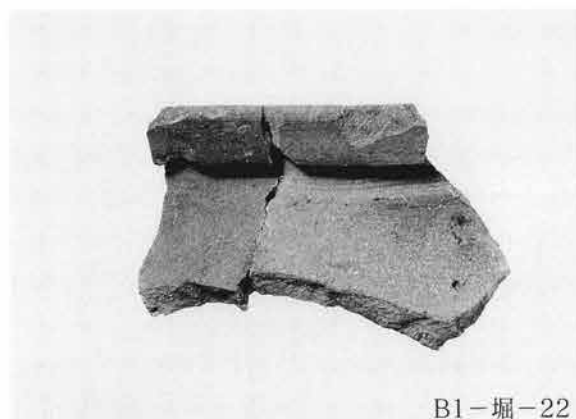
B1-堀-20



B1-堀-21



B1-堀-23



B1-堀-22



B1-堀-24



B1-堀-25



B1-堀-26



B1-堀-27



B1-堀-28



B1-堀-29



B1-堀-30



B1-堀-31



B1-堀-32



B1-堀-33



B1-堀-36



B1-堀-34



B1-堀-35



B1-堀-40



B1-堀-37



B1-堀-38



B1-堀-42



B1-堀-39



B1-堀-41



B1-堀-43



B1-堀-44



B1-堀-45



B1-堀-46



B1-堀-47



B1-堀-48



B1-堀-49



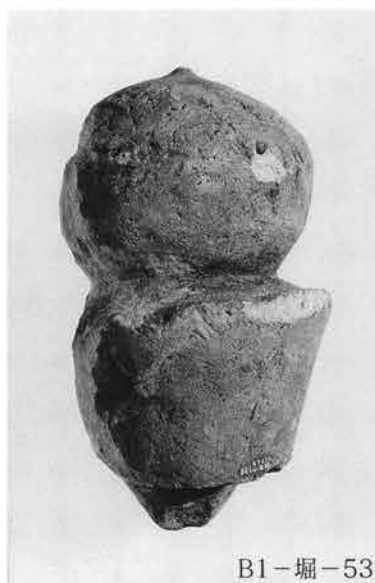
B1-堀-50



B1-堀-51



B1-堀-54



B1-堀-53



B1-堀-52



B1-堀-56



B1-堀-55



B1-堀-57



B1-堀-58



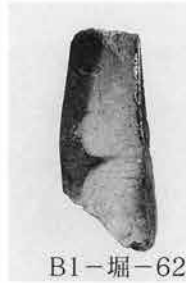
B1-堀-60



B1-堀-61



B1-堀-59



B1-堀-62



B1-堀-63



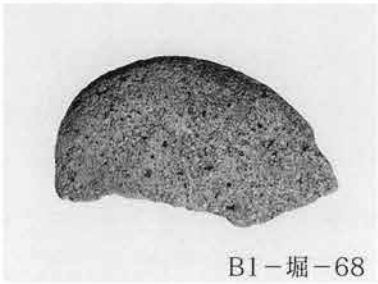
B1-堀-64



B1-堀-65



B1-堀-67



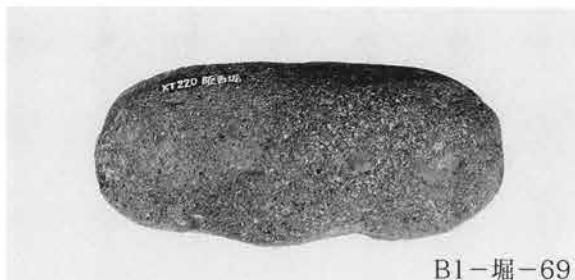
B1-堀-68



B1-堀-66



B1-堀-71



B1-堀-69



B1-堀-72



B1-堀-73



B1-堀-70



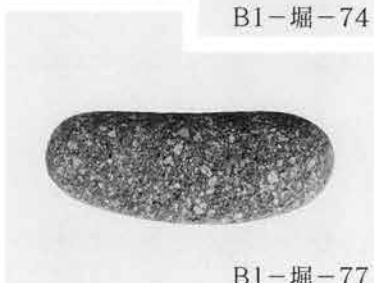
B1-堀-74



B1-堀-73



B1-堀-76



B1-堀-77



B1-堀-78



B1-堀-79



B1-堀-80



B1-堀-81



B1-堀-82



B1-堀-83



B1-堀-84



B1-堀-85



B1-堀-86



B1-堀-87



B1-堀-88



B1-堀-89



B1-堀-90



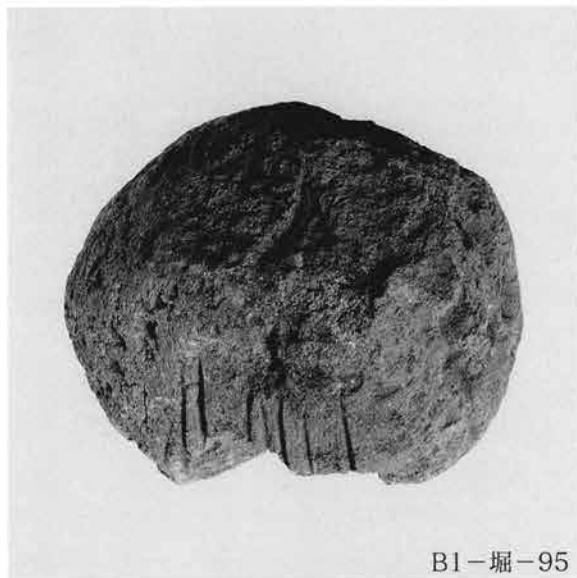
B1-堀-91



B1-堀-92



B1-堀-93



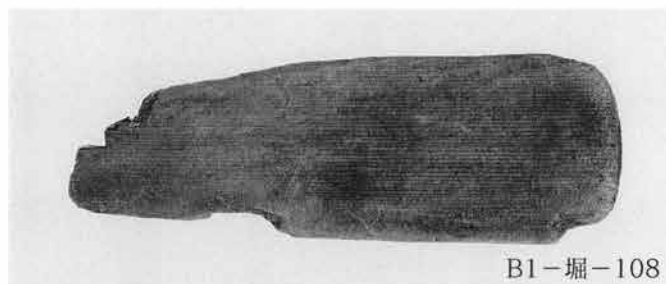
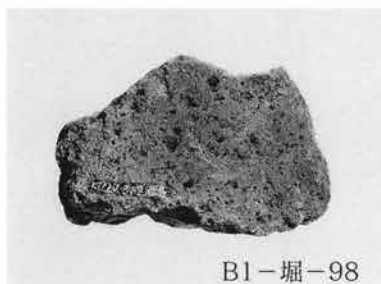
B1-堀-95

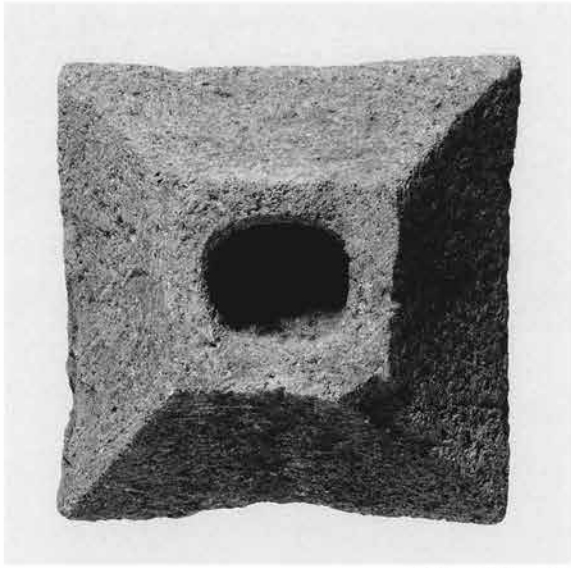


B1-堀-96



B1-堀-97

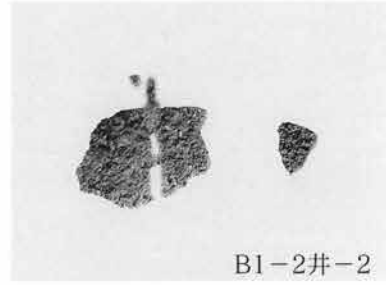




B1-1井-1



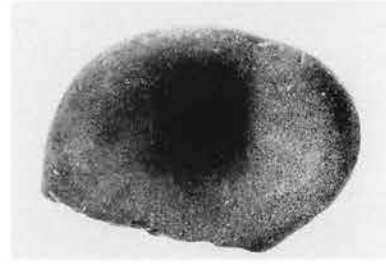
B1-2井-1



B1-2井-2



B1-2井



B1-3井-1



B1-3井-2



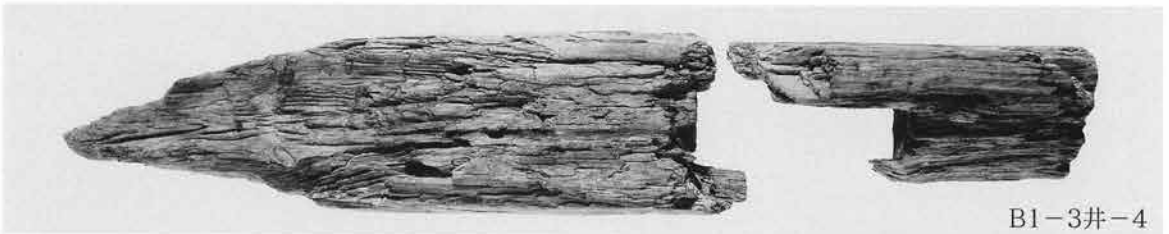
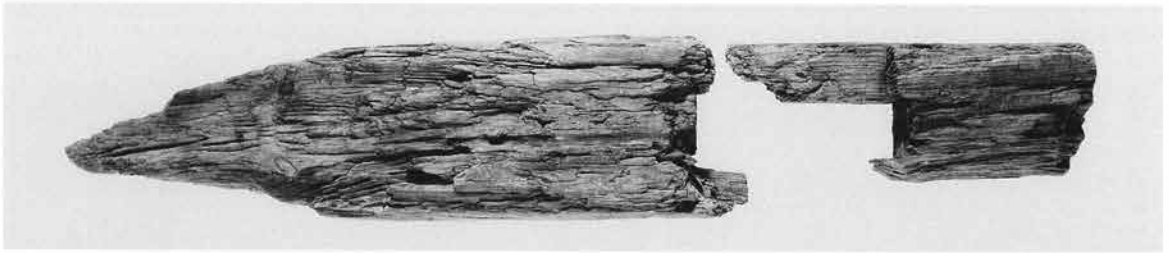
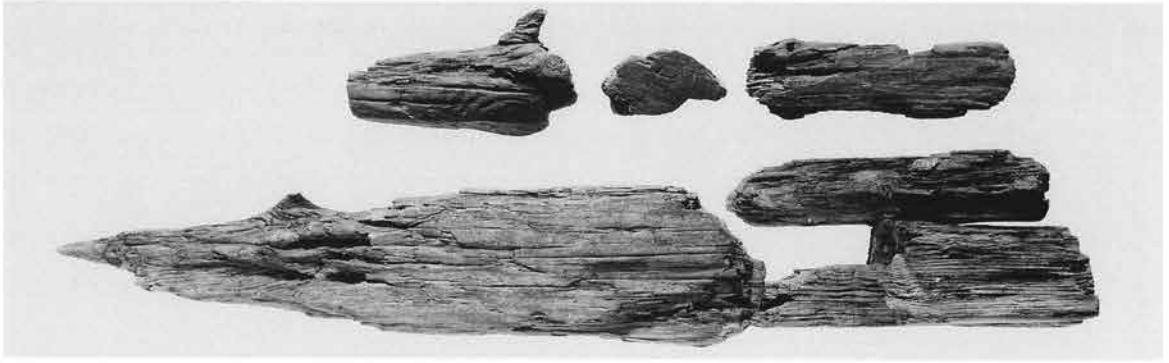
B1-3井-3



B1-3井-5



B1-3井-6



B1-3井-4



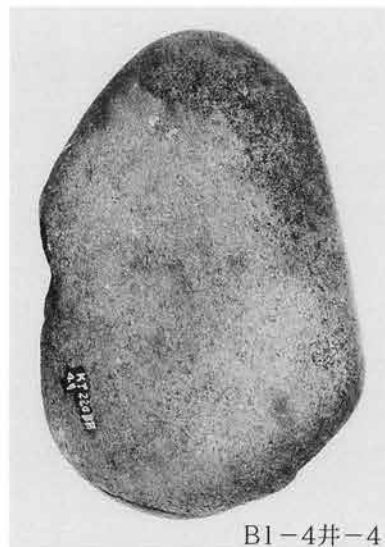
B1-4井-1



B1-4井-3



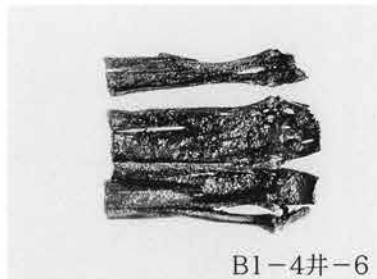
B1-4井-2



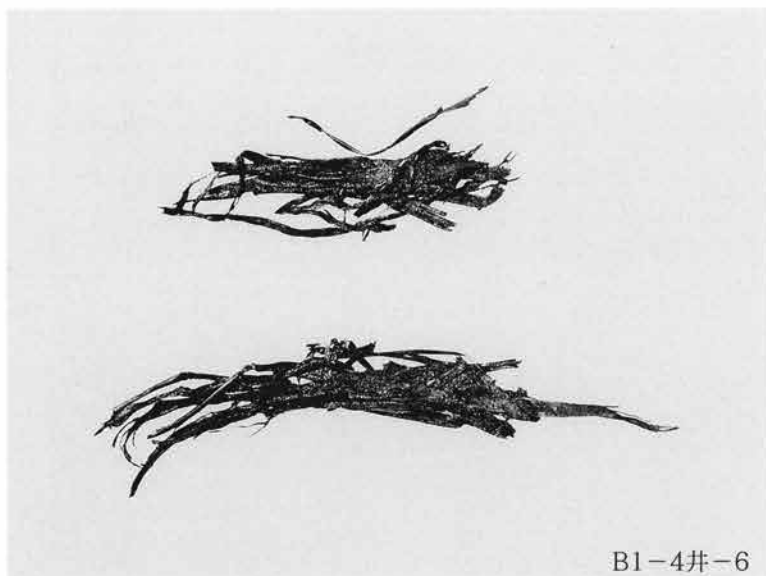
B1-4井-4



B1-4井-5



B1-4井-6



B1-4井-6



B1-4井-6



B1-5井-1



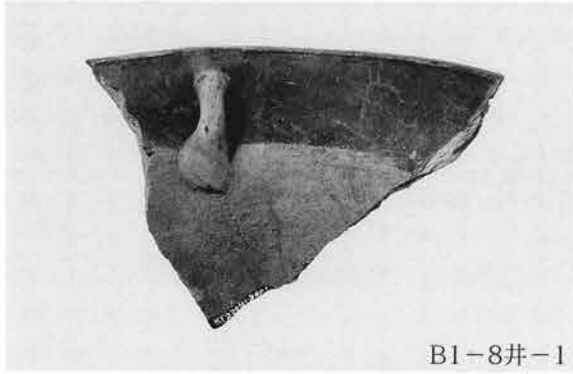
B1-6a井-1



B1-6a井-2



B1-6a井-3



B1-8井-1



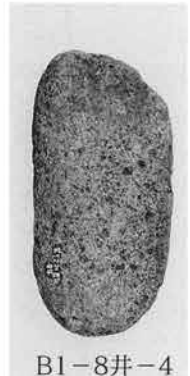
B1-8井-3



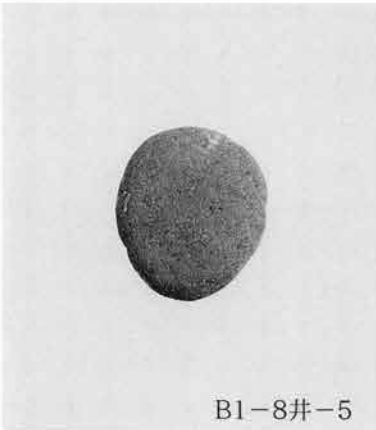
B1-7井



B1-8井-2



B1-8井-4



B1-8井-5



B1-10井-1



B1-12井-2



B1-13井-1



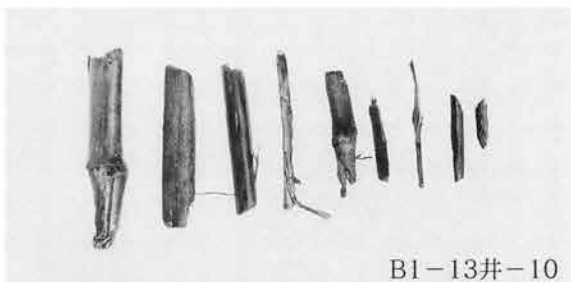
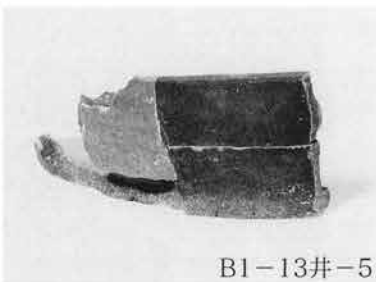
B1-12井-1

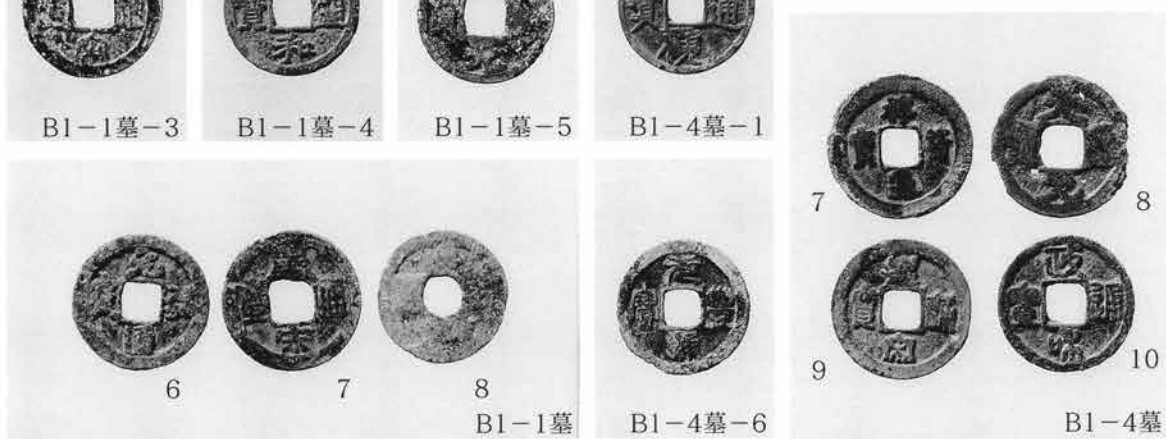
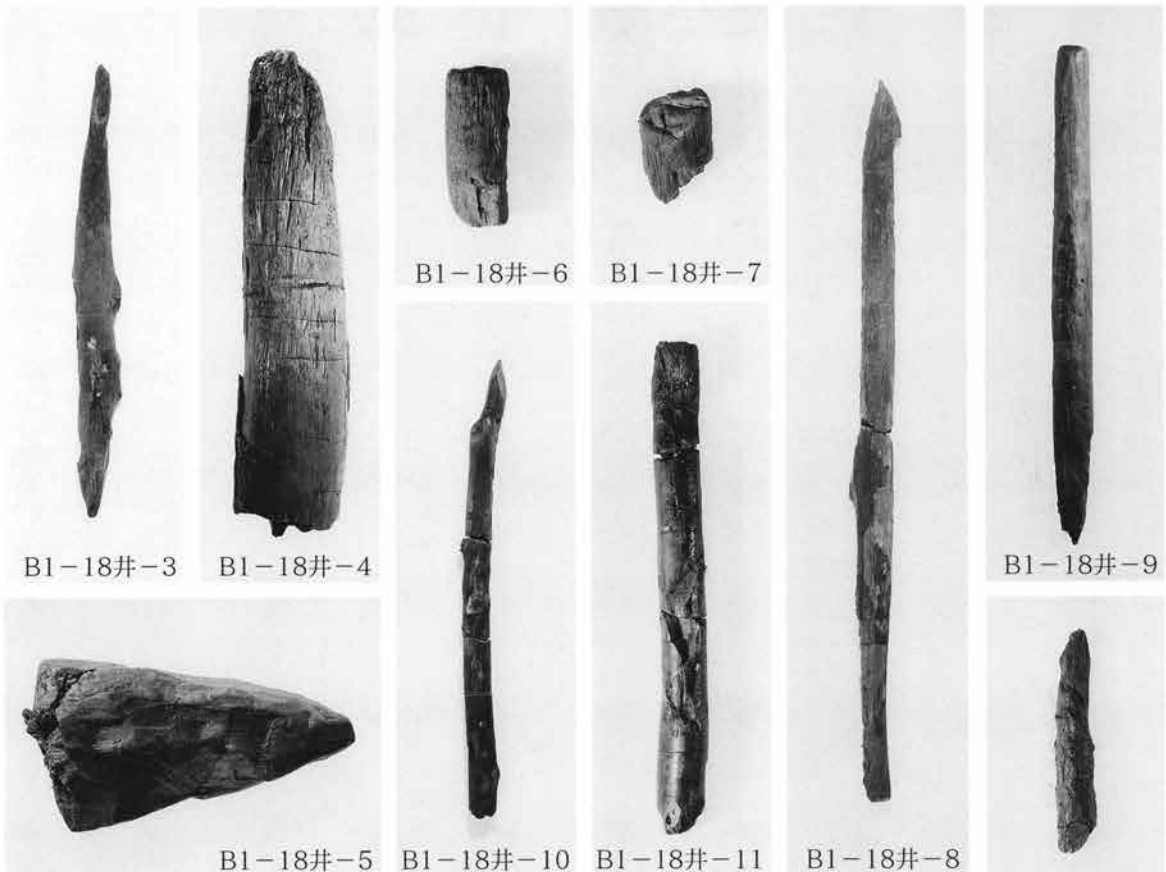


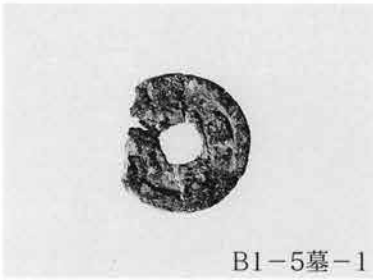
B1-13井-2



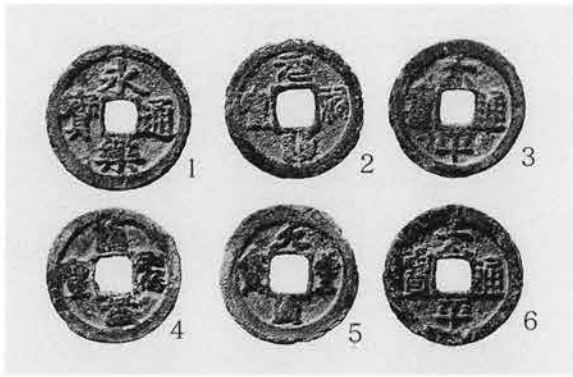
B1-13井-3



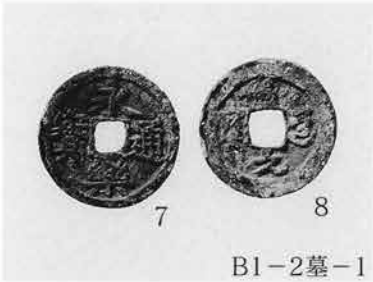




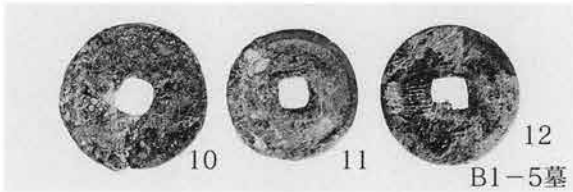
B1-5墓-1



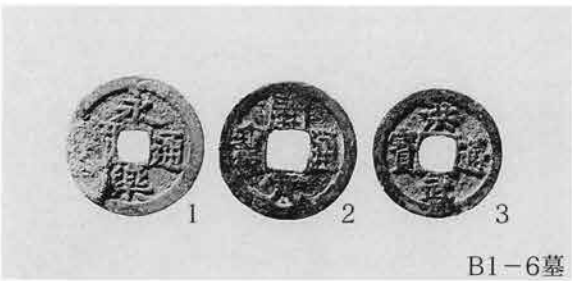
B1-5墓



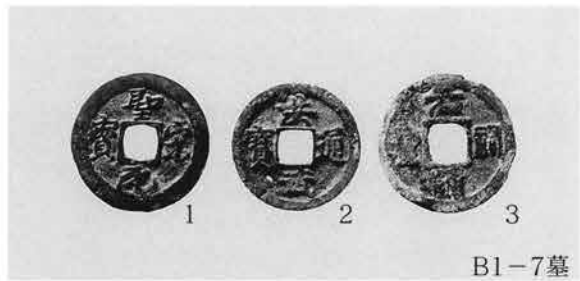
B1-2墓-1



B1-5墓



B1-6墓



B1-7墓



B1-6墓



B1-7墓



B1-7墓-7



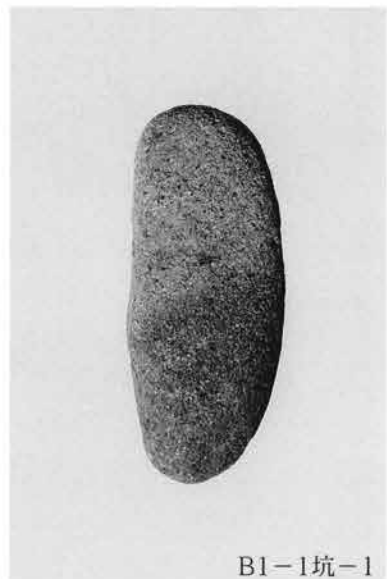
B1-7墓-8



B1-32坑-2



B1-137坑-5



B1-1坑-1



B1-49・86・87坑-3



B1-94坑-4



B1-323ピット-1



B1-土坑-10



B1-147坑-6



B1-147坑



B1-5



B1-屋敷-1



B1-サク-1



B1-2



B1-1



B1-3



B1-7



B1-4



B1-6



B表採-1



B1-8



BW1-2溝-1



BW1-6井-2



BW1-2井-1



BW1-6井-1



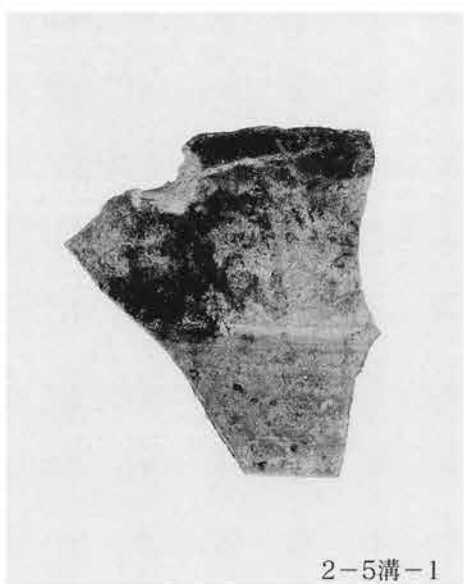
BW1-1



BW1-3



BW1-2



2-5溝-1



2-5溝-2



2-5溝-3



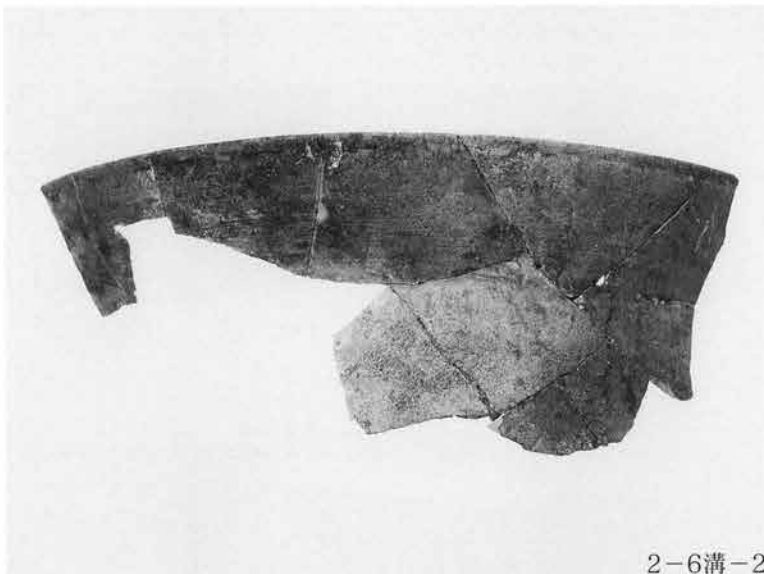
2-5溝-4



2-5溝-6



2-5溝-5



2-6溝-2



2-5溝-7



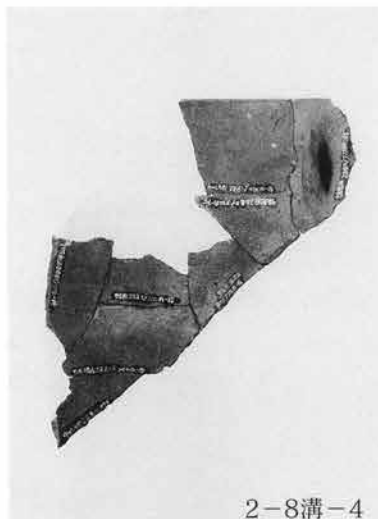
2-5溝-8



2-8溝-1



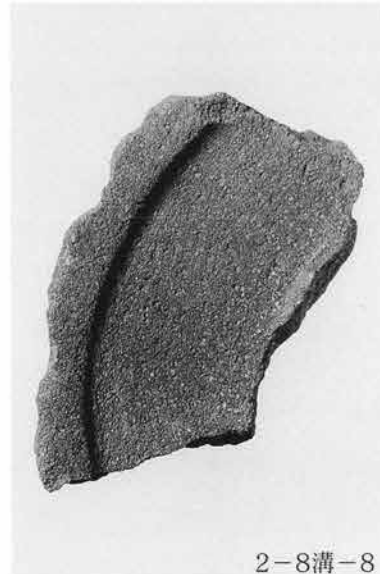
2-8溝-2



2-8溝-4



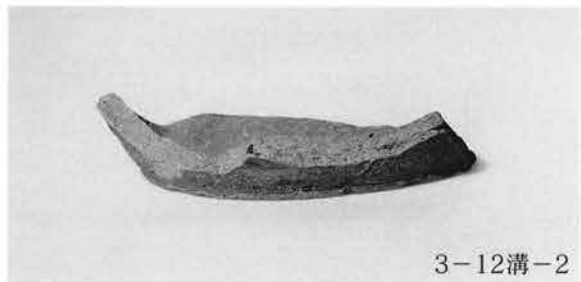
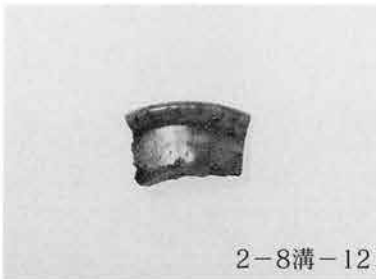
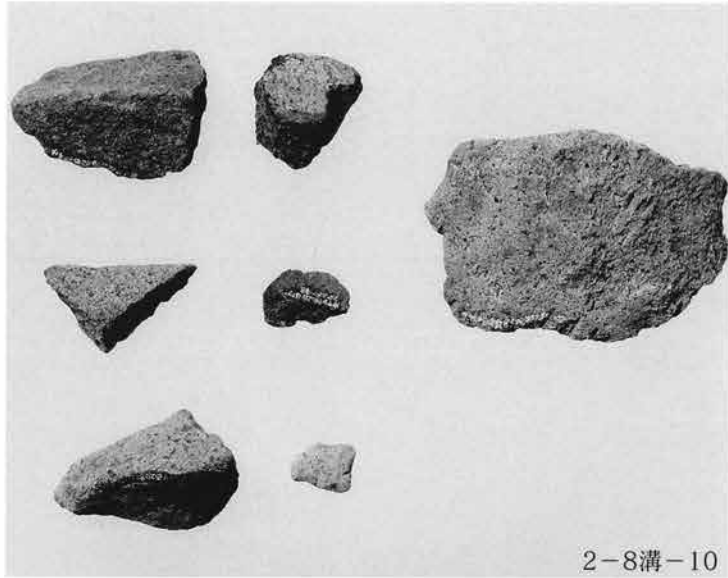
2-8溝-7

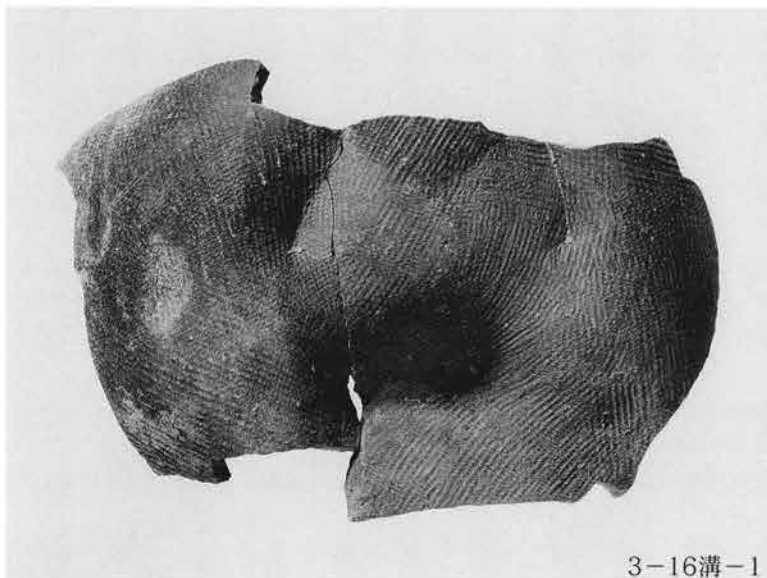


2-8溝-8



2-8溝-9





3-16溝-1



2-1墓-1



2-1墓-2



2-8溝-6



B1-15井-4



B1-15溝-2



B1-6墓-7



B1-15井-5



B区2面 (本線部)



2区東部の遺構群



B2-1号住居 (西より)



B2-1号住居掘り方 (西より)



B2-1号住居竈 (西より)



B2-1号住居竈掘り方 (西より)



B2-2号住居 (西より)



B2-2号住居掘り方 (西より)



B2-2号住居竈 (西より)



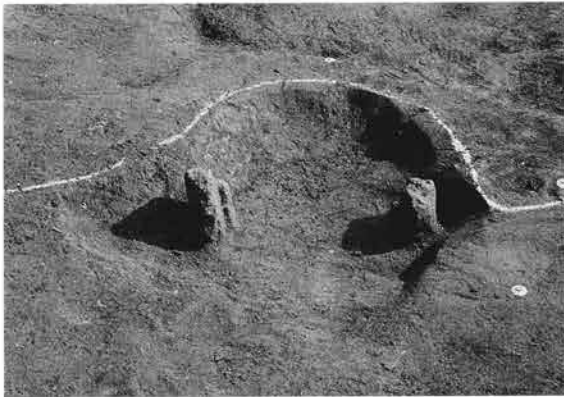
B2-2号住居竈掘り方 (西より)



B2-3号住居 (西より)



B2-3号住居掘り方 (西より)



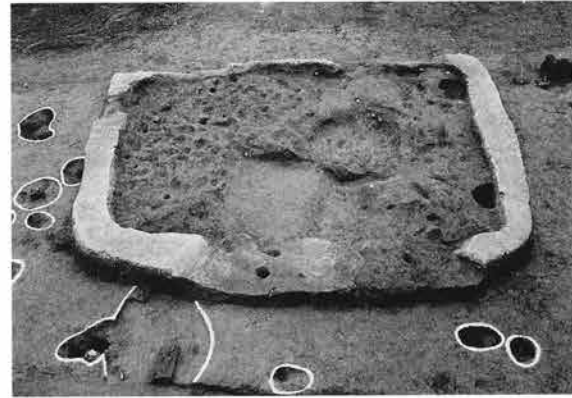
B2-3号住居竈 (西より)



B2-3号住居貯蔵穴 (西より)



B2-4号住居 (西より)



B2-4号住居掘り方 (西より)



3-1号住居 (西より)



3-1号住居竈 (南より)



3-1号住居遺物出土状況(西より)



3-2号住居(西より)



D-1号住居(北より)



D-1号住居竈(西より)



D-2号住居(西より)



D-2号住居竈(西より)



D-2号住居貯蔵穴(西より)



D-2号住居遺物出土状況(西より)



D-3号住居 (北より)



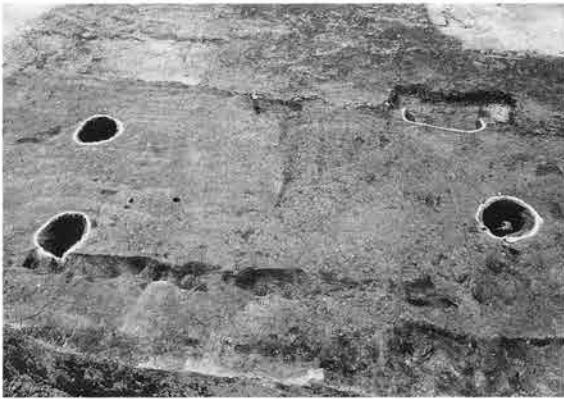
D-3号住居貯蔵穴 (西より)



2-1・2・3号溝



BW1-5溝 (北より)



BE2-1号掘立 (東より)



BW2-3号溝遺物出土状況



BW2-3号溝遺物出土状況



BW2-4・5溝 (南より)



B2-4号溝と谷地 (西より)



B区2面谷地 (西より)



B区2面谷地 (東より)



B区2面谷地中央部 (南東より)



B区2面谷地東部 (北より)



B区2面谷地中央部木器等出土状況 (北より)



B区2面谷地 (東より)



B区2面谷地 (北より)



B区2面谷地 (北より)



B区2面谷地 (東より)



2区旧河道 (谷、南より)



2区旧河道 (谷、東より)



B2-1号土坑 (西より)



B2-2号土坑 (南より)



B2-2号ピット (北より)



B2-5号ピット (西より)



B区2面サク状遺構（南より）



B区2面サク状遺構（東より）



B区2面サク状遺構（北東より）



B区2面サク状遺構（西より）



B区2面サク状遺構（北東より）



2区サク状遺構(東より)



B E区2面サク（南より）



B区2面サク状遺構土層断面



B2-1住-1



B2-1住-2



B2-1住-3



B2-3住-1



B2-2住-1



B2-2住-2



B2-2住-4



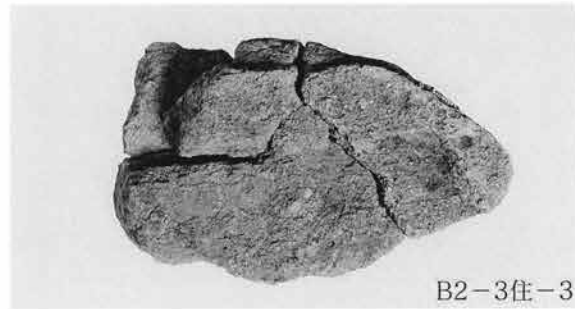
B2-2住-3



B2-2住-5



B2-3住-2



B2-3住-3



B2-4住-1



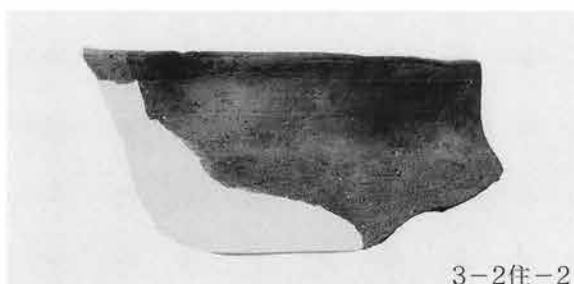
3-1住-1



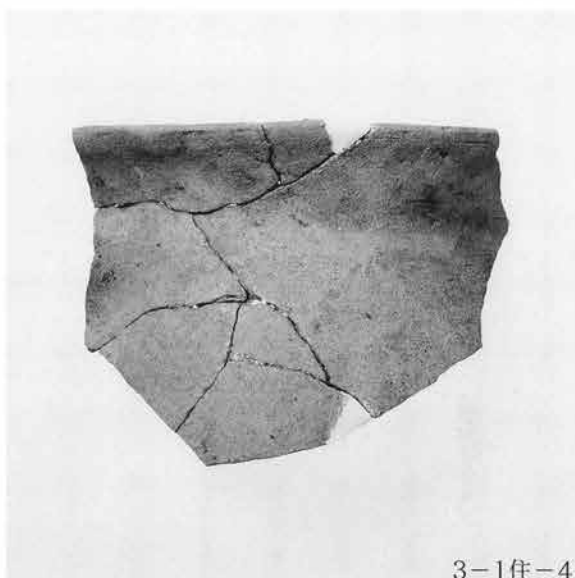
3-1住-2



3-1住-3



3-2住-2



3-1住-4



3-2住-1



D-1住-1



D-1住-2



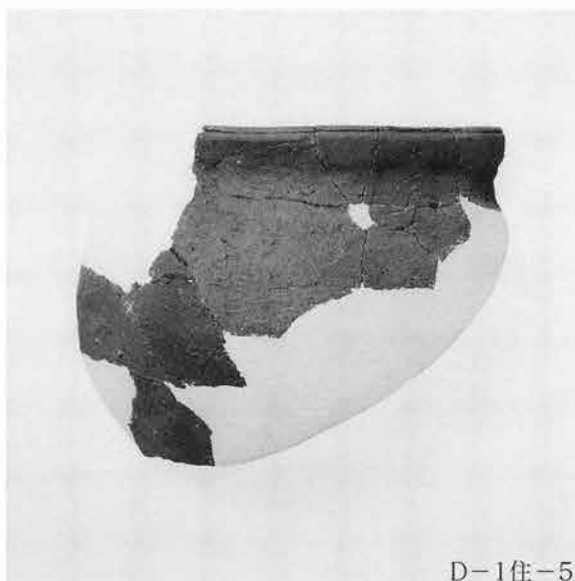
3-1住-7



D-1住-3



D-1住-4



D-1住-5



D-1住-6



D-1住-7



D-1住-8



D-1住-9



D-1住-10



D-2住-1



D-2住-2



D-2住-3



D-2住-4



D-3住-1



D-4住-1



BW1-3溝-1



BW1-3溝-2



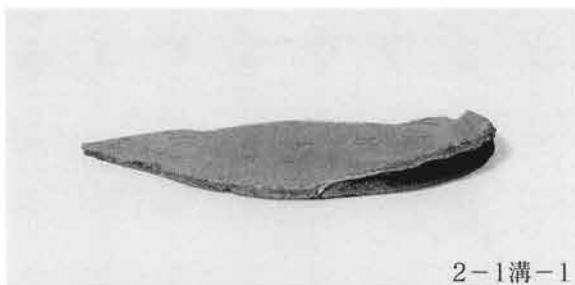
BW2-3溝-4



BW2-3溝-5



BW2-3溝-6



2-1溝-1



BW2-谷-1



B2-谷-3



B2-谷-4



B2-谷-2



B2-谷-5



B2-谷-6



B2-谷-7



B2-谷-8



B2-谷-9



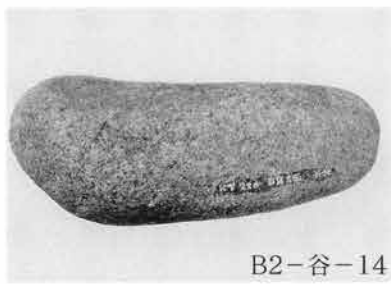
B2-谷-10



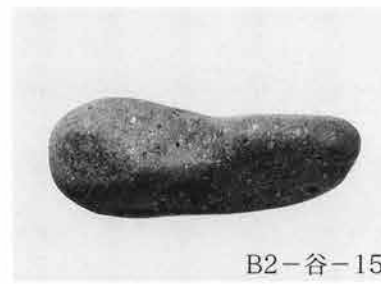
B2-谷-11



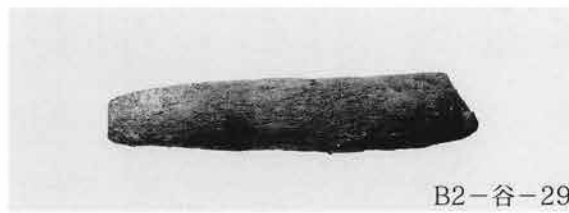
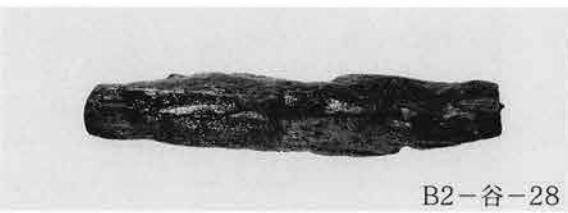
B2-谷-12

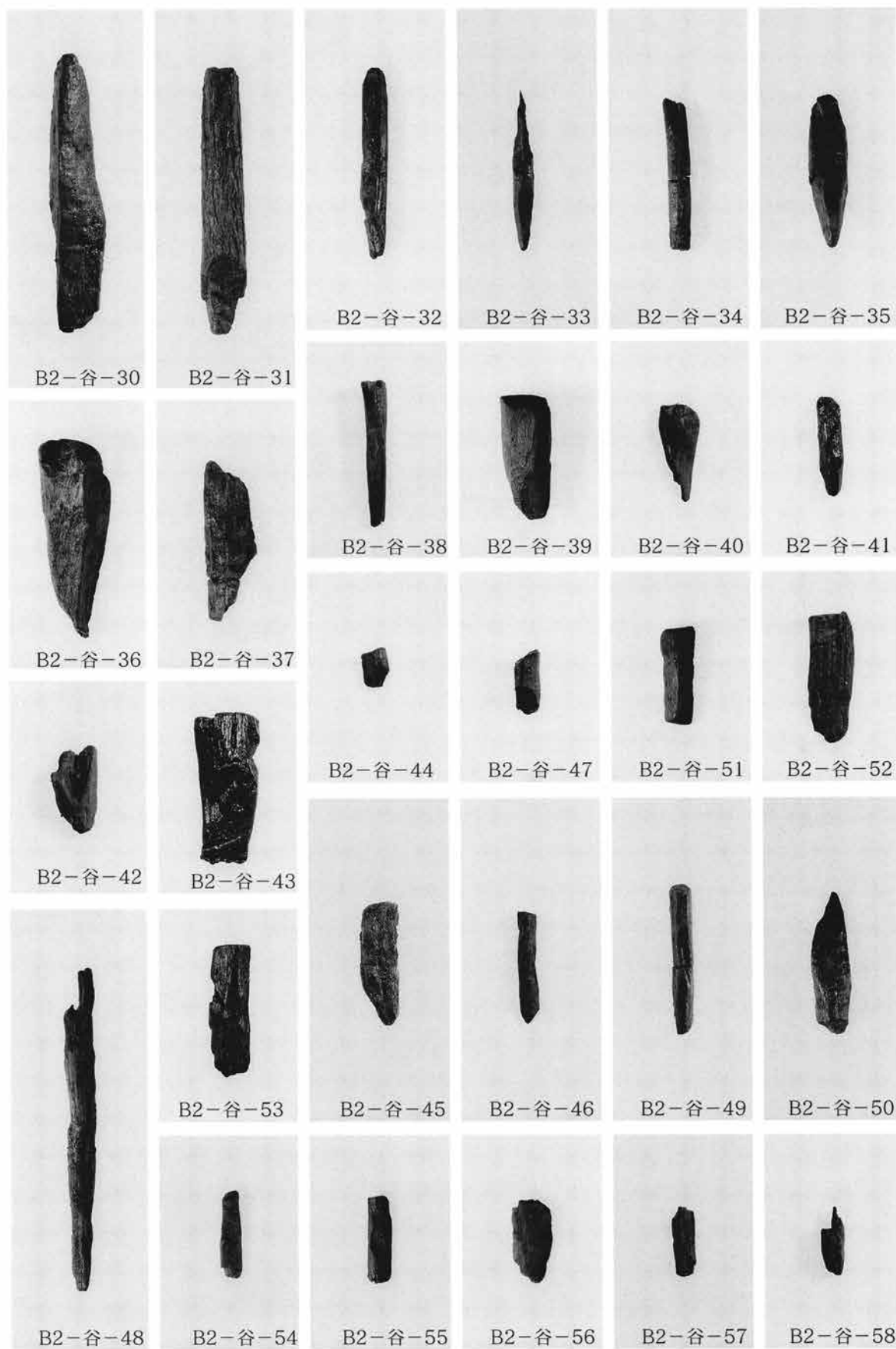


B2-谷-14



B2-谷-15







B2-谷-59



B2-谷-60



B2-谷-61



B2-谷-62



B2-谷-63



B2-谷-64



B2-谷-68



B2-谷-69



B2-谷-70



B2-谷-71



B2-谷-65



B2-谷-72



B2-谷-73



B2-谷-74



B2-谷-75



B2-谷-76



B2-谷-66



B2-谷-67



B2-谷-77



B2-谷-78



B2-谷-79



B2-谷-80



B2-谷-83



B2-谷-82



B2-谷-81



B2-谷-85



B2-谷-84



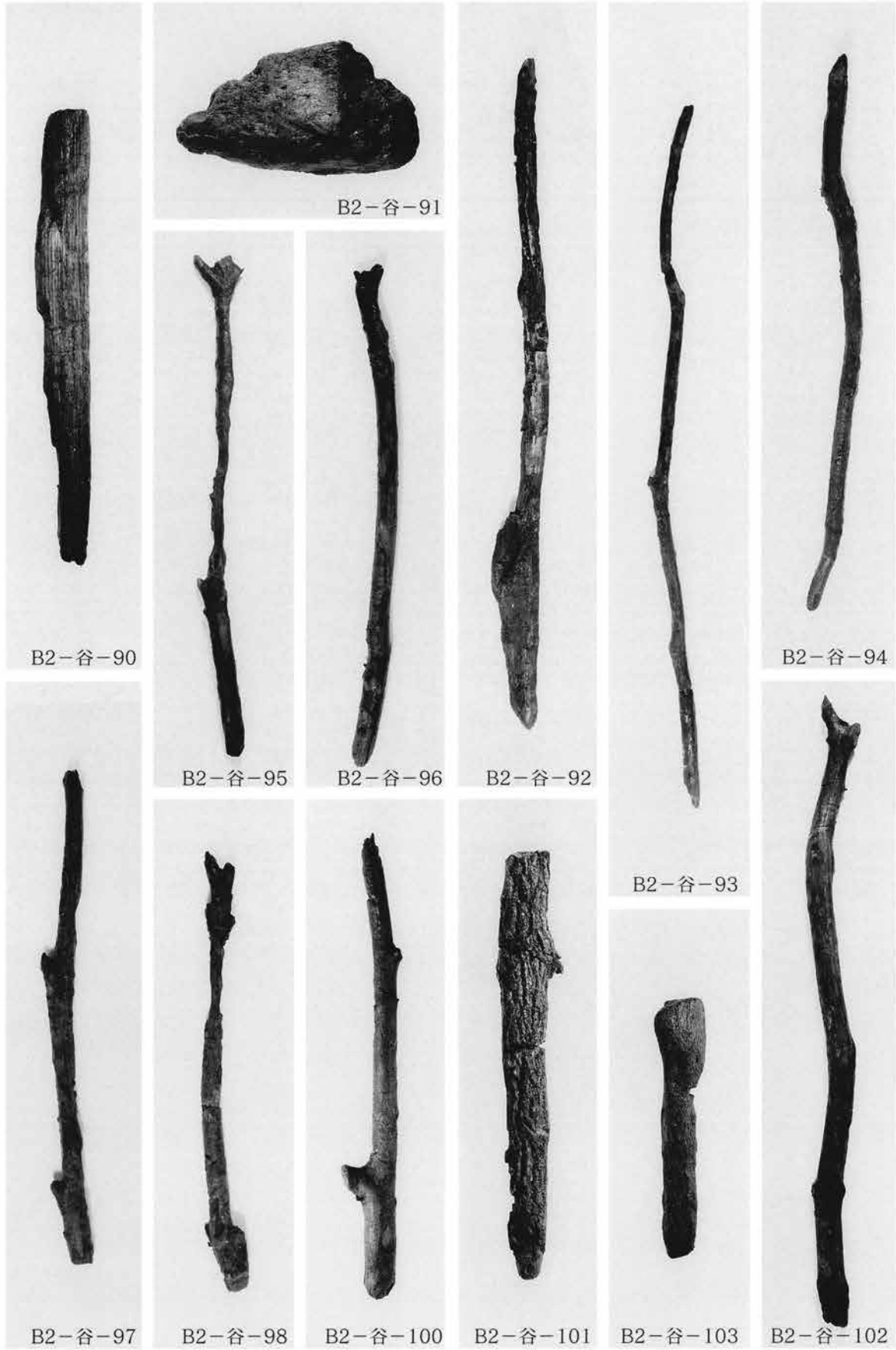
B2-谷-87



B2-谷-86



B2-谷-89





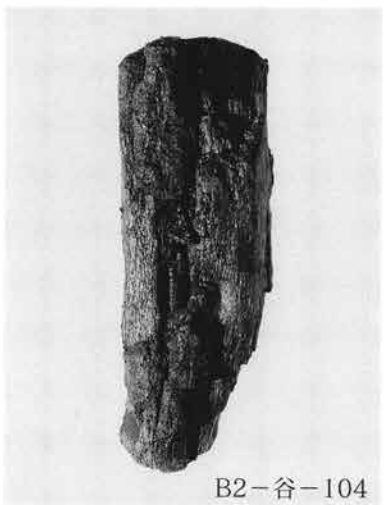
B2-谷-99



B2-谷-105



B2-谷-107



B2-谷-104



B2-谷-106



BW2-1



B区3面As-C復旧水田 2-7号溝 (南側周堀、東より) 2-8号溝 (南側周堀、西より)



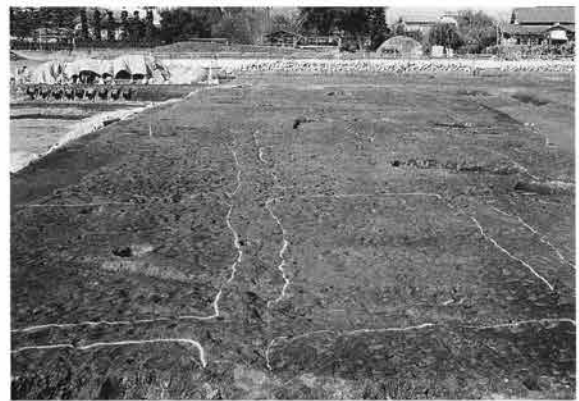
B区3面As-C復旧水田 (東より) 2-7号溝 (南側周堀、東より) 2-8号溝 (南側周堀、西より)



3区As-C復旧水田 2-7号溝 (南側周堀、東より) 2-8号溝 (南側周堀、西より)



B区3面As-C復旧水田西部 (南より)



B区3面As-C復旧水田西部 (南より)



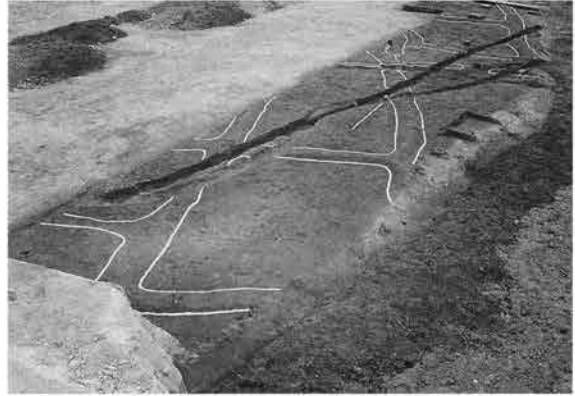
B区3面As-C復旧水田東部 (北より)



B区3面As-C復旧水田北東隅部 (北より)



BE区3面As-C復旧水田(北より)



BE区3面As-C復旧水田(南東より)



2区As-C復旧水田(南東より)



3区As-C復旧水田(西より)



3区As-C復旧水田(東より)



D区As-C復旧水田(南東より)



D区As-C復旧水田(南東より)



D区As-C復旧水田(南西より)



B区3面As-C復旧水田水口（南より）



BE区1面ピット群



BE2-2号土坑（西より）



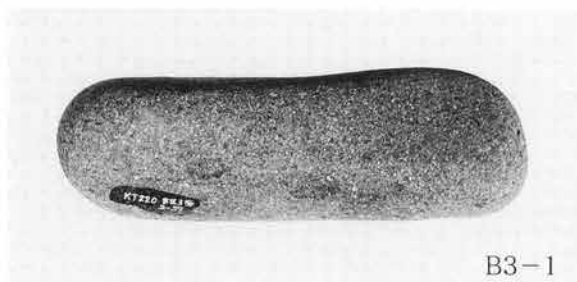
BE区3面石鏃出土状況（北より）



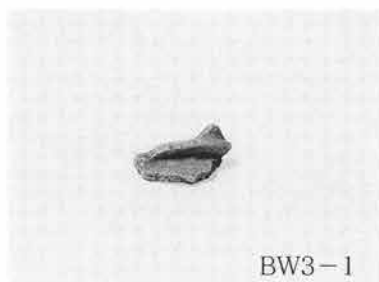
B3-1



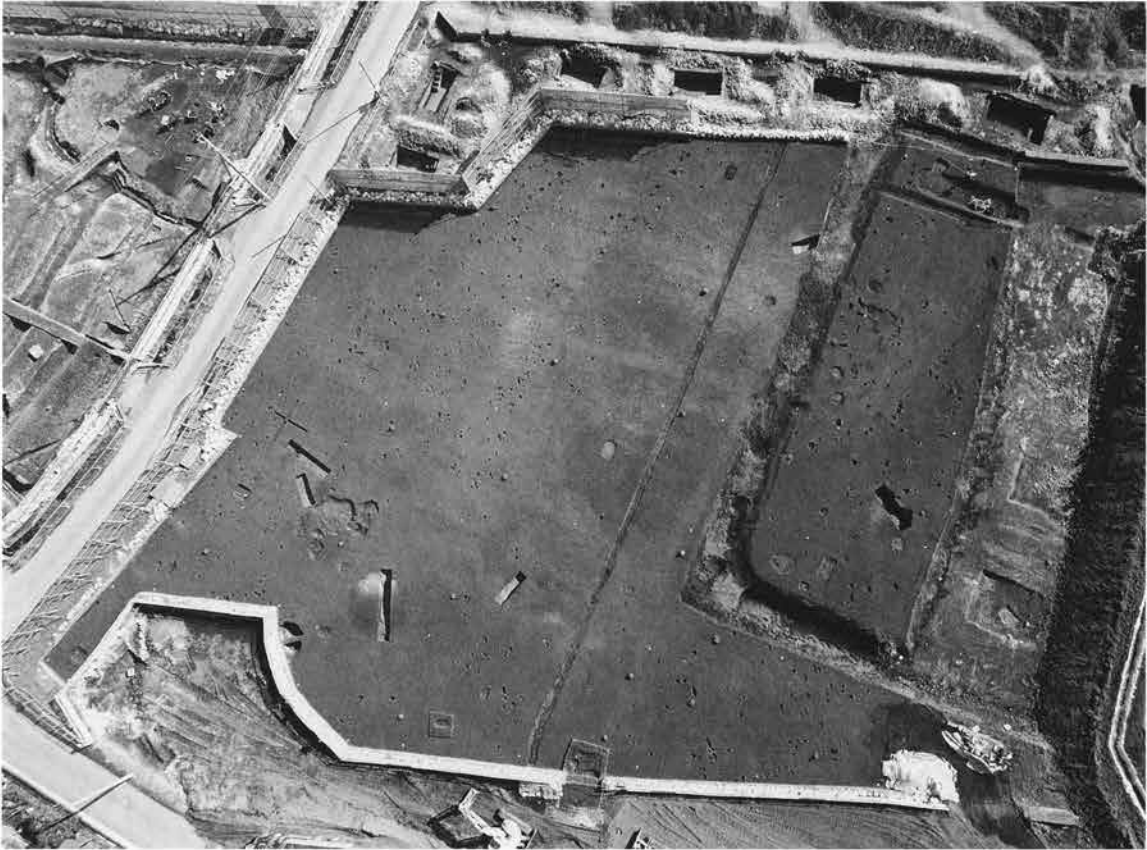
B3-1



B3-1



BW3-1



B区4面 2-7号溝 (南側周堀、東より) 2-8号溝 (南側周堀、西より)



B区4面西部 (南より)



B区4面北部 (西より)



B区4面中部 (南より)



B区4面東部 (北より)



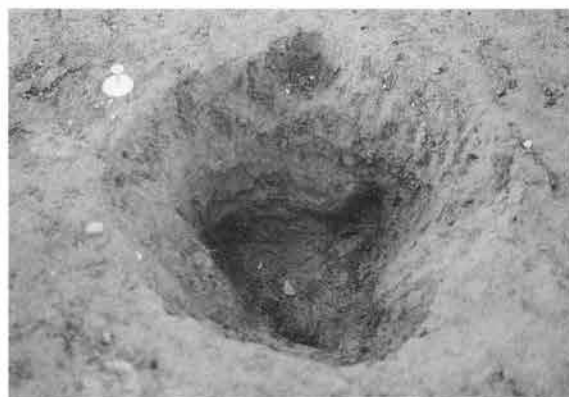
B区4面南部 (東より)



B4-10号土坑



B4-173号ピット土層断面



B4-446号ピット



B区4面9号風倒木痕土層断面 (西より)



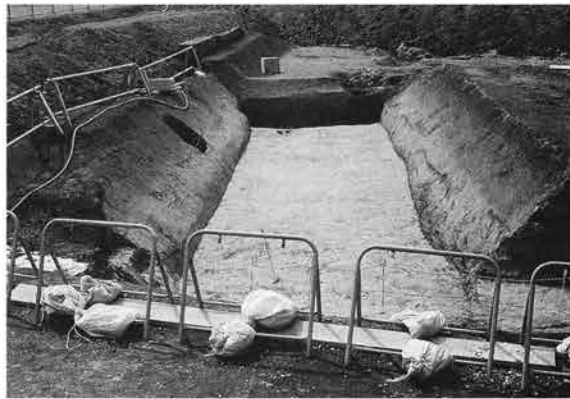
B4-1



B4-2



B区5面試験掘調査（南東より）



B区5面試験掘調査9号グリッド拡張部（東より）



B区5面試験掘調査15号グリッド（南より）



B区5面試験掘調査18号グリッド（南より）



2区K-130グリッド



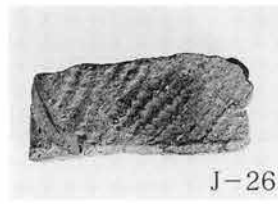
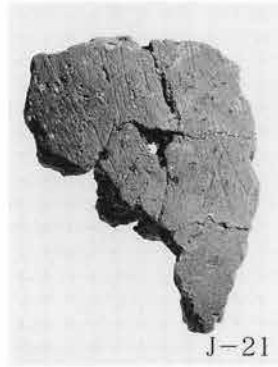
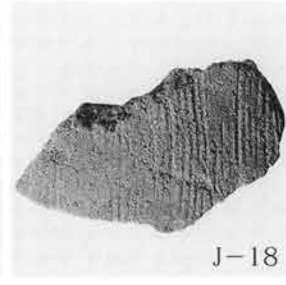
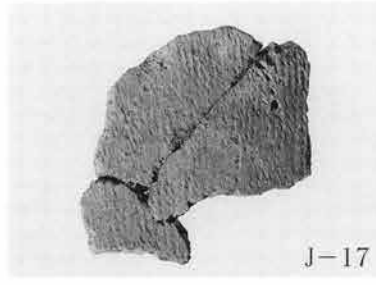
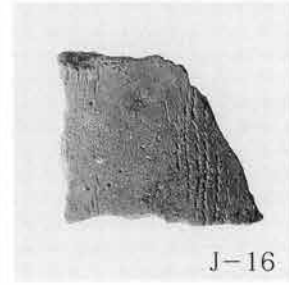
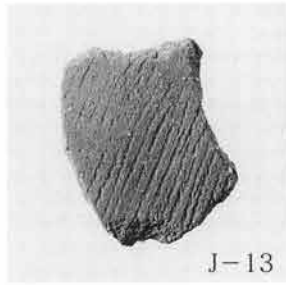
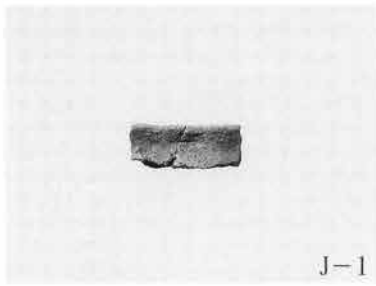
3区K-140グリッド

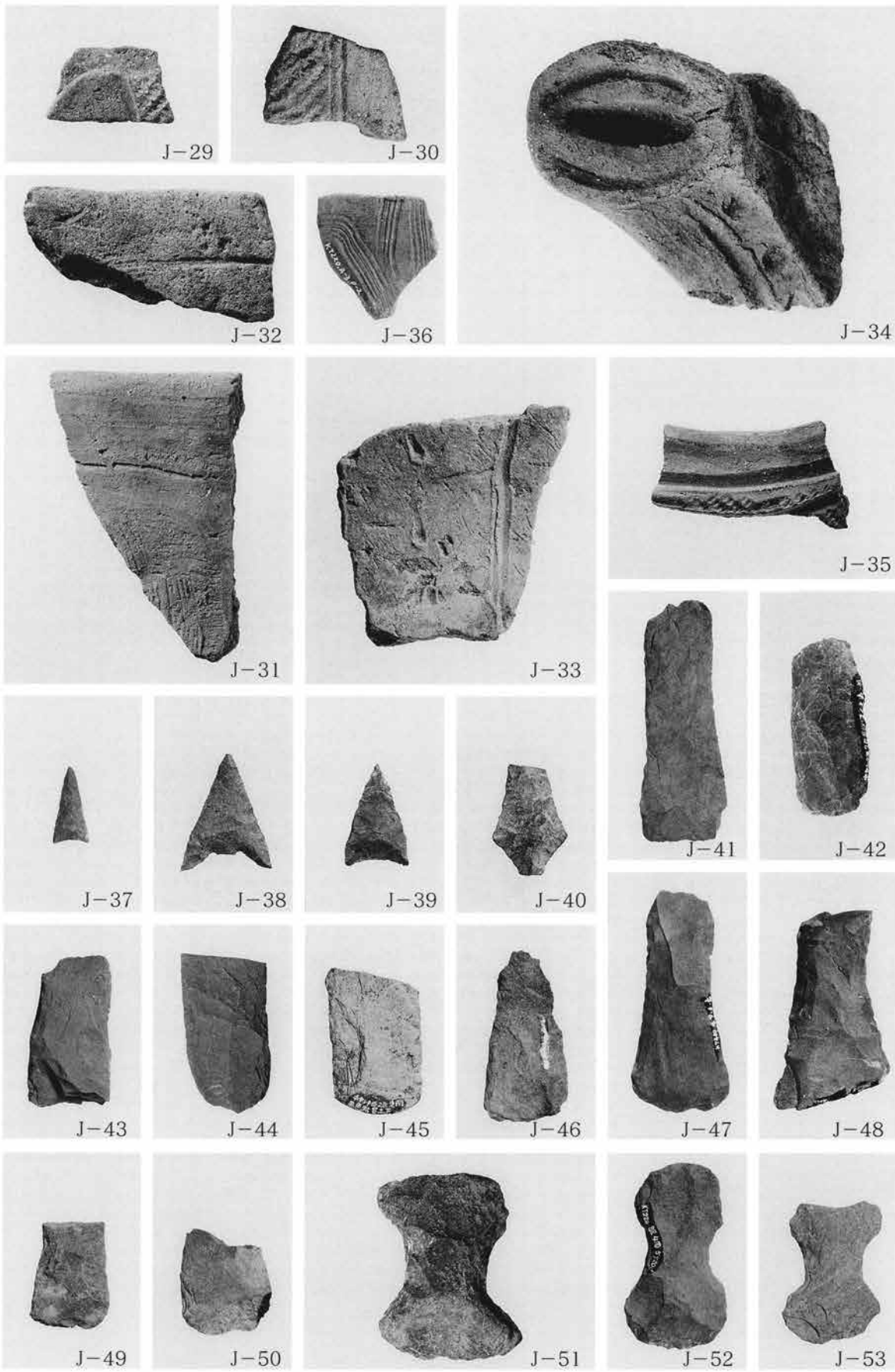


D区C-110グリッド



側道での旧石器試掘調査



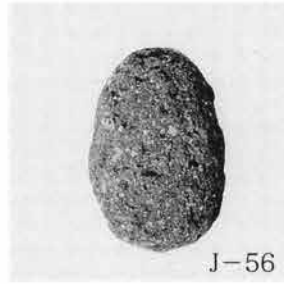




J-54



J-55



J-56



J-57



J-58



J-59



J-60



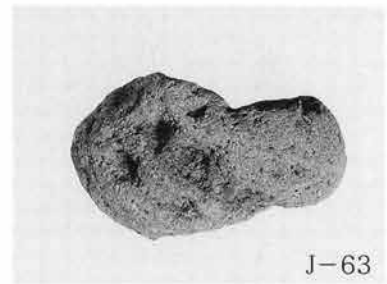
J-61



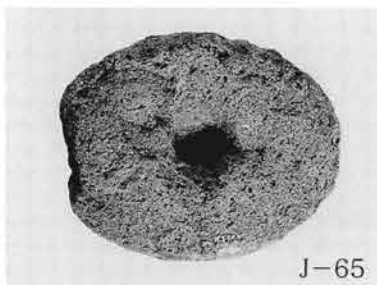
J-62



J-64



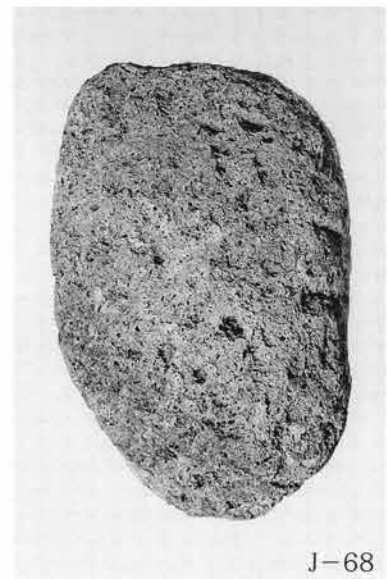
J-63



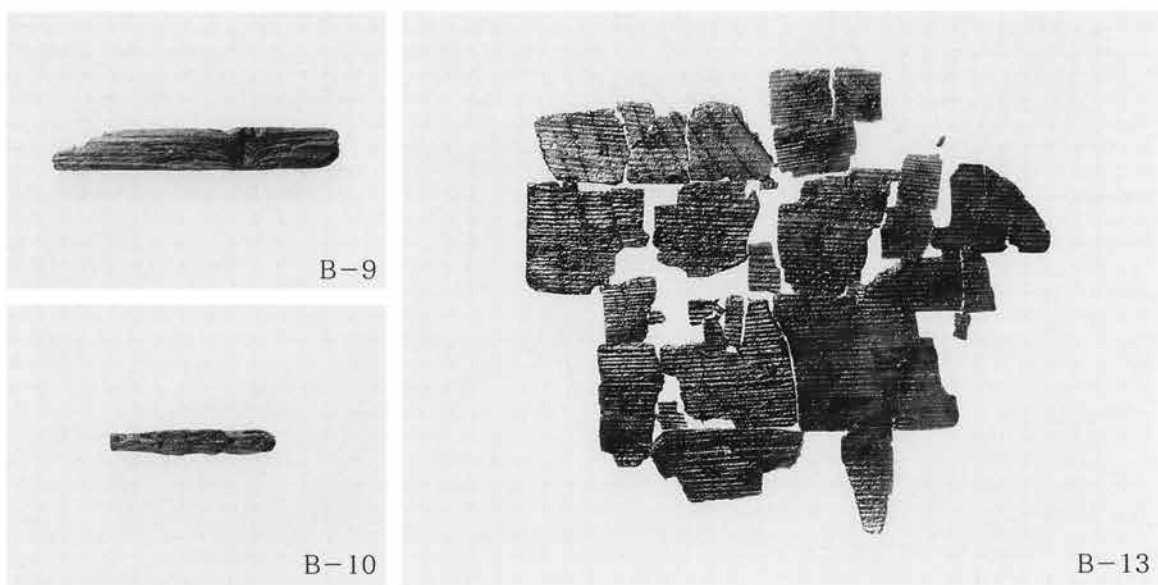
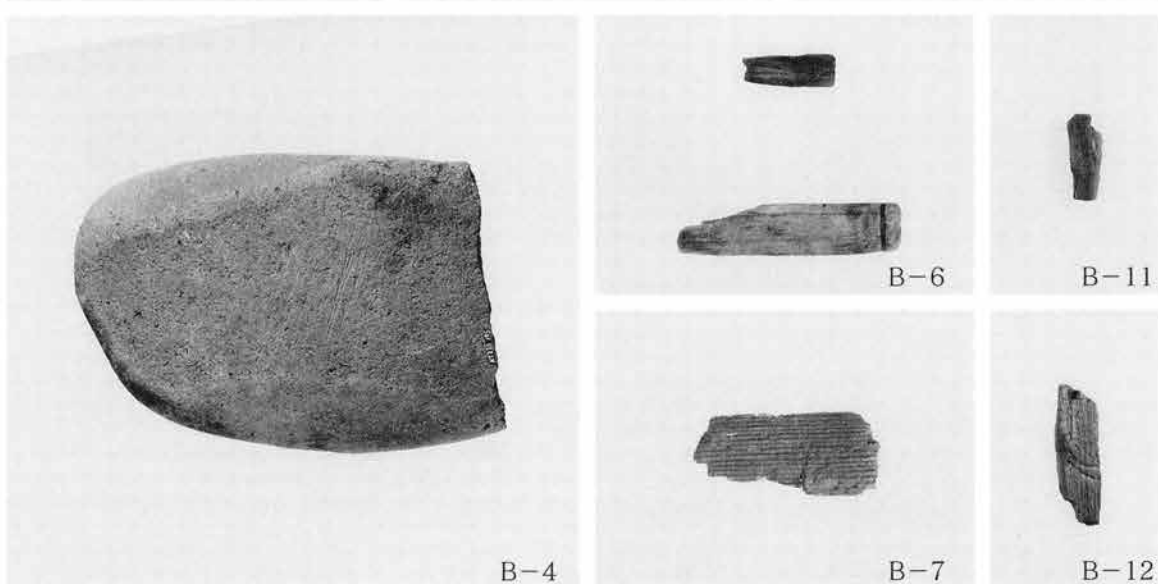
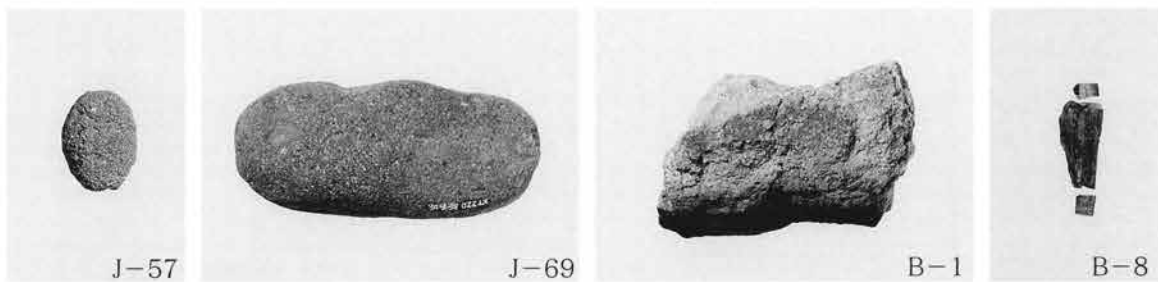
J-65

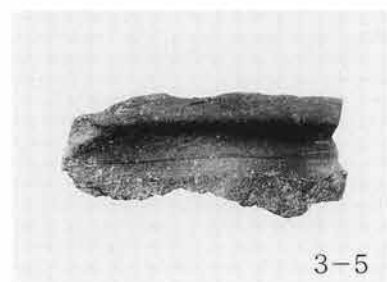
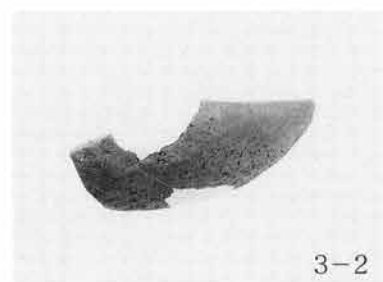
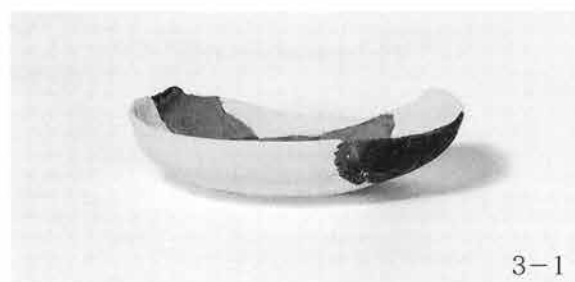
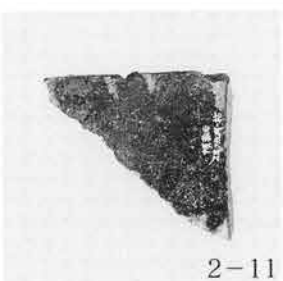


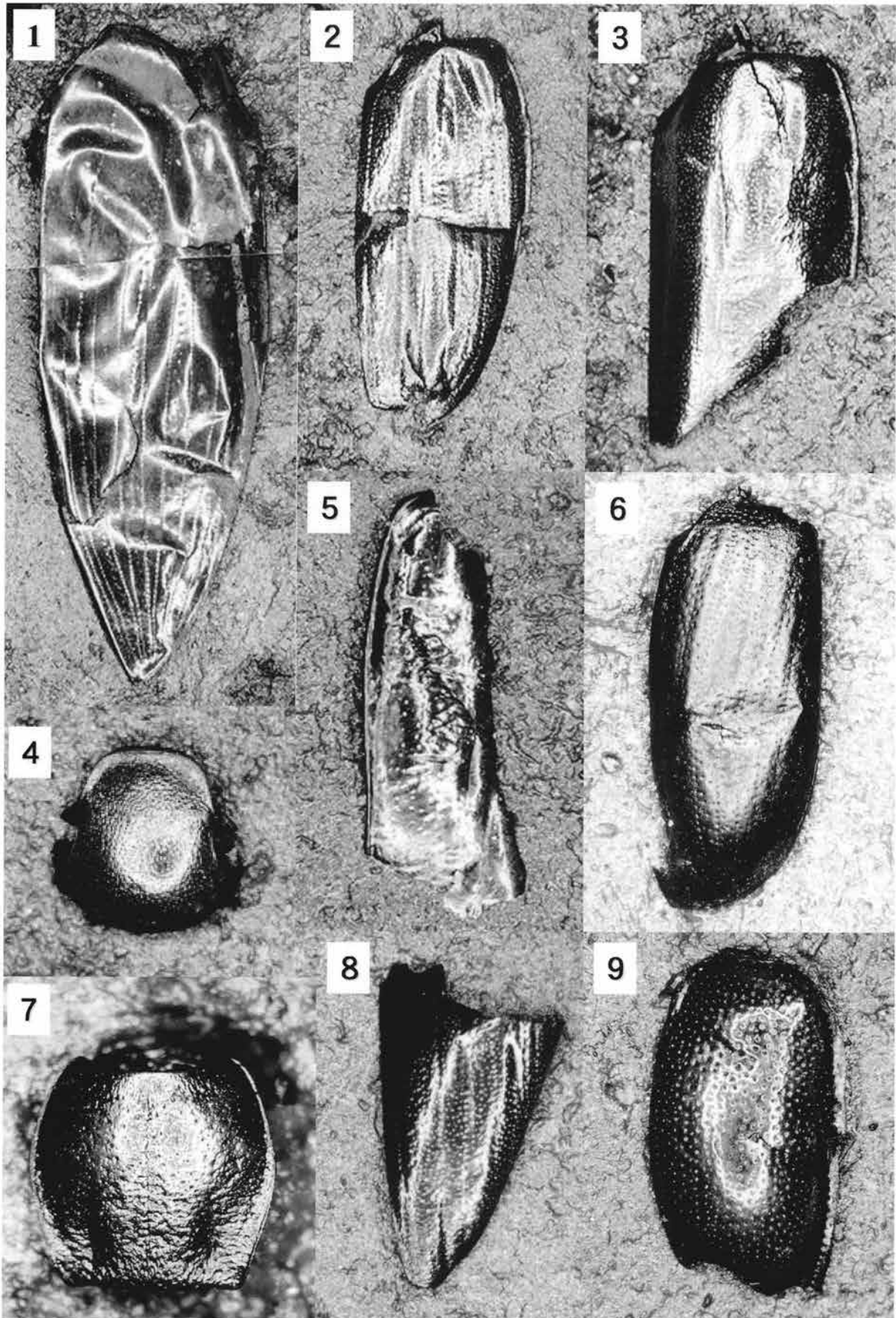
J-66



J-68







1. ガムシ *Hydrophilus acuminatus* Motschulsky
 右上翅 長さ27.0mm (試料1; 標本24)

2. ヒメコガネ *Anomala rufocuprea* Motschulsky
 右上翅 長さ12.4mm (試料1; 標本28)

3. ドウガネブイブイ *Anomala cuprea* Hope
 右上翅 長さ13.0mm (試料1; 標本11)

4. ヒメコガネ *Anomala rufocuprea* Motschulsky
 頭部 長さ3.5mm (試料3; 標本4)

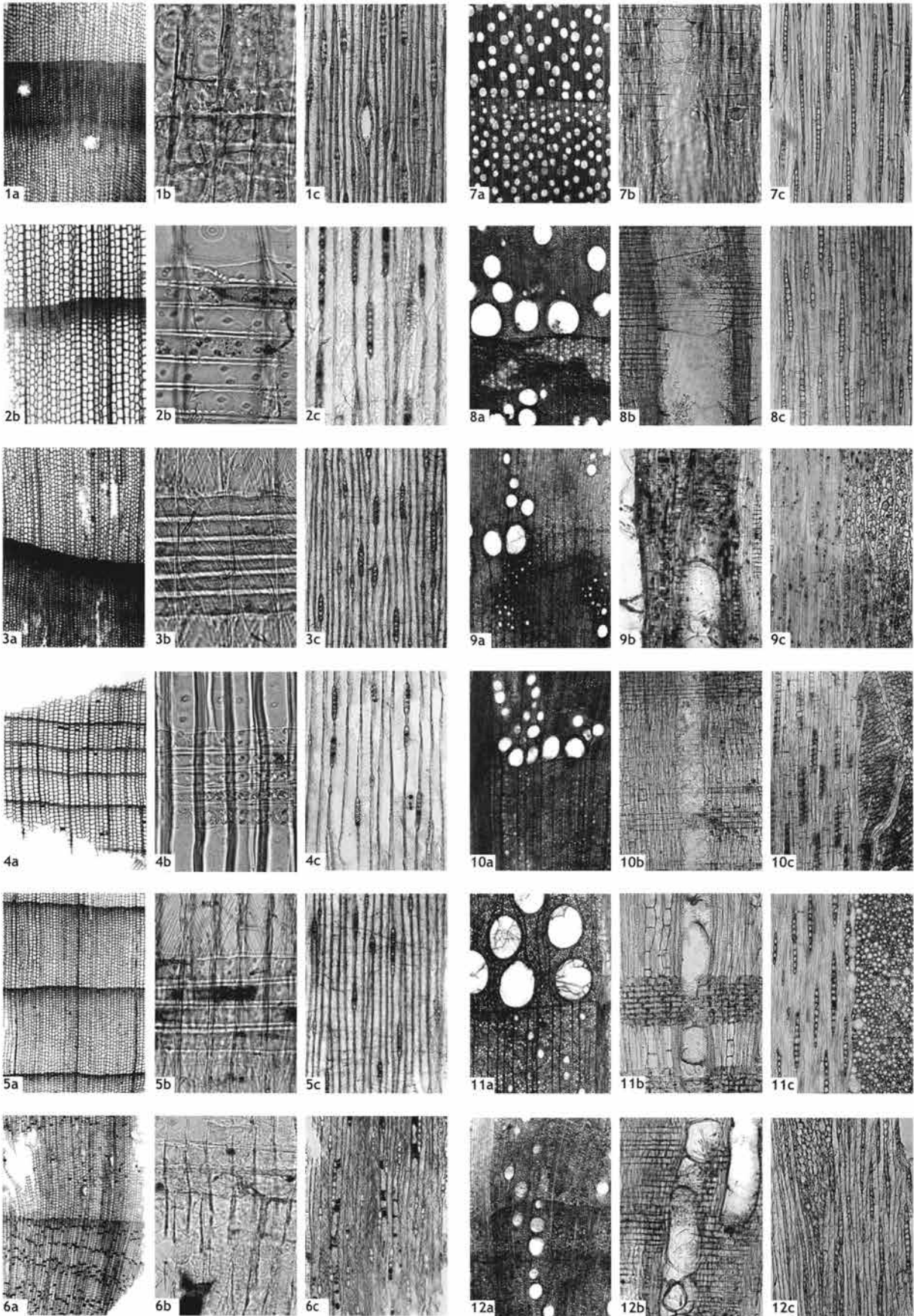
5. コガネムシ *Mimela splendens* Gyllenhal
 左上翅片 長さ10.2mm (試料1; 標本9)

6. ヒメカンショコガネ *Apogonia amida* Lewis
 右上翅 長さ6.2mm (試料4; 標本10)

7. アオゴミムシ属 *Chlaenius* sp.
 前胸背板 最大幅3.1mm (試料1; 標本3)

8. ヒメコガネ *Anomala rufocuprea* Motschulsky
 右上翅下半部 長さ6.8mm (試料1; 標本26)

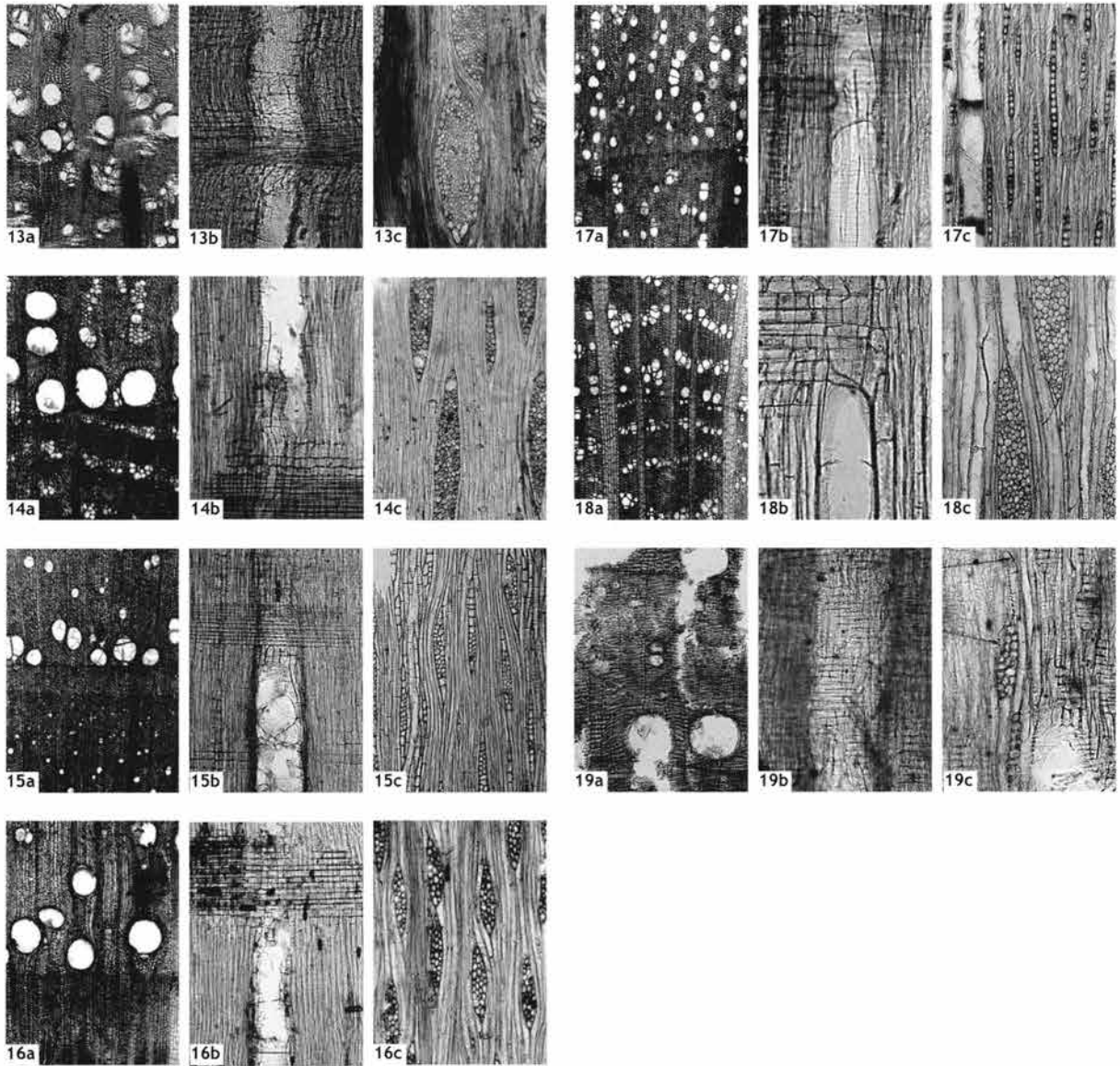
9. アカガネサルハムシ *Acrothidium gaschkevitchii*
 Motshulsky
 右上翅 長さ5.6mm (試料1; 標本19)



scale bar

1-6: a-1.0mm, b-0.1mm, c-0.4mm 7: a-1.0mm, b-0.2mm, c-0.4mm
8-12: a-1.0mm, b-0.2mm, c-0.4mm

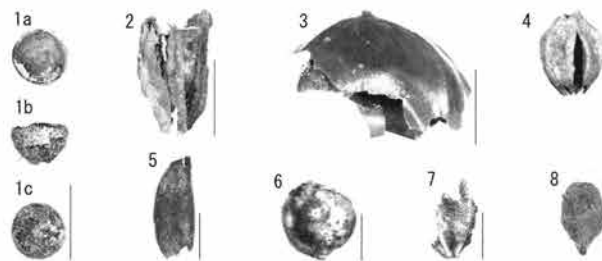
a: 横断面 b: 放射断面 c: 接線断面



scale bar

13-16,19: a-1.0mm, b-0.4mm, c-0.4mm
17,18: a-1.0mm, b-0.2mm, c-0.4mm

a: 横断面 b: 放射断面 c: 接線断面



図版1 出土した大型植物化石 (スケールは1~4が1cm, 5~8が1mm)
1. コナラ、殻斗、KT220 2. コナラ属、果实、KT220(B区1面堀種子②)
3. クリ、果实、KT220(B区1面7号井戸) 4. センダング、核、KT220(B区1面堀種子①)
5. イヌビエまたはヒエ、炭化穎、KT220(B区1面2号井戸)
6. アワ、炭化穎果、KT220(B区1面2号井戸) 7. エノコログサ属またはアワ、炭化穎、KT220(B区1面2号井戸)
8. キビ族、炭化胚乳、KT220(B区1面2号井戸)

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書第352集

波志江中屋敷西遺跡

北関東自動車道(高崎～伊勢崎)地域
埋蔵文化財発掘調査報告書 第32集

平成17年3月25日印刷

平成17年3月28日発行

編集・発行／財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

勢多郡北橋村大字下箱田784番地の2

電話 (0279) 52-2511 (代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／朝日印刷工業株式会社

